



Optimal Biz Android キットティングマニュアル

最終更新日 2024 年 10 月 20 日
(Web サイト ver.9.22.0)
株式会社オプティム

はじめに

本マニュアルでは、Optimal Biz（以下、本製品と呼ぶ）の操作ほか、各機能の概要、画面の説明、設定操作について説明しています。

また、要点となる各種の内容を以下に記載しています。これらの内容をご理解の上、マニュアルをお読みください。

名称・呼称

本マニュアルに登場する特定の企業、人について、以下の定義で記載しています。

名称	説明
サービス企業	本製品を提供する企業。
管理者	本製品の管理サイト（機器の管理・運用を行う Web サイト）を運用する者。
端末使用者	本製品で管理している端末を使用する者。
システム管理者	企業の社内システム（サーバー・インフラなど）を管理する者。

注意・ポイントマーク

操作を行う場合に注意する点や、操作のポイントとなる点を示す場合は、以下のマークで記載しています。

マーク	説明
	データの破損や消失など、特に注意していただきたい内容を記載しています。
	操作のポイントや知っておくと便利な内容を記載しています。

記号

画面に表示されるボタンやメニュー、キーボードのキーなどを示す場合は、以下の記号で記載しています。

マーク	説明
[]	ボタン、メニュー、タブ、リンク、チェックボックス、ラジオボタンなどの名称を示しています。
「 」	画面名、機能名、項目名、マニュアル内の参照先などを示しています。
『 』	マニュアルや資料などの名称を示しています。
< >	キーボードなどのハードキー名称（スペースキーは〈スペース〉と表記）を示しています。

参照マーク

他のマニュアルや他のページへなどの参照を示す場合は、以下のマークで記載しています。

マーク	説明
	他のページや Web サイトへの参照を示しています。クリックすると該当箇所にジャンプします。
	セクション内の画面への参照を示しています。クリックすると該当の画面にジャンプします。
	他のマニュアルや資料への参照を示しています。

用語集

不明な用語は、以下を参照してください。

 [『よくあるご質問（FAQ）』](#)

免責事項

- 本マニュアルは、ユーザー種別が「管理者」のユーザーを対象としています。「管理者」以外のユーザー種別でログインした場合は、操作が制限されます。
- iPad OS の操作は iOS と同様です。差異がある場合は iPad OS 用の記載をしています。
- 画面上のバージョン表記は、実際の表示と異なる場合があります。
- 本マニュアルに記載されている Web サイトの URL は、予告なく変更される場合があります。
- OS のバージョンやブラウザにより、一部の画面や操作が異なる場合があります。本マニュアルでは、Google Chrome を例に説明しています。

登録商標

- Apple、iPad、iPadOS、iPhone、Mac、macOS は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。
- iOS は、Apple Inc.の OS 名称です。
IOS は、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- App Store は、Apple Inc.のサービスマークです。
- Android、Google Chrome、Google Cloud、Google マップ、Google Play、Google Workspace は、Google LLC の商標です。
- Microsoft、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他記載の会社名、製品名は、各社の登録商標および商標です。

目次

[1 Android クライアントについて](#)

[2 キットティング方法を選択する](#)

[3 Google アカウントで Android Enterprise 連携を行う](#)

[4 Google アカウントで Android Enterprise 連携を行い、Google Workspace アカウントを併用する](#)

[5 Google Workspace アカウントで Android Enterprise 連携を行う](#)

[6 Google アカウントでゼロタッチ登録を利用して Android Enterprise 連携を行う](#)

[7 Google Workspace アカウントでゼロタッチ登録を利用して Android Enterprise 連携を行う](#)

[8 その他のキットティング方法](#)

[9 Optimal Biz – Google 間の連携設定を変更する](#)

1 Android クライアントについて	7
1.1 概要	8
1.2 OS サポートポリシー	8
1.3 動作環境	8
2 キットティング方法を選択する	9
2.1 各キットティング方法の概要	10
3 Google アカウントで Android Enterprise 連携を行う	12
3.1 Google アカウントを登録する	13
3.1.1 企業ドメインのメールアドレスを登録する場合	13
3.1.2 Microsoft ID アカウントのメールアドレスを登録する場合	23
3.1.3 Gmail のメールアドレスを登録する場合	26
3.2 ユーザーを作成する	33
3.3 afw 識別子でキットティングする	35
3.4 端末にユーザーを割り当てる	44
4 Google アカウントで Android Enterprise 連携を行い、Google Workspace アカウントを併用する	46
4.1 Google アカウントを登録する	47
4.1.1 企業ドメインのメールアドレスを登録する場合	47
4.1.2 Microsoft ID アカウントのメールアドレスを登録する場合	57
4.1.3 Gmail のメールアドレスを登録する場合	60
4.2 ユーザーを作成する	67
4.3 afw 識別子でキットティングする	69
4.4 端末にユーザーを割り当てる	78
4.5 Google Workspace アカウントを併用する	80
4.5.1 Google Workspace アカウントを設定する	80
4.5.2 Google Workspace アカウントを追加する	84
4.5.3 アカウントの追加を禁止する	87

5 Google Workspace アカウントで Android Enterprise 連携を行う	88
5.1 トークンを発行する	89
5.2 Google Workspace アカウントを登録する	95
5.3 ユーザーを作成する	99
5.3.1 既存のユーザーに Google Workspace アカウントを登録する	101
5.4 Google Workspace アカウントでキッティングする	103
6 Google アカウントでゼロタッチ登録を利用して Android Enterprise 連携を行う	112
6.1 Google アカウントを登録する	113
6.1.1 企業ドメインのメールアドレスを登録する場合	113
6.1.2 Microsoft ID アカウントのメールアドレスを登録する場合	123
6.1.3 Gmail のメールアドレスを登録する場合	126
6.2 Google API の認証設定を行う	133
6.2.1 メールアドレスを Google アカウントとして登録する	133
6.2.2 ゼロタッチポータルにログインする	137
6.2.3 利用規約に同意する	137
6.2.4 API 設定および JSON ファイルのダウンロードを行う	139
6.2.5 JSON ファイルをアップロードする	153
6.3 ユーザーを作成する	158
6.4 ゼロタッチ登録（Google アカウント利用）でキッティングする	160
6.5 端末にユーザーを割り当てる	169
6.6 ゼロタッチ登録サーバーに同期する	171
7 Google Workspace アカウントでゼロタッチ登録を利用して Android Enterprise 連携を行う	172
7.1 トークンを発行する	173
7.2 Google Workspace アカウントを登録する	179
7.3 Google API の認証設定を行う	183
7.3.1 メールアドレスを Google アカウントとして登録する	183
7.3.2 ゼロタッチポータルにログインする	187
7.3.3 利用規約に同意する	187
7.3.4 API 設定および JSON ファイルのダウンロードを行う	189
7.3.5 JSON ファイルをアップロードする	203
7.4 ユーザーを作成する	208
7.4.1 既存のユーザーに Google Workspace アカウントを登録する	210
7.5 ゼロタッチ登録（Google Workspace アカウント利用）でキッティングする	212
7.6 ゼロタッチ登録サーバーに同期する	224
8 その他のキッティング方法	225
8.1 QR コードでキッティングする	226
8.1.1 QR コードを表示する	226
8.1.2 QR コードを端末に読み込む	227

9 Optimal Biz – Google 間の連携設定を変更する	235
9.1 Google アカウントを削除する	236
9.2 Google アカウントを再登録する	239
9.2.1 企業ドメインのメールアドレスで再登録する場合	239
9.2.2 Gmail のメールアドレスで再登録する場合	242
9.3 Google Workspace アカウントを削除する	245

1 Android クライアントについて

1.1 概要

本製品は、専門の知識を必要とせず、機器の管理・運用を行うサポートサービスです。Android 端末にアプリ「Optimal Biz エージェント（以下、エージェントと呼ぶ）」をインストールし認証すると、端末の状態や位置情報を確認したり、管理サイトから端末のリモートロックやリモートワイプ（初期化）をしたりできます。

 管理サイトの操作については、以下を参照してください。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』

1.2 OS サポートポリシー

本製品では、確実な製品の動作とセキュリティ機能の提供を目的として、以下の OS サポートポリシーを定めています。

- 本製品の最新対応 OS より 3 世代前の OS メジャーバージョンまでをサポート。
- 最新対応 OS 追加に伴い、サポート対象外となった OS バージョンについては、サポート期限が切れた日から 1 年間に限り、お問い合わせには可能な限り対応いたします。ただし、動作保証や不具合対応はいたしません。
-  定期的の下位の OS バージョンのサポートを終了します。サポート対象外となる OS や端末を利用している場合は、OS アップデートまたは機種の変更をしてください。対応機種については、以下を参照してください。

 『Android エージェント対応端末表』

サポート対象	● Android 15：最新対応 OS ● Android 14：1 世代前 ● Android 13：2 世代前 ● Android 12：3 世代前  Android 11 のサポートは終了しました。問い合わせには 2025 年 10 月 19 日まで可能な限り対応します。
--------	---

1.3 動作環境

-  エージェントのリリース日から 180 日間は、180 日間にリリースされたすべてのエージェントがサポートされます。ただし、リリース日から 180 日を超えた場合は、180 日以降最初にリリースされたエージェントから 2 つ前のエージェントまでが、サポートの対象になります。

対象 OS	Android 12 以上  従来版エージェントのサポートは終了しました。  詳細については以下を参照してください。  『Android エージェント対応端末表』
本体メモリ	200MB 以上の空き容量
SD カード	5MB 以上の空き容量（ダウンロードしたインストーラーを SD カードに保存する場合）
ネットワーク接続	3G、4G/LTE、5G または Wi-Fi でインターネットへアクセスができること。 直接またはプロキシを介して管理サイトと HTTPS 通信（443 番ポート）ができること。

2 キットティング方法を選択する

利用している端末、および Google Workspace アカウント利用の有無によりキットティング方法が異なります。以下を参照して、適切なキットティング方法を選択してください。



- キットティングを行うには、端末を工場出荷状態（初期設定画面）にする必要があります。

2.1 各キットティング方法の概要

エージェントのキットティングには、以下の 6 種類の方法があります。各方法の特徴については、下の表を参照してください。

- afw 識別子
- afw 識別子 (Google Workspace アカウント併用)
- Google Workspace アカウント
- ゼロタッチ登録 (Google アカウント利用)
- ゼロタッチ登録 (Google Workspace アカウント利用)
- QR コード

 キットティング方法によっては、途中で別の方法に変更できません。キットティングを始める前に下の表を確認のうえ、適切な方法を慎重に選択してください。

 キットティング方法は限らず Android Enterprise を利用の場合は、1 ユーザーが所有できる機器は 10 台までです。1 ユーザーに 11 台以上の機器を紐づけないでください。

1 ユーザーに 11 台以上の機器を紐づけると、端末に配信した Google アカウントが無効になります。アカウントで利用している Google Play ストアの閲覧やアプリのインストールができなくなります。

 キットティングが完了して端末にプリインストールアプリがインストールされていない場合は、Android Enterprise でアプリを配信するか、Google Play ストアから手動でインストールしてください。Android Enterprise でのアプリ配信の詳細は、以下を参照してください。

 『Android Enterprise アプリケーション配信 手順書』

キットティング方法	説明
afw 識別子	端末のアクティベート時に表示される Google アカウント入力欄に、afw 識別子「afw#biz3」を入力します。事前の設定が少ない最も標準的なキットティング方法です。 キットティングの手順については、以下を参照してください。  「Google アカウントで Android Enterprise 連携を行う」12 ページ  Google Workspace を契約している場合は、この方法を選択せず、必ず以下のいずれかの方法でキットティングしてください。 • Google Workspace アカウント • ゼロタッチ登録 (Google Workspace アカウント利用)
afw 識別子 (Google Workspace アカウント併用)	afw 識別子でキットティングを行い、Google Workspace アカウントを追加します。Google アカウントと Google Workspace アカウントを併用して利用することができます。 キットティングの手順については、以下を参照してください。  「Google アカウントで Android Enterprise 連携を行い、Google Workspace アカウントを併用する」46 ページ
Google Workspace アカウント	端末のアクティベート時に表示される Google アカウント入力欄に、Google Workspace アカウントを入力します。利用中の Google Workspace アカウントで Android Enterprise との連携を行う方法です。この方法には、以下のメリットがあります。 • Google Workspace アカウントを利用することで、別途管理用の Google アカウントを作成する必要がありません。 • 端末から Google Workspace アカウントで Google のサービスを利用できます。 キットティングの手順については、以下を参照してください。  「Google Workspace アカウントで Android Enterprise 連携を行う」88 ページ

キットティング方法		説明
ゼロタッチ登録（Google アカウント利用）		ゼロタッチ登録に対応した端末を利用して、Google アカウントで Android Enterprise との連携を行い、端末を強制的に本製品の管理下に置きます。この方法には、以下のメリットがあります。 ・キットティング前の機器情報を、あらかじめ「事前機器」として登録できます。 ・アクティベート時の端末操作を短縮できます。 キットティングの手順については、以下を参照してください。 🔗 「Google アカウントでゼロタッチ登録を利用して Android Enterprise 連携を行う」 112 ページ 🔗 ゼロタッチ登録の詳細については、以下の Web サイトを参照してください。 🔗 https://www.android.com/intl/ja_jp/enterprise/management/zero-touch/ 🔗 モバイルネットワークが利用できるゼロタッチ登録に対応した端末を、事前に用意してください。Wi-Fi 専用端末は、本製品に対応していません。
ゼロタッチ登録（Google Workspace アカウント利用）		ゼロタッチ登録に対応した端末を利用して、Google Workspace アカウントで Android Enterprise との連携を行い、端末を強制的に本製品の管理下に置きます。この方法には、以下のメリットがあります。 ・キットティング前の機器情報を、あらかじめ「事前機器」として登録できます。 ・アクティベート時の端末操作を短縮できます。 ・Google Workspace アカウントを利用することで、別途管理用の Google アカウントを作成する必要がありません。 ・端末から Google Workspace アカウントで Google のサービスを利用できます。 キットティングの手順については、以下を参照してください。 🔗 「Google Workspace アカウントでゼロタッチ登録を利用して Android Enterprise 連携を行う」 172 ページ 🔗 ゼロタッチ登録の詳細については、以下の Web サイトを参照してください。 🔗 https://www.android.com/intl/ja_jp/enterprise/management/zero-touch/ 🔗 モバイルネットワークが利用できるゼロタッチ登録に対応した端末を、事前に用意してください。Wi-Fi 専用端末は、本製品に対応していません。
その他	QR コード	初期設定画面を 6 回タップして QR コードリーダーをインストール後、指定の QR コードを読み込みます。 キットティングの手順については、以下を参照してください。 🔗 「QR コードでキットティングする」 226 ページ

3 Google アカウントで Android Enterprise 連携を行う

Android Enterprise を利用するには、端末をキッティングする前に Google アカウントで本製品と Google 間の連携設定を行います。

注意

- Android Enterprise の連携設定を行っていない Google アカウントが必要です。
- 連携設定を行ったアカウントの削除や再登録をしたい場合は、以下を参照してください。
 -  「Optimal Biz – Google 間の連携設定を変更する」 235 ページ
- 以下の項目は、初回のキッティング時のみ必要な操作です。
 -  「Google アカウントを登録する」 13 ページ

参考

- あらかじめ管理サイトで Android Enterprise の「アプリケーション配信」機能を設定しておく、キッティングの完了後、ライセンス認証と同時に特定のアプリを端末に配信できます。アプリケーション配信の詳細については、以下を参照してください。
 -  『Android Enterprise アプリケーション配信 手順書』の「アプリをインストールする」

3.1 Google アカウントを登録する

管理サイトに Android Enterprise 連携するための Google アカウントを登録します。

登録できる Google アカウントは、以下の 3 種類です。Google アカウントに応じて、いずれかの方法で登録してください。

● 企業ドメインのメールアドレスを登録する場合

☑ Google が推奨する登録方法です。なるべくこの方法で登録してください。

● Microsoft ID アカウントのメールアドレスを登録する場合

☑ Microsoft Entra ID でシングルサインオンが構成済みの場合は、自動的にこの登録方法になります。

● Gmail のメールアドレスを登録する場合

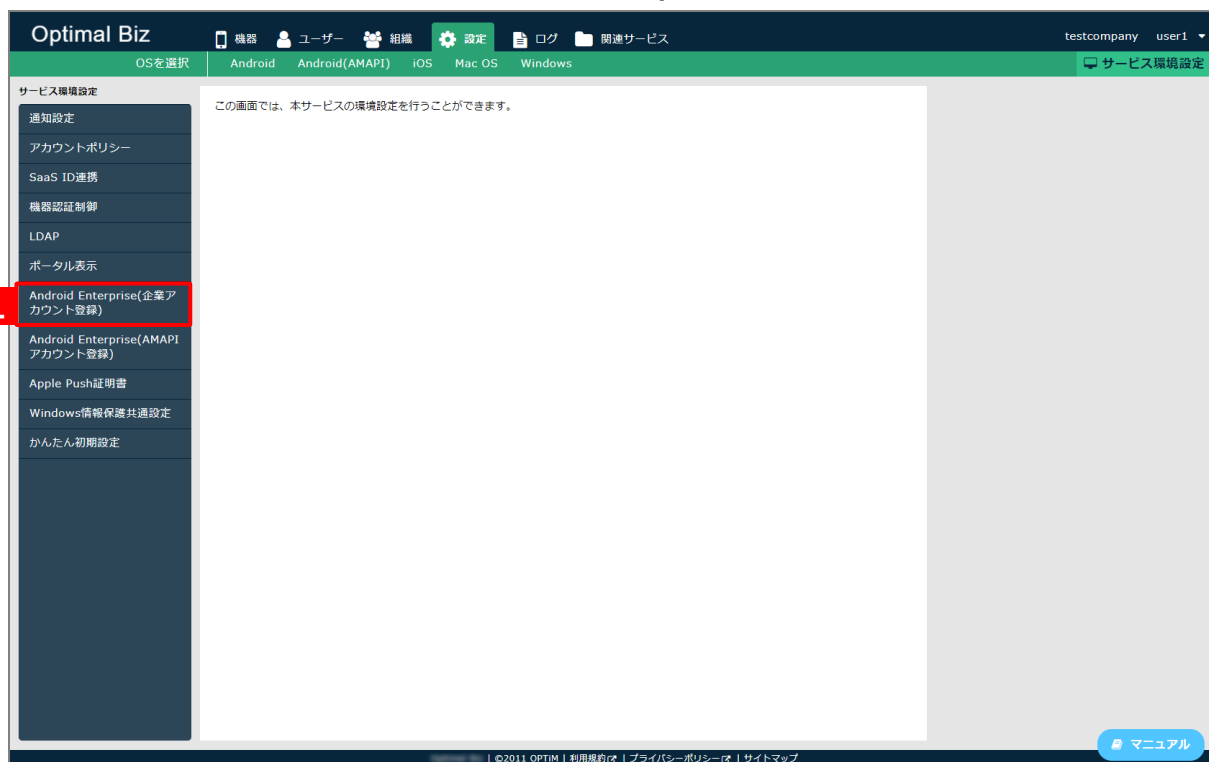
3.1.1 企業ドメインのメールアドレスを登録する場合

企業ドメインのメールアドレスを Android Enterprise 連携するための Google アカウントとして、管理サイトに登録します。

☑ Google が推奨する登録方法です。

☑ 企業で初めて登録した企業ドメインのメールアドレスの使用者が、ドメイン管理者です。その後、同じ企業ドメインで他のメールアドレスを登録するときは、ドメイン管理者に連絡してください。ドメイン管理者が Google の画面で他のメールアドレスを登録します。

【1】 [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise(企業アカウント登録)] をクリックします。



【2】 [アカウント登録] をクリックします。

- 🔍 アカウント登録が完了すると、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」、「開発者向けオプション」が「禁止」、「アプリ確認の強制」が「強制する」に設定されます。「セキュリティ設定 (DOM)」で「提供元不明アプリのインストール」を許可する設定セットを作成し、機器に割り当てて同期を行ってください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「セキュリティ設定 (DOM)」

- 🔍 (A) 「状態」は「未登録」と表示されています。

- 🔍 (B) 「アカウント種別」の初期値は「Google アカウント」が選択されています。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

(A) 状態
未登録

⚠️ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は セキュリティ設定(DOM) を使用してください。

(B) アカウント種別
☒ Googleアカウント ☐ Google Workspaceアカウント

2 アカウント登録

【3】 企業ドメインのメールアドレスを入力します。**【4】 [次へ] をクリックします。**

⇒ 企業で初めて企業ドメインのメールアドレスを登録した場合は、手順【3】で入力したメールアドレスに、Google からメールが届きます。メールを確認してください。

Android

.....

管理者アカウントを作成する

3 仕事用メールアドレスを入力してください

例: [名前]@[会社名].com

4 次へ

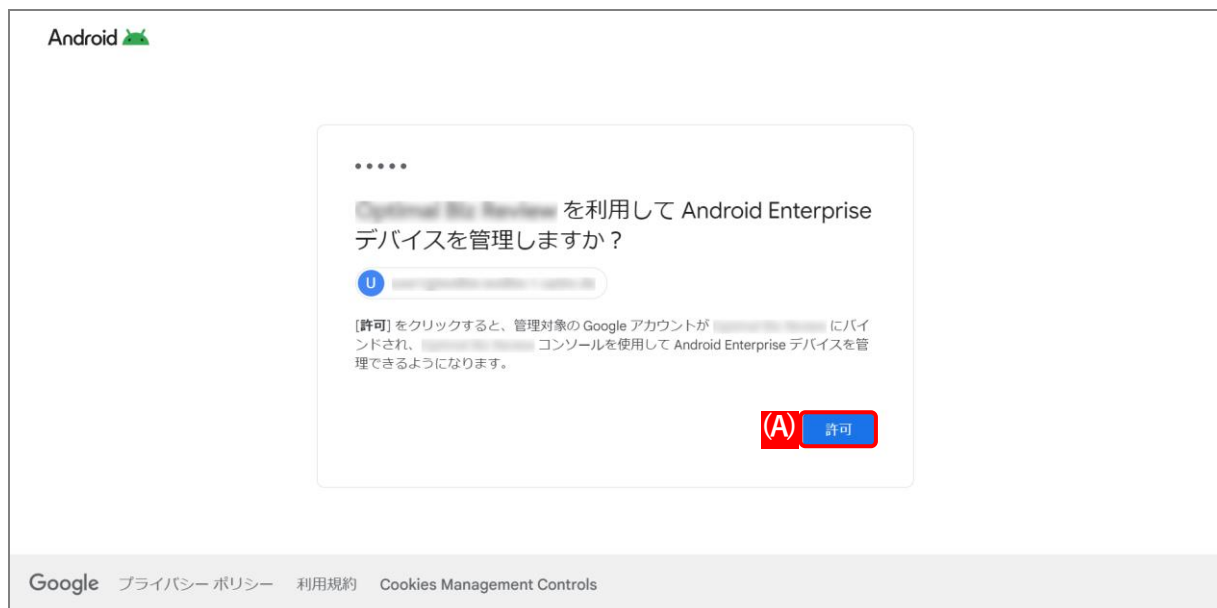
Android はあらゆるビジネスで利用できるパワフルなプラットフォームです

- ✓ モバイル デバイスを管理して企業アプリをインストール
- ✓ エンタープライズ クラスのセキュリティを活用してデータを保護
- ✓ 仕事用プロフィールを使ってデバイスを仕事とプライベートの両用に

- ✎すでに企業ドメインが登録されていた場合は、以下の画面が表示されます。
企業のドメイン管理者に連絡してください。企業のドメイン管理者が不明な場合は、Google に問い合わせてください。



- ✎ドメイン管理者のメールアドレスを他の企業で登録しようとした場合は、以下の画面が表示されます。
(A) [許可] をクリックすると、企業登録が完了します。



【5】メールの内容を確認して、[メールアドレスの確認] をクリックします。

⇒ 情報登録画面が表示されます。

Google

新規 Google 管理者アカウントのご利用にあたり、メールアドレスの本人確認が必要です

ご利用を開始するには、以下のボタンをクリックして 48 時間以内にビジネス用メールアドレスを確認してください。

5 メールアドレスの確認

メールアドレスの確認が完了すると、アカウントを作成してブラウザやデバイスの管理を開始できます。

何卒よろしくお願い申し上げます。
Google チーム

Google

© 2024 Google LLC 1600 Amphitheatre Parkway, Mountain View, CA 94043

このメールサービスによるお知らせは、Google サービスやアカウントの重要な変更に関する最新情報をお届けするものであり、メールの通知設定にかかわらずお送りいたします。

【6】名、姓、会社名を入力して、国を選択します。**【7】[続行] をクリックします。**

名、姓、会社名を入力すると、[続行] がクリックできます。

Android

お客様に関する情報

6

名*

姓*

会社名*

国*
日本

お知らせの設定

ヒント、最新機能、特典情報などをお知らせするメールの受信を希望されますか？

☐ はい ☐ いいえ

7 続行

【8】 [次へ] をクリックします。



【9】 8 文字以上のパスワードを入力します。

【10】 [同意して続行] をクリックします。

 パスワードを入力すると、[同意して続行] がクリックできます。



【11】 [許可してアカウントを作成] をクリックします。



【12】 手順【3】で入力した企業ドメインのアドレスを入力します。

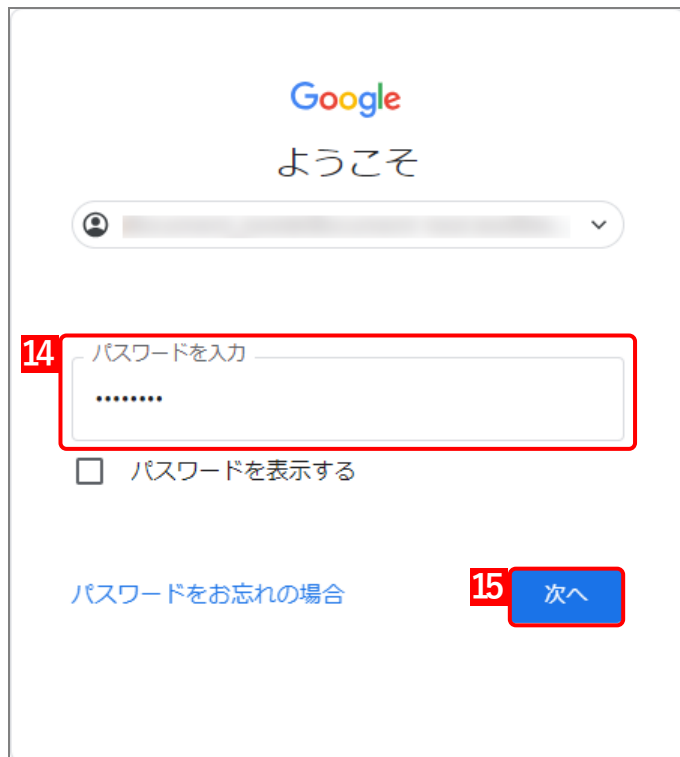
【13】 [次へ] をクリックします。



【14】 手順【9】で入力したパスワードを入力します。

【15】 [次へ] をクリックします。

⇒ 本人確認の画面が表示されます。



The image shows the Google login interface. At the top is the Google logo and the text 'ようこそ' (Welcome). Below this is a search bar with a profile icon on the left and a dropdown arrow on the right. The main part of the screen is a login form. A red box labeled '14' highlights the password input field, which contains the text 'パスワードを入力' (Enter password) and a series of dots representing the password. Below the input field is a checkbox labeled 'パスワードを表示する' (Show password). At the bottom left is a link 'パスワードをお忘れの場合' (If you've forgotten your password). At the bottom right is a blue button labeled '次へ' (Next), which is highlighted by a red box labeled '15'.

- 【16】 確認コードを受け取る電話番号を入力します。
- 【17】 確認コードの受け取り方法を選択します。
- 【18】 [コードを取得] をクリックします。



本人確認の実施

アクセスしようとしているアカウントで通常とは異なるアクティビティが検出されました。続行するには、以下の手順に沿って操作してください。



電話番号を指定して続行してください。ログインに使用できる確認コードを送信します。

国名
日本

電話番号

16

この番号はセキュリティ保護の目的でのみ使用されます。
通常のテキストメッセージ料金がかかります。

確認コードの受け取り方法:

17

☒ テキストメッセージ（携帯電話のメール）
☐ 自動音声通話

18

コードを取得

確認コードが届かない場合は、[サポート オプション](#)をご確認ください。

【19】 手順【16】で入力した電話番号で受け取った確認コードを入力します。

【20】 [確認] をクリックします。

【21】 [理解しました] をクリックします。

⇒ アカウント登録済の管理サイトの画面が表示されます。

- ✎ (A) 「状態」は「登録済」と表示されています。
- ✎ (B) 「アカウントメールアドレス」にアカウント登録で使したメールアドレスが表示されています。
- ✎ (C) 「組織 ID」に managed Google Play ストアでの組織の一意の識別子が表示されています。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

(A)

状態
登録済

⚠ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は [セキュリティ設定\(DOM\)](#) を使用してください。

アカウント種別
Googleアカウント

(B)

アカウントメールアドレス

(C)

組織ID

⚠ Android Enterprise(企業アカウント登録)の設定、およびGoogleのAndroid Enterpriseに紐づく企業情報を削除します。削除が実行されると、Android Enterprise機能を使用したアプリ配信はできなくなります。削除を実行してから30日以内に再登録した場合はデータが復元されます。よろしければ【同意する】にチェックを入れて【アカウント削除】をクリックしてください。

☐ 同意する

アカウント削除

3.1.2 Microsoft ID アカウントのメールアドレスを登録する場合

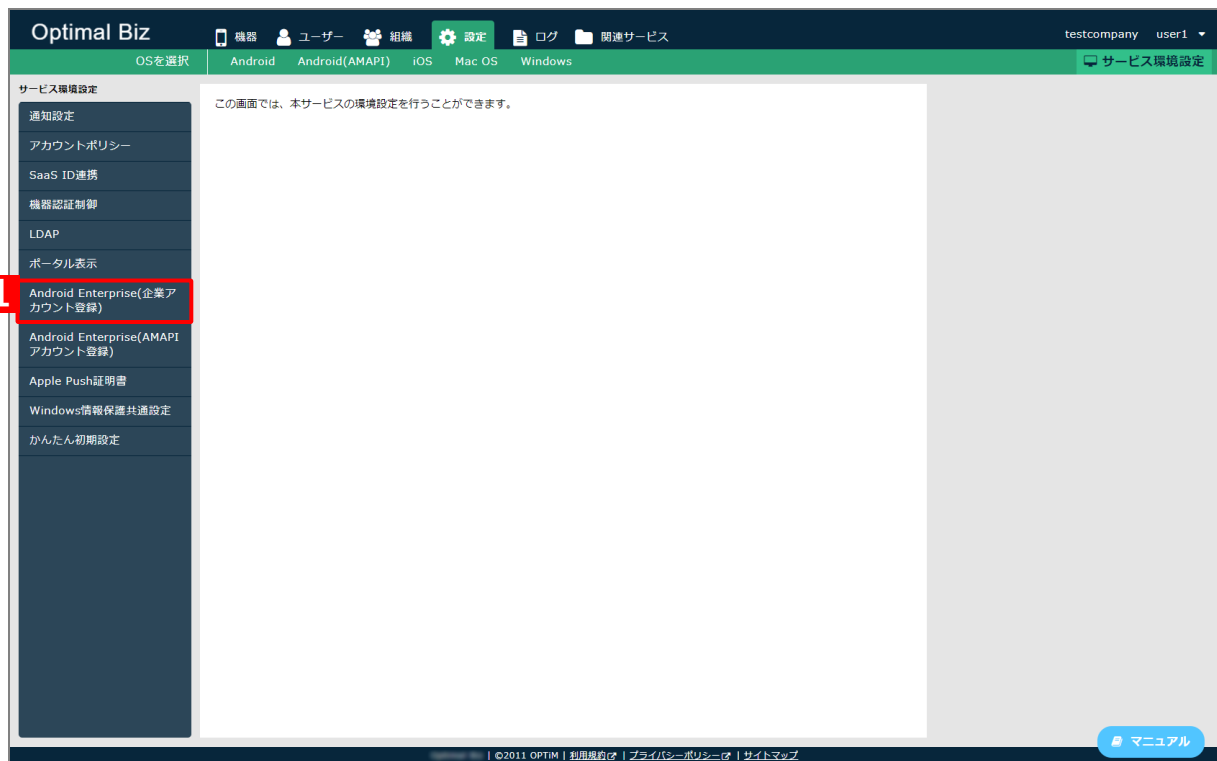
Microsoft ID アカウントのメールアドレスを Android Enterprise 連携するための Google アカウントとして、管理サイトに登録します。

☑ Microsoft ID アカウントのメールアドレスは、Microsoft Entra ID でシングルサインオンが構成済みのものを使用してください。認証を行うため自動的に Microsoft の画面が表示されます。

✎ Microsoft ID アカウントについての詳細は、以下を参照してください。

🔗 <https://learn.microsoft.com/ja-jp/entra/identity-platform/v2-protocols-oidc>

【1】 [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise(企業アカウント登録)] をクリックします。



【2】 [アカウント登録] をクリックします。

- ✎ アカウント登録が完了すると、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」、「開発者向けオプション」が「禁止」、「アプリ確認の強制」が「強制する」に設定されます。「セキュリティ設定 (DOM)」で「提供元不明アプリのインストール」を許可する設定セットを作成し、機器に割り当てて同期を行ってください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「セキュリティ設定 (DOM)」

- ✎ (A) 「状態」は「未登録」と表示されています。

- ✎ (B) 「アカウント種別」の初期値は「Google アカウント」が選択されています。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

(A) 状態
未登録

⚠ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は セキュリティ設定(DOM) を使用してください。

(B) アカウント種別
☒ Googleアカウント ☐ Google Workspaceアカウント

2 アカウント登録

【3】 Microsoft ID アカウントのメールアドレスを入力します。**【4】 [次へ] をクリックします。**

Android

.....

管理者アカウントを作成する

3 仕事用メールアドレスを入力してください*

例: [名前]@[会社名].com

4 次へ

Android はあらゆるビジネスで利用できるパワフルなプラットフォームです

- ✓ モバイル デバイスを管理して企業アプリをインストール
- ✓ エンタープライズクラスのセキュリティを活用してデータを保護
- ✓ 仕事用プロフィールを使ってデバイスを仕事とプライベートの両用に

[5] [Microsoft でログイン] をクリックします。

⇒ Microsoft の登録画面が表示されます。画面の指示にしたがい登録を行ってください。



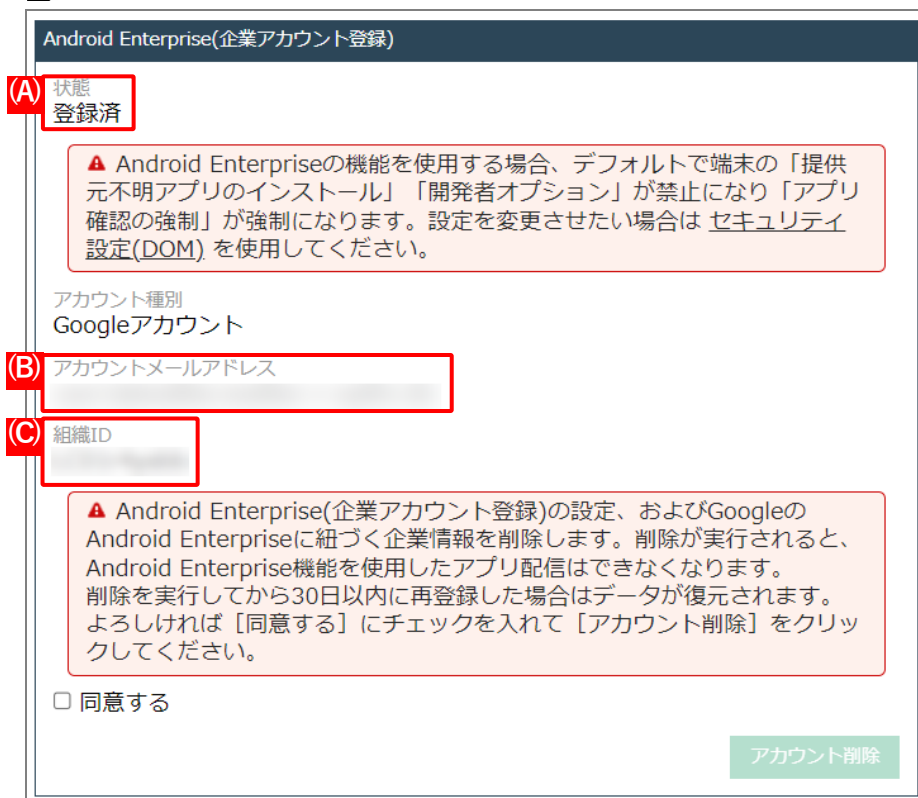
The screenshot shows a Google login page with the Google 'G' logo at the top. Below it, the text 'お申し込みは簡単' (Sign up is easy) is displayed. A grey bar indicates a user is already signed in with Microsoft. The text states that existing work accounts can be used for Google management console sign-up and login. A red box highlights the '5 Microsoft でログイン' (5 Log in with Microsoft) button. Below this, there is a link 'または、パスワードを使ってアカウントを作成' (or create an account with your password). At the bottom, a disclaimer explains that Google will create a Google account using Microsoft authentication info, which won't affect Microsoft services, and that the account will be used for single sign-on.

⇒ アカウント登録済みの管理サイトの画面が表示されます。

✎ (A) 「状態」は「登録済」と表示されています。

✎ (B) 「アカウントメールアドレス」にアカウント登録で使ったメールアドレスが表示されています。

✎ (C) 「組織 ID」に managed Google Play ストアでの組織の一意の識別子が表示されています。

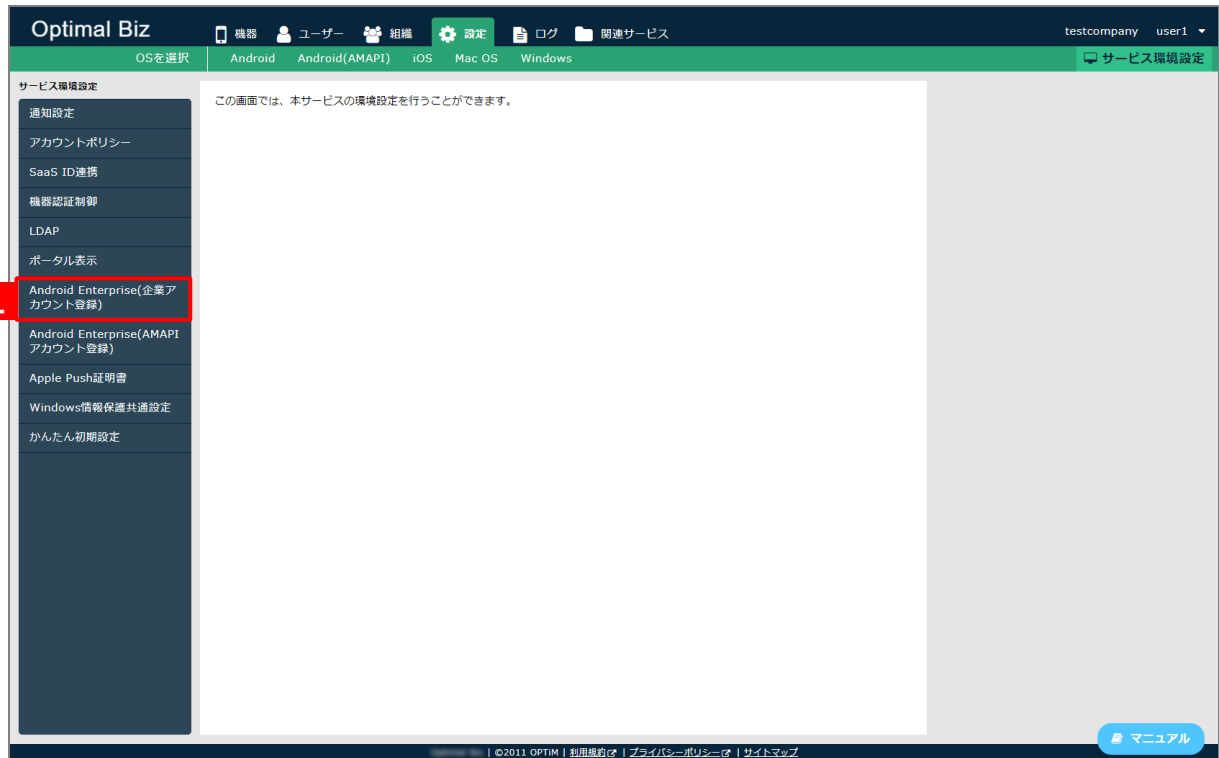


The screenshot shows the 'Android Enterprise(企業アカウント登録)' (Android Enterprise (Company Account Registration)) page. It has a dark header. Below the header, there's a section for 'アカウント種別' (Account Type) showing 'Googleアカウント' (Google Account). A red box labeled (A) highlights the '状態' (Status) as '登録済' (Registered). Below this, a warning box states that using Android Enterprise features will restrict app installation and developer options, and that security settings (DOM) should be used. Another red box labeled (B) highlights the 'アカウントメールアドレス' (Account Email Address) field. A third red box labeled (C) highlights the '組織 ID' (Organization ID) field. At the bottom, there's a checkbox for '同意する' (I agree) and a green button labeled 'アカウント削除' (Delete Account). A large warning box at the bottom explains that deleting the account will remove all company information and app distribution, and that data can be restored within 30 days if the user logs back in.

3.1.3 Gmail のメールアドレスを登録する場合

Gmail のメールアドレスを Android Enterprise 連携するための Google アカウントとして、管理サイトに登録します。

- 【1】** [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise(企業アカウント登録)] をクリックします。



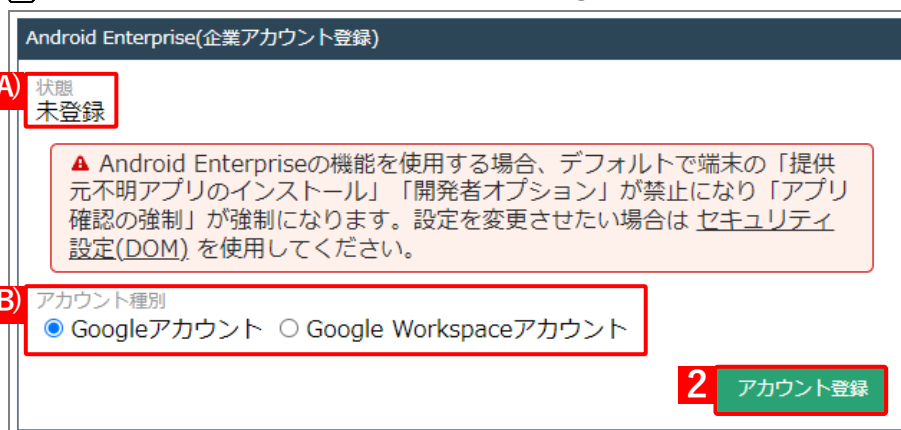
- 【2】** [アカウント登録] をクリックします。

📌 アカウント登録が完了すると、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」、「開発者向けオプション」が「禁止」、「アプリ確認の強制」が「強制する」に設定されます。「セキュリティ設定 (DOM)」で「提供元不明アプリのインストール」を許可する設定セットを作成し、機器に割り当てて同期を行ってください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「セキュリティ設定 (DOM)」

✍️ (A) 「状態」は「未登録」と表示されています。

✍️ (B) 「アカウント種別」の初期値は「Google アカウント」が選択されています。



【3】 Gmail のメールアドレスを入力します。

【4】 「次へ」 をクリックします。

Android

.....

管理者アカウントを作成する

3

仕事用メールアドレスを入力してください*

例: [名前]@[会社名].com

4

次へ



Android はあらゆるビジネスで利用できるパワフルなプラットフォームです

- ✓ モバイル デバイスを管理して企業アプリをインストール
- ✓ エンタープライズクラスのセキュリティを活用してデータを保護
- ✓ 仕事用プロフィールを使ってデバイスを仕事とプライベートの両用に

【5】 「Android のみ登録」 の「登録」 をクリックします。

⇒ Google Play ストアが表示されます。

Android

@gmail.com

は個人のメールアドレス
のようです

次のいずれかを選ぶことができます



仕事用メールアドレスで登録

お申し込みには、
name@company.com のような仕事
用メールアドレスが必要です

仕事用メールアドレスで再試行



会社のドメインを購入

company.com などのドメインや対
応する name@company.com のメ
ールアドレスがない場合は、新しい
ドメインを購入してから登録を再試
行できます。

新規ドメインを購入する



Android のみ登録

Android デバイスのみをデプロイす
る場合は、managed Google Play
アカウント エンタープライズを作
成できます。

このアカウントを使用して、
Chromebook や Chrome ブラウザ
などの他の Google サービスを管理
することはできません。詳細

5

登録

【6】 [ログイン] をクリックします。

☑ 利用しているブラウザにより、Google Play ストアが正常に動作しないことがあります。



【7】 手順【3】で入力した Gmail のメールアドレスを入力します。

【8】 [次へ] をクリックします。

ログイン

お客様の Google アカウントを使用

7 メールアドレスまたは電話番号

[メールアドレスを忘れた場合](#)

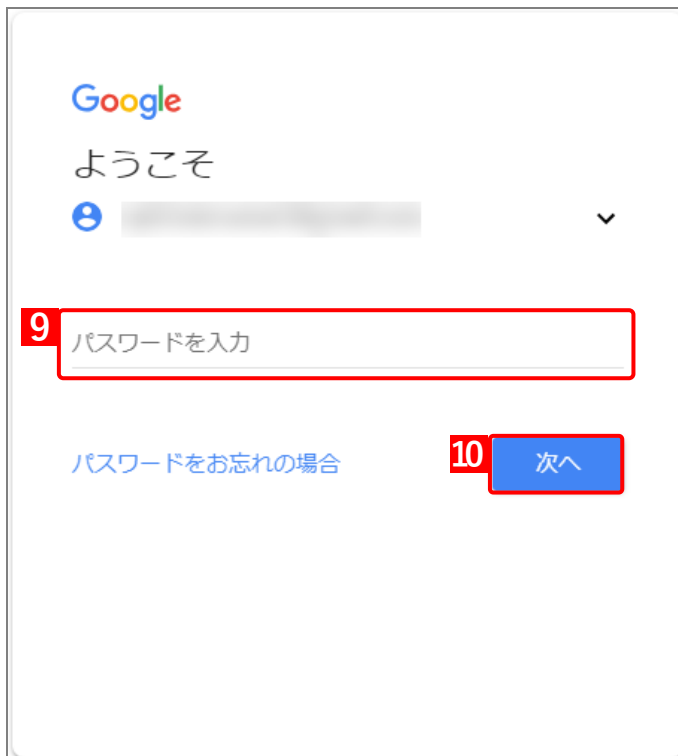
ご自分のパソコンでない場合は、ゲストモードを使用して非公開でログインしてください。 [ヘルプ](#)

[アカウントを作成](#)

8 [次へ](#)

【9】 パスワードを入力します。

【10】 [次へ] をクリックします。



Google
ようこそ

  ▼

9

[パスワードをお忘れの場合](#) **10**

【11】 [完了] をクリックします。



Google
アカウントの保護



パスワードを忘れてしまったり、アカウントにアクセスできなくなったり、アカウントで不審なアクティビティが検出されたりした場合に Google から連絡を受け取る方法を設定します

予備の電話番号
電話番号がありません

再設定用のメールアドレス
再設定用のメールアドレスがありません

11

【12】 [スタートガイド] をクリックします。



【13】 「組織名」を入力します。

【14】 [次へ] をクリックします。

A screenshot of the 'お店やサービスの詳細' (Details of your store or service) setup screen. The screen has a green header with the title 'お店やサービスの詳細' and a subtitle 'ビジネスの詳細情報を入力してください' (Please enter detailed business information). Below the subtitle, there is a text input field labeled 'ドメイン名またはお店やサービスの名前' (Domain name or store/service name). A red box highlights this input field, with the number '13' next to it. Below the input field, there is a text input field labeled '企業向けモバイル管理 (EMM) プロバイダ' (Enterprise mobile management (EMM) provider). At the bottom right, there are two buttons: '前へ' (Previous) and '次へ' (Next). A red box highlights the '次へ' button, with the number '14' next to it.

【15】 規約を確認し、同意にチェックを入れます。

【16】 [確認] をクリックします。

- ✎ (A) データの保護責任者および EU 担当者は、任意入力です。必要に応じて入力します。
データの保護責任者、EU 担当者についての詳細は、以下を参照してください。

🔗 <https://support.google.com/googleplay/work/answer/7681629>

連絡先情報

連絡先情報を入力してください

Google では、データ保護に関する法規制を遵守するための取り組みとして、顧客データ保護責任者様と EU 担当者様の連絡先情報を保管する必要があります。この情報は、Google のサービス内にあるデータのプライバシーやセキュリティに関する質問またはお知らせについてご連絡する場合に使用します。

この情報をまだご用意できていない場合は、managed Google Play の [管理者設定] から後で追加できます。

(A) データ保護責任者

名前

メール

モバイル端末

EU 担当者

名前

メール

モバイル端末

15 ☒ managed Google Play 契約を確認しました。この内容に同意します。

16

前へ 確認

【17】 「登録を完了」 をクリックします。

⇒ アカウント登録済みの管理サイトの画面が表示されます。



✎ (A) 「状態」 は「登録済」と表示されています。

✎ (B) 「アカウントメールアドレス」に Google Play ストアで登録したメールアドレスが表示されています。

✎ (C) 「組織ID」に managed Google Play ストアでの組織の一意の識別子が表示されています。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

(A) 状態
登録済

⚠ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は セキュリティ設定(DOM) を使用してください。

アカウント種別
Googleアカウント

(B) アカウントメールアドレス

(C) 組織ID

⚠ Android Enterprise(企業アカウント登録)の設定、およびGoogleのAndroid Enterpriseに紐づく企業情報を削除します。削除が実行されると、Android Enterprise機能を使用したアプリ配信はできなくなります。削除を実行してから30日以内に再登録した場合はデータが復元されます。よろしければ「同意する」にチェックを入れて「アカウント削除」ボタンをクリックしてください。

☐ 同意する

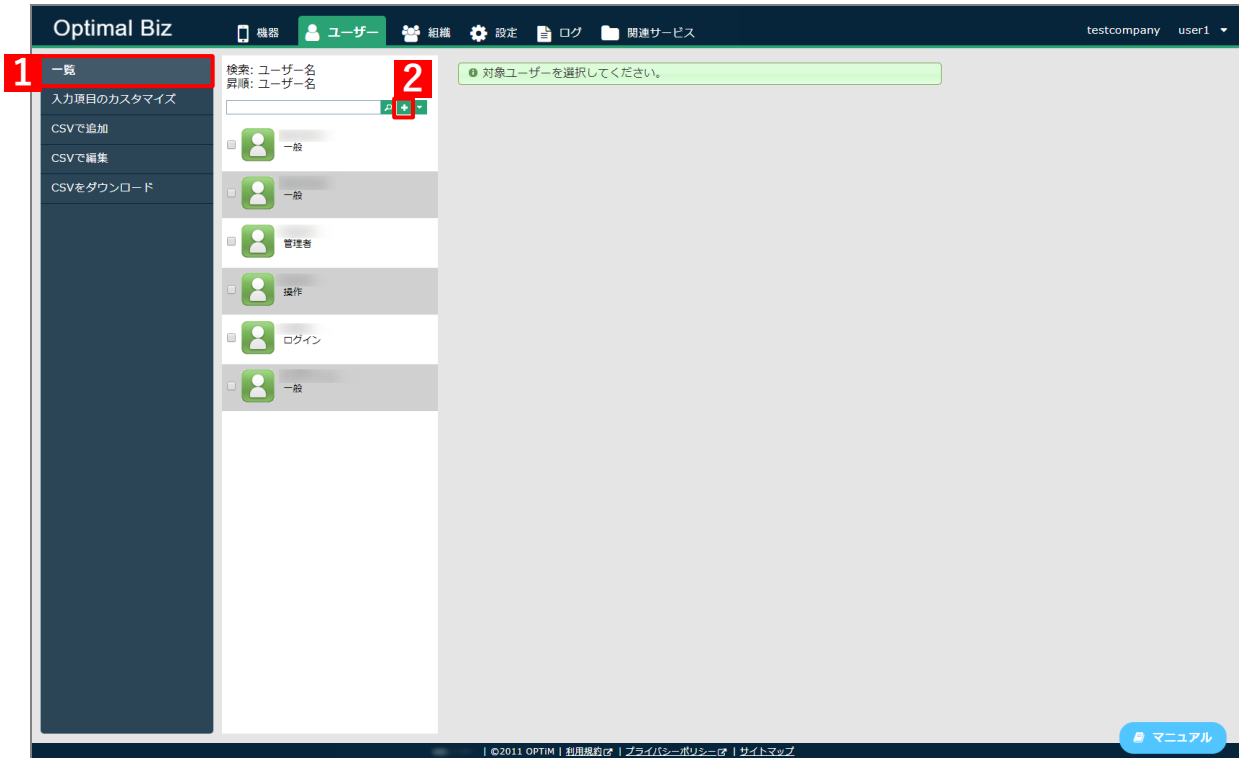
アカウント削除

32

3.2 ユーザーを作成する

以下の手順で、ユーザーを作成します。

- 【1】** [ユーザー] → [一覧] をクリックします。
- 【2】**  をクリックします。



【3】「名前」に任意の名前を入力します。

 その他の入力および設定項目の詳細については、以下を参照してください。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「ユーザー」－「一覧」－「ユーザーの作成」

【4】「保存」をクリックします。

⇒ユーザーが作成されます。

 新規作成

管理

管理情報 - 編集

3 名前

フリガナ

姓

名

ユーザーID

メールアドレス

ユーザー種別

☒ 管理者 (全ての操作ができます)

☐ 操作

☐ 閲覧者 (変更操作ができません)

☐ ロック・ワイプ

☐ ログイン (個別に権限を設定)

☒ 一般 (ログインできません)

組織

所属 (部)

(未分類)

役職

(未分類)

機器認証制限

☒ 制限なし

☐ 制限あり 台

☐ 認証禁止

パスワード

パスワード(再入力)

4 保存

3.3 afw 識別子でキッティングする

以下の手順で、afw 識別子による端末のキッティングを行います。

- ✎ 管理サイトの「アプリケーション禁止」で「禁止するアプリケーション」、および「アプリケーション非表示」に「Google Play 開発者サービス (com.google.android.gms)」を設定していると、正常にキッティングが完了できない場合があります。以下を参照して、事前に設定を解除してから、キッティングを行ってください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「アプリケーション」 - 「アプリケーション禁止」

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「アプリケーション非表示」

- ✎ 手順【10】の画面は、機種や OS によって表示されるタイミングが異なる場合があります。

【1】 [始める] をタップします。



【2】 [スキップ] をタップします。

- ✎ SIM が挿入されている場合は、表示されません。



【3】 接続したい Wi-Fi の SSID をタップして、Wi-Fi に接続してください。

⇒ ネットワーク接続が開始されます。

- ☑必ずネットワークに接続して、以降の手順を進めてください。
- ☑モバイルネットワークを利用する場合は、(A) [セットアップ時にモバイルネットワークを使用する] をタップします。表示されるポップアップのメッセージを確認してください。

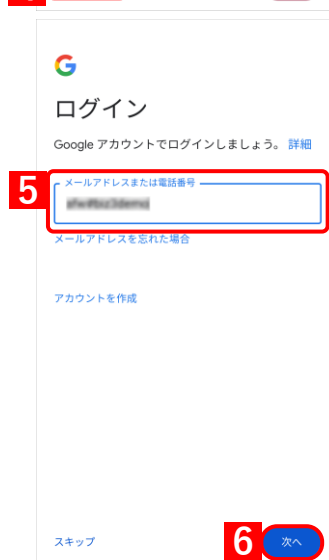


【4】 [コピーしない] をタップします。



【5】 「メールアドレスまたは電話番号」に「afw#biz3」と入力します。

【6】 [次へ] をタップします。



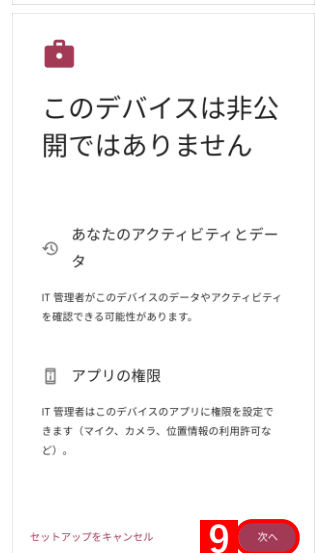
【7】 [次へ] をタップします。



【8】 [同意して続行] をタップします。



【9】 [次へ] をタップします。



【10】 [OK] をタップします。

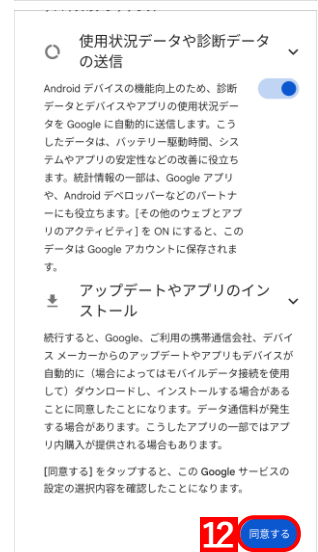


【11】 [もっと見る] をタップします。

☞ 端末によっては [もっと見る] が数回表示されます。[同意する] が表示されるまで、タップします。



【12】 [同意する] をタップします。



【13】 [スキップ] をタップします。



【14】 画面下部からスワイプします。
⇒ ホーム画面に移動します。



【15】 [Optimal Biz] をタップします。

 ホーム画面にアイコンが表示されない場合は、アプリ一覧を確認してください。



【16】 [ライセンス認証] をタップします。

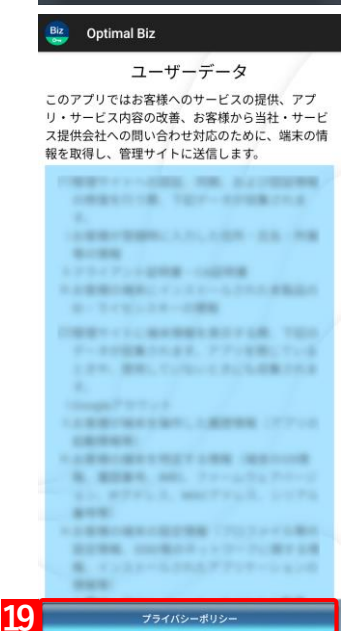


【17】 「利用規約に同意する」にチェックを入れます。

【18】 [OK] をタップします。



【19】 ユーザーデータについて確認して、[プライバシーポリシー] をタップします。



【20】 「プライバシーポリシーに同意する」 にチェックを入れます。

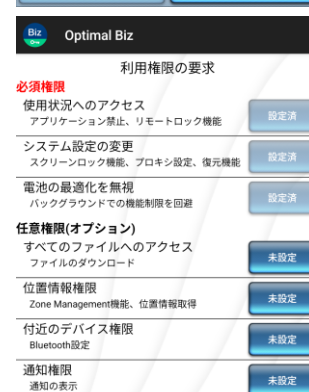
【21】 [OK] をタップします。

⇒ 権限要求画面が表示されます。

【22】 画面の案内に従って設定を行ってください。

- ✎ Android 11 以上でエージェントバージョン 9.19.0 以上の場合、
(A) 任意権限に「すべてのファイルへのアクセス」が表示されます。条件を満たしていない場合は、「ストレージ権限」が表示されます。
- ✎ Android 12 以上でエージェントバージョン 9.14.0 以上の場合、
(A) 任意権限に「付近のデバイス権限」が表示されます。
- ✎ Android 13 以上でエージェントバージョン 9.16.0 以上の場合、
(A) 任意権限に「通知権限」が表示されます。

【23】 [OK] をタップします。



【24】 「企業コード」および「認証コード」を入力します。

- ☑ 企業コード、認証コードは管理者にお問い合わせください。
- ✎ (A) [QR コード読取による認証情報の入力] をタップして、エージェント認証用 QR コードを読み取ると、「企業コード」、「認証コード」、「URL」が自動で入力されます。QR コードは、管理者にお問い合わせください。

【25】 [送信] をタップします。

⇒ ライセンス認証完了の画面が表示されます。

【26】 [OK] をタップします。

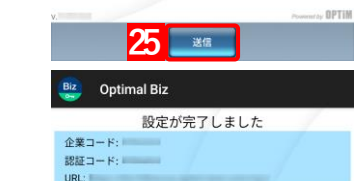
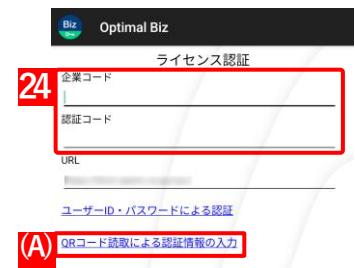
⇒ 初期登録画面が表示されます。

- ✎ 手順【27】～【29】の初期登録画面は、管理サイトでポータル表示を「表示」に設定している場合のみ表示されます。
- 🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「サービス環境設定」－「ポータル表示」

【27】 必要事項を選択、入力します。

【28】 [次へ] をタップします。

- ☑ あらかじめ、管理サイトの「入力項目のカスタマイズ」で入力項目を追加してください。追加するとき、「機器から入力可」にチェックを入れてください。チェックが入っていない場合は、項目が表示されません。
- 🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」－「入力項目のカスタマイズ」
- ☑ 管理サイトの「入力項目のカスタマイズ」で設定した内容により、画面に表示される「分類」と「自由入力項目」の内容が異なります。
- ✎ 機器情報の登録が不要の場合は、(A) [閉じる] をタップするか、端末の戻るボタンで画面を閉じてください。



【29】 [OK] をタップします。

⇒ キットニングおよびライセンス認証が完了しました。
以下に進んでください。

🔗 「端末にユーザーを割り当てる」44 ページ



3.4 端末にユーザーを割り当てる

以下の手順で、「ユーザーを作成する」で作成したユーザーを対象端末に割り当てます。

- 【1】 [機器] → [一覧] → 一覧から対象端末をクリックします。
- 【2】 [管理情報の編集] をクリックします。

The screenshot shows the Optimal Biz interface. On the left, the '機器' (Devices) menu is selected. The main area displays a table of devices. A red box labeled '1' highlights a row in the table. On the right sidebar, a red box labeled '2' highlights the '管理情報の編集' (Edit Management Information) button.

機器名	OS	電話番号	ユーザー	組織	通信日時	詳細
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	約23時間前	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	(認証待ち)	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	12分前	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	(認証待ち)	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	23分前	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	4日前	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	5日前	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	約23時間前	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	(認証待ち)	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	(認証待ち)	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	23分前	[Redacted]

- 【3】 「所属」の「ユーザー」を選択し、プルダウンメニューから「ユーザーを作成する」で選択したユーザーを指定します。
- 【4】 [保存] をクリックします。

The screenshot shows the '管理情報' (Management Information) form. A red box labeled '3' highlights the 'ユーザー' (User) selection dropdown. Another red box labeled '4' highlights the '保存' (Save) button.

管理情報

通信日時: 2019/10/23 16:57:54 同期

機器名

所属

☒ ユーザー

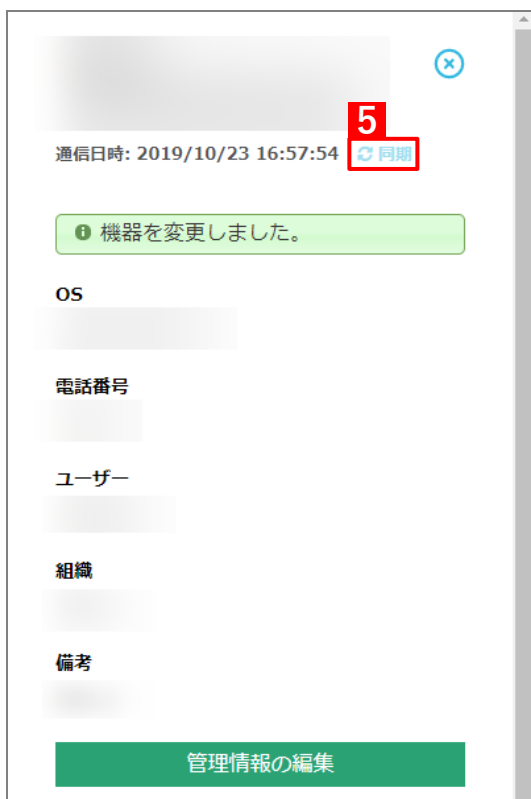
☐ 組織

備考

保存

取消

【5】 [同期] をクリックします。



通信日時: 2019/10/23 16:57:54

5 同期

機器を変更しました。

OS

電話番号

ユーザー

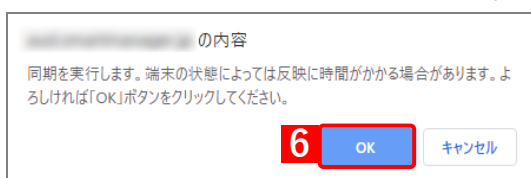
組織

備考

管理情報の編集

【6】 [OK] をクリックします。

⇒ 端末にユーザーが割り当てられます。



の内容

同期を実行します。端末の状態によっては反映に時間がかかる場合があります。よろしければ「OK」ボタンをクリックしてください。

6 OK キャンセル

4 Google アカウントで Android Enterprise 連携を行い、Google Workspace アカウントを併用する

Android Enterprise を利用するには、端末をキッティングする前に Google アカウントで本製品と Google 間の連携設定を行います。

Google Workspace アカウントを併用して登録する場合は、Google 管理コンソール上での設定を行ったあと、端末に Google Workspace アカウントを追加します。

注意

- Android Enterprise の連携設定を行っていない Google アカウント、Google Workspace アカウントが必要です。
- 連携設定を行ったアカウントの削除や再登録をしたい場合は、以下を参照してください。
 「Optimal Biz – Google 間の連携設定を変更する」 235 ページ
- 以下の項目は、初回のキッティング時のみ必要な操作です。
 「Google アカウントを登録する」 47 ページ

参考

- あらかじめ管理サイトで Android Enterprise の「アプリケーション配信」機能を設定しておく、キッティングの完了後、ライセンス認証と同時に特定のアプリを端末に配信できます。アプリケーション配信の詳細については、以下を参照してください。
 『Android Enterprise アプリケーション配信 手順書』の「アプリをインストールする」

4.1 Google アカウントを登録する

管理サイトに Android Enterprise 連携するための Google アカウントを登録します。

登録できる Google アカウントは、以下の 3 種類です。Google アカウントに応じて、いずれかの方法で登録してください。

- 企業ドメインのメールアドレスを登録する場合

- ☒ Google が推奨する登録方法です。なるべくこの方法で登録してください。

- Microsoft ID アカウントのメールアドレスを登録する場合

- ☒ Microsoft Entra ID でシングルサインオンが構成済みの場合は、自動的にこの登録方法になります。

- Gmail のメールアドレスを登録する場合

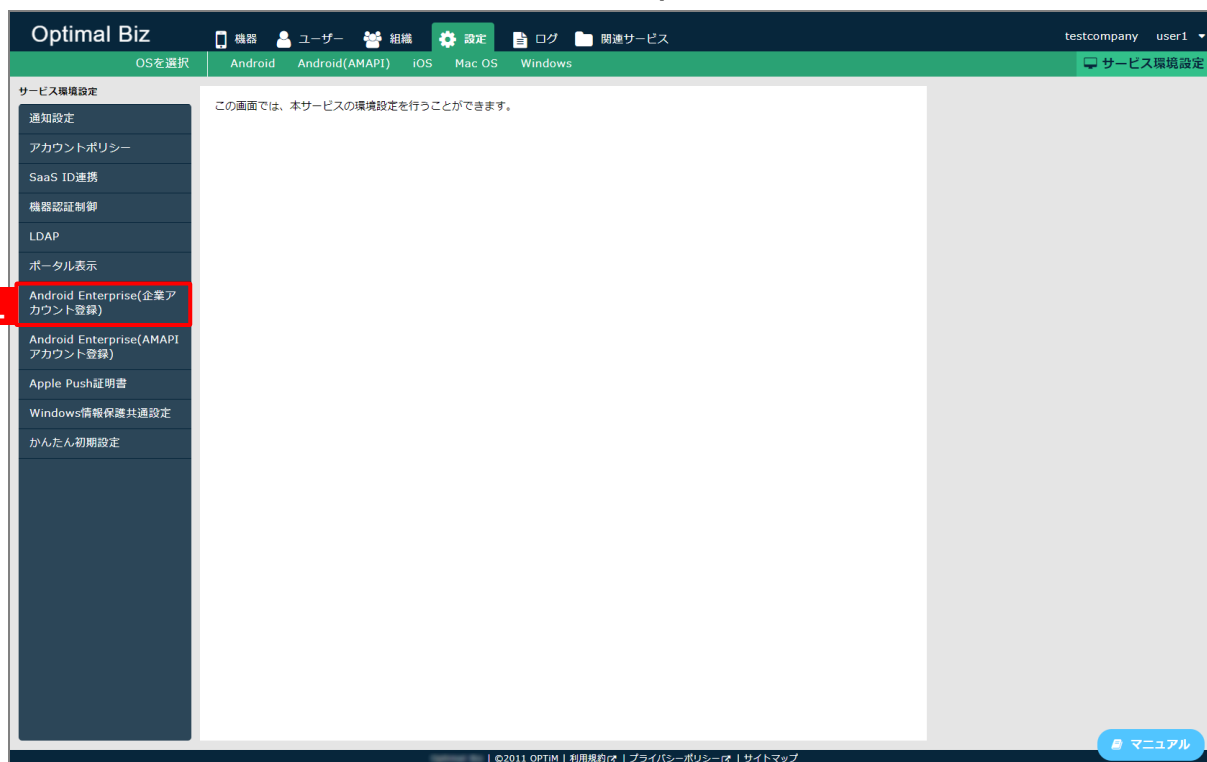
4.1.1 企業ドメインのメールアドレスを登録する場合

企業ドメインのメールアドレスを Android Enterprise 連携するための Google アカウントとして、管理サイトに登録します。

- ☒ Google が推奨する登録方法です。

- ☒ 企業で初めて登録した企業ドメインのメールアドレスの使用者が、ドメイン管理者です。その後、同じ企業ドメインで他のメールアドレスを登録するときは、ドメイン管理者に連絡してください。ドメイン管理者が Google の画面で他のメールアドレスを登録します。

【1】 [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise(企業アカウント登録)] をクリックします。



【2】 [アカウント登録] をクリックします。

- 🔍 アカウント登録が完了すると、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」、「開発者向けオプション」が「禁止」、「アプリ確認の強制」が「強制する」に設定されます。「セキュリティ設定 (DOM)」で「提供元不明アプリのインストール」を許可する設定セットを作成し、機器に割り当てて同期を行ってください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「セキュリティ設定 (DOM)」

- 🔍 (A) 「状態」は「未登録」と表示されています。

- 🔍 (B) 「アカウント種別」の初期値は「Google アカウント」が選択されています。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

(A) 状態
未登録

⚠️ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は セキュリティ設定(DOM) を使用してください。

(B) アカウント種別
☒ Googleアカウント ☐ Google Workspaceアカウント

2 アカウント登録

【3】 企業ドメインのメールアドレスを入力します。**【4】 [次へ] をクリックします。**

⇒ 企業で初めて企業ドメインのメールアドレスを登録した場合は、手順【3】で入力したメールアドレスに、Google からメールが届きます。メールを確認してください。

Android

.....

管理者アカウントを作成する

3 仕事用メールアドレスを入力してください

例: [名前]@[会社名].com

4 次へ

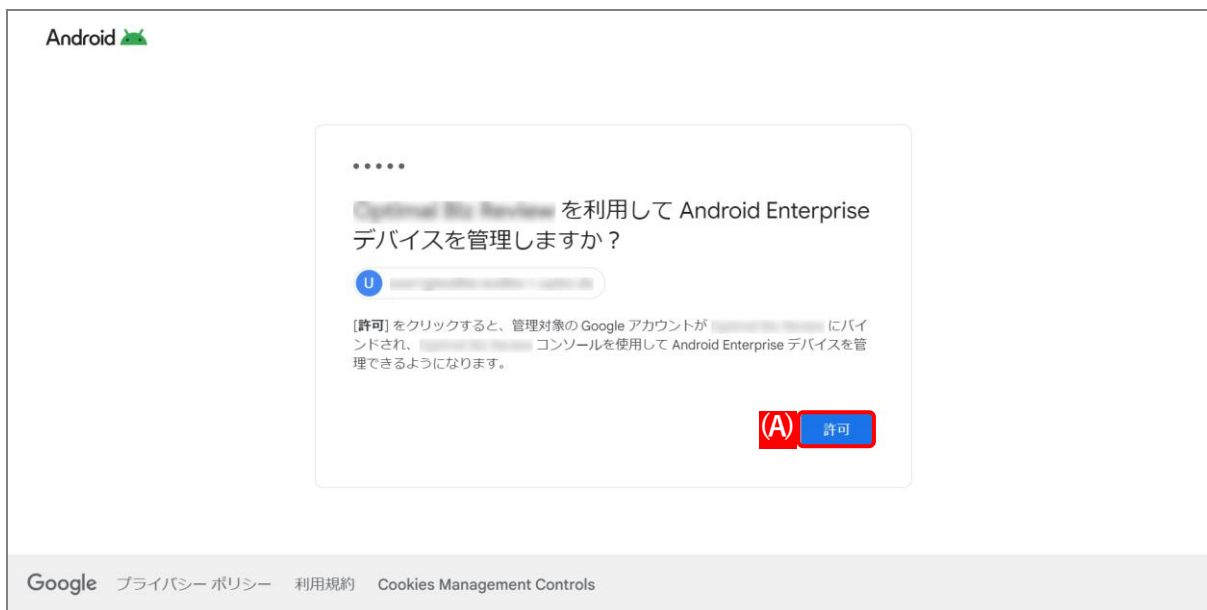
Android はあらゆるビジネスで利用できるパワフルなプラットフォームです

- ✓ モバイル デバイスを管理して企業アプリをインストール
- ✓ エンタープライズ クラスのセキュリティを活用してデータを保護
- ✓ 仕事用プロフィールを使ってデバイスを仕事とプライベートの両用に

- ✎すでに企業ドメインが登録されていた場合は、以下の画面が表示されます。
企業のドメイン管理者に連絡してください。企業のドメイン管理者が不明な場合は、Google に問い合わせてください。



- ✎ドメイン管理者のメールアドレスを他の企業で登録しようとした場合は、以下の画面が表示されます。
(A) [許可] をクリックすると、企業登録が完了します。



【5】メールの内容を確認して、[メールアドレスの確認] をクリックします。

⇒ 情報登録画面が表示されます。

Google

新規 Google 管理者アカウントのご利用にあたり、メールアドレスの本人確認が必要です

ご利用を開始するには、以下のボタンをクリックして 48 時間以内にビジネス用メールアドレスを確認してください。

5 メールアドレスの確認

メールアドレスの確認が完了すると、アカウントを作成してブラウザやデバイスの管理を開始できます。

何卒よろしくお願い申し上げます。
Google チーム

Google

© 2024 Google LLC 1600 Amphitheatre Parkway, Mountain View, CA 94043

このメールサービスによるお知らせは、Google サービスやアカウントの重要な変更に関する最新情報をお届けするものであり、メールの通知設定にかかわらずお送りいたします。

【6】名、姓、会社名を入力して、国を選択します。**【7】[続行] をクリックします。**

名、姓、会社名を入力すると、[続行] がクリックできます。

Android

お客様に関する情報

6

名*

姓*

会社名*

国*
日本

お知らせの設定
* 必須項目

ヒント、最新機能、特典情報などをお知らせするメールの受信を希望されますか？

☐ はい ☐ いいえ

7 続行

【8】 [次へ] をクリックします。



Android

管理者アカウントにサブスクリプションを追加

Android デバイスに加えて、アプリ、ブラウザ、その他のデバイスを管理コンソールで管理できます

Android Enterprise
月額 0 円
✓ 追加済み

Google Workspace Essentials Starter
月額 0 円
+ 追加

Chrome ブラウザクラウド管理
月額 0 円
+ 追加

ChromeOS 向け Chrome Enterprise Upgrade
料金不要の 30 日間トライアル
+ 追加

戻る

8 次へ

【9】 8 文字以上のパスワードを入力します。

【10】 [同意して続行] をクリックします。

 パスワードを入力すると、[同意して続行] がクリックできます。



Android

パスワードの作成

このパスワードと仕事用メールアドレスを使用して、管理コンソールにログインします。

パスワードを作成
8 文字以上にしてください

[同意して続行] をクリックすると、Google の規約に同意したことになります。

戻る

10 同意して続行

【11】 **「許可してアカウントを作成」** をクリックします。



【12】 手順【3】で入力した企業ドメインのアドレスを入力します。

【13】 **「次へ」** をクリックします。



【14】 手順【9】で入力したパスワードを入力します。

【15】 [次へ] をクリックします。

⇒ 本人確認の画面が表示されます。

The image shows the Google login interface. At the top is the Google logo and the text 'ようこそ' (Welcome). Below this is a search bar with a profile icon on the left and a dropdown arrow on the right. The main part of the screen is a login form. A red box labeled '14' highlights the password input field, which contains the text 'パスワードを入力' (Enter password) and a series of dots. Below the password field is a checkbox labeled 'パスワードを表示する' (Show password). At the bottom left is a link that says 'パスワードをお忘れの場合' (If you've forgotten your password). At the bottom right is a blue button labeled '次へ' (Next), which is highlighted by a red box labeled '15'.

- 【16】 確認コードを受け取る電話番号を入力します。
- 【17】 確認コードの受け取り方法を選択します。
- 【18】 [コードを取得] をクリックします。



本人確認の実施

アクセスしようとしているアカウントで通常とは異なるアクティビティが検出されました。続行するには、以下の手順に沿って操作してください。



電話番号を指定して続行してください。ログインに使用できる確認コードを送信します。

国名
日本

電話番号

16

この番号はセキュリティ保護の目的でのみ使用されます。
通常のテキストメッセージ料金がかかります。

確認コードの受け取り方法:

17

☒ テキストメッセージ（携帯電話のメール）
☐ 自動音声通話

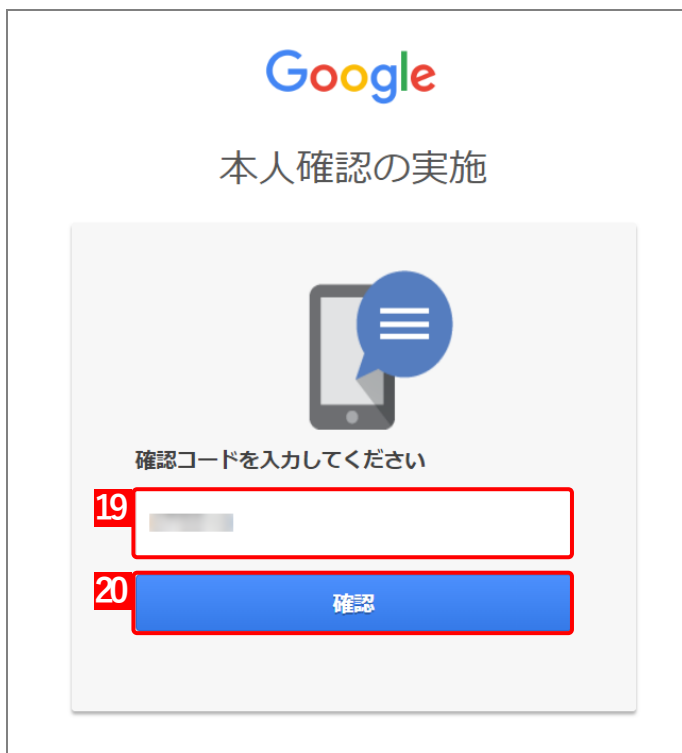
18

コードを取得

確認コードが届かない場合は、[サポート オプション](#)をご確認ください。

【19】 手順【16】で入力した電話番号で受け取った確認コードを入力します。

【20】 [確認] をクリックします。



【21】 [理解しました] をクリックします。

⇒ アカウント登録済みの管理サイトの画面が表示されます。



- ✎ (A) 「状態」は「登録済」と表示されています。
- ✎ (B) 「アカウントメールアドレス」にアカウント登録で使したメールアドレスが表示されています。
- ✎ (C) 「組織 ID」に managed Google Play ストアでの組織の一意の識別子が表示されています。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

A

状態
登録済

⚠ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は [セキュリティ設定\(DOM\)](#) を使用してください。

アカウント種別
Googleアカウント

B

アカウントメールアドレス

C

組織ID

⚠ Android Enterprise(企業アカウント登録)の設定、およびGoogleのAndroid Enterpriseに紐づく企業情報を削除します。削除が実行されると、Android Enterprise機能を使用したアプリ配信はできなくなります。削除を実行してから30日以内に再登録した場合はデータが復元されます。よろしければ[同意する]にチェックを入れて[アカウント削除]をクリックしてください。

☐ 同意する

アカウント削除

4.1.2 Microsoft ID アカウントのメールアドレスを登録する場合

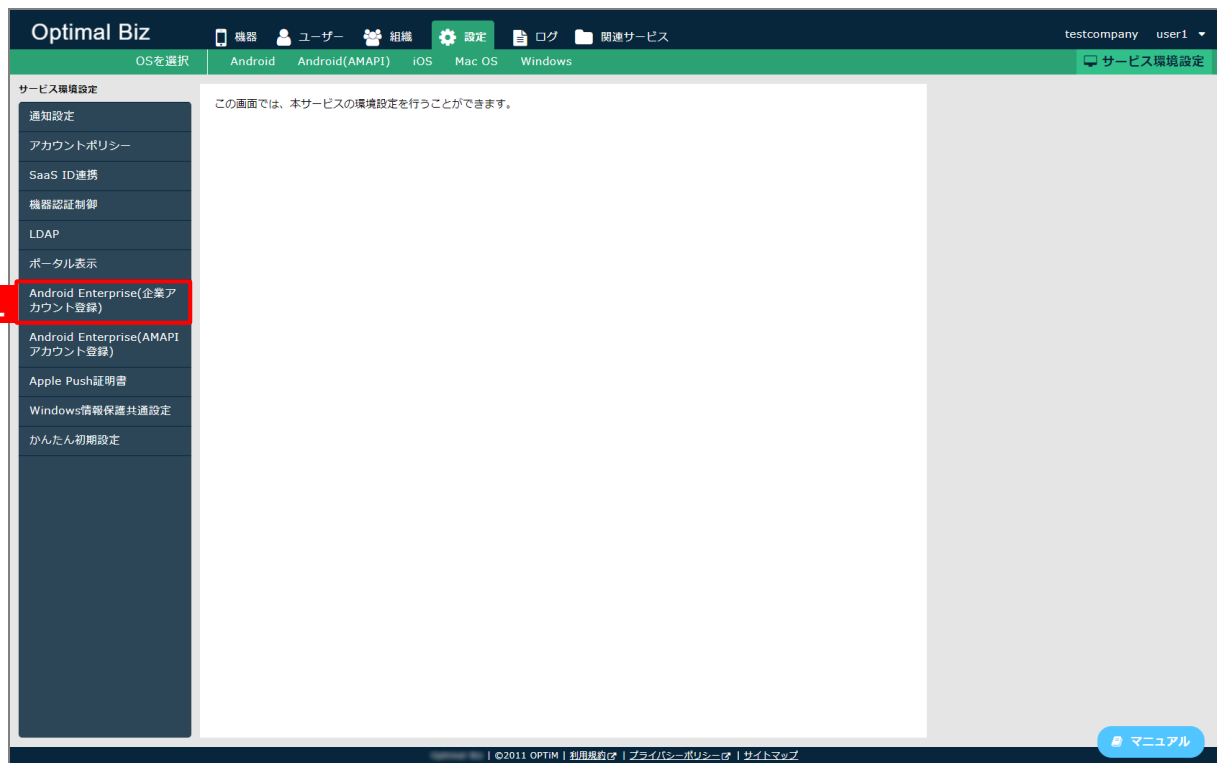
Microsoft ID アカウントのメールアドレスを Android Enterprise 連携するための Google アカウントとして、管理サイトに登録します。

☑ Microsoft ID アカウントのメールアドレスは、Microsoft Entra ID でシングルサインオンが構成済みのものを使用してください。認証を行うため自動的に Microsoft の画面が表示されます。

✎ Microsoft ID アカウントについての詳細は、以下を参照してください。

🔗 <https://learn.microsoft.com/ja-jp/entra/identity-platform/v2-protocols-oidc>

【1】 [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise(企業アカウント登録)] をクリックします。



【2】 [アカウント登録] をクリックします。

- ✎ アカウント登録が完了すると、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」、「開発者向けオプション」が「禁止」、「アプリ確認の強制」が「強制する」に設定されます。「セキュリティ設定 (DOM)」で「提供元不明アプリのインストール」を許可する設定セットを作成し、機器に割り当てて同期を行ってください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「セキュリティ設定 (DOM)」

- ✎ (A) 「状態」は「未登録」と表示されています。

- ✎ (B) 「アカウント種別」の初期値は「Google アカウント」が選択されています。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

(A) 状態
未登録

⚠ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は セキュリティ設定(DOM) を使用してください。

(B) アカウント種別
☒ Googleアカウント ☐ Google Workspaceアカウント

2 アカウント登録

【3】 Microsoft ID アカウントのメールアドレスを入力します。**【4】 [次へ] をクリックします。**

Android

.....

管理者アカウントを作成する

3 仕事用メールアドレスを入力してください*

例: [名前]@[会社名].com

4 次へ

Android はあらゆるビジネスで利用できるパワフルなプラットフォームです

- ✓ モバイル デバイスを管理して企業アプリをインストール
- ✓ エンタープライズクラスのセキュリティを活用してデータを保護
- ✓ 仕事用プロフィールを使ってデバイスを仕事とプライベートの両用に

【5】 [Microsoft でログイン] をクリックします。

⇒ Microsoft の登録画面が表示されます。画面の指示にしたがい登録を行ってください。

The screenshot shows a Microsoft login screen for Google account creation. At the top is the Google 'G' logo. Below it, the text 'お申し込みは簡単' (Sign up is simple) is displayed. A greyed-out input field is followed by the text 'は Microsoft で管理されているようです。' (seems to be managed by Microsoft). Below this, it says '既存の仕事用アカウントを Google 管理コンソールの申し込みとログインにお使いいただけます' (You can use your existing work account for Google management console sign-up and login). A red box with the number '5' highlights a button labeled 'Microsoft でログイン' (Sign in with Microsoft). Below the button, there is a link: 'または、パスワードを使ってアカウントを作成' (or create an account using a password). At the bottom, a paragraph explains that signing up with Microsoft authentication creates a Google account, which doesn't affect Microsoft services, and that the account is used for single sign-on.

⇒ アカウント登録済みの管理サイトの画面が表示されます。

✎ (A) 「状態」は「登録済」と表示されています。

✎ (B) 「アカウントメールアドレス」にアカウント登録で利用したメールアドレスが表示されています。

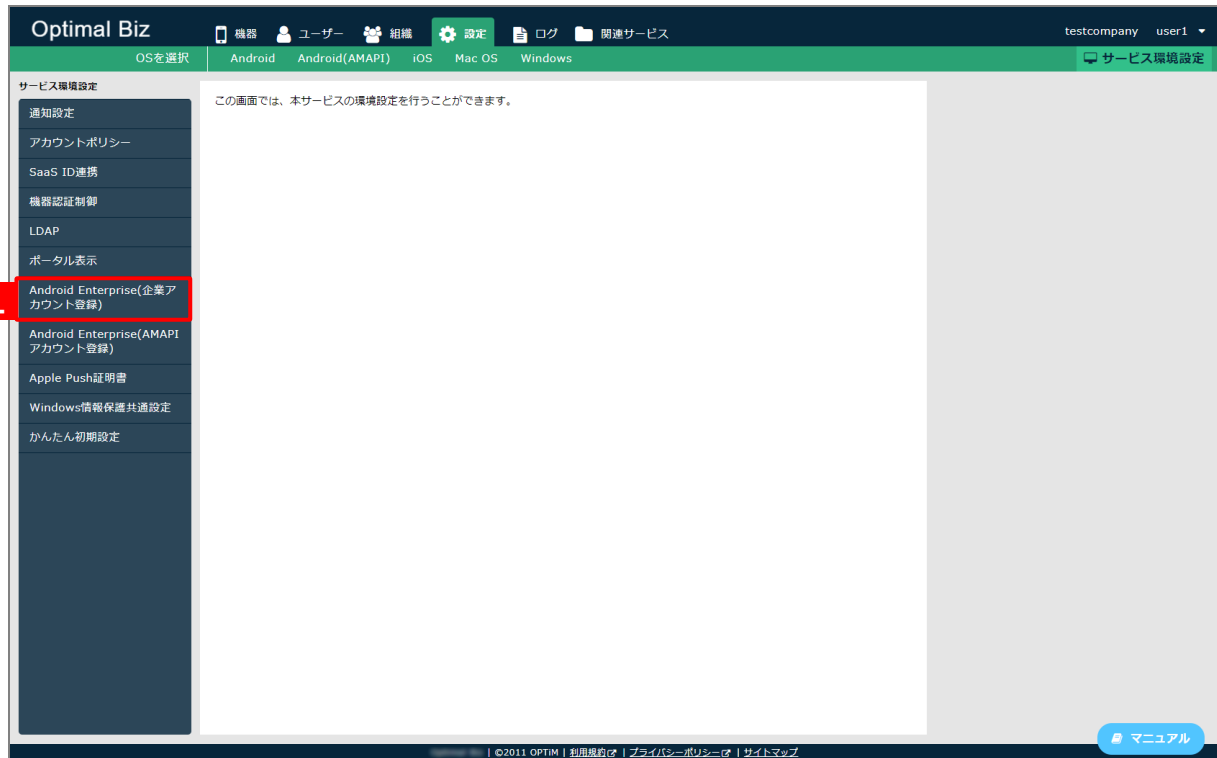
✎ (C) 「組織 ID」に managed Google Play ストアでの組織の一意の識別子が表示されています。

The screenshot shows the 'Android Enterprise(企業アカウント登録)' (Android Enterprise (Company Account Registration)) page. At the top, a red box labeled (A) highlights the '状態' (Status) field, which shows '登録済' (Registered). Below this, a red box labeled (B) highlights the 'アカウントメールアドレス' (Account email address) field. Another red box labeled (C) highlights the '組織 ID' (Organization ID) field. A large red box contains a warning message about the implications of deleting the account, including the loss of app distribution and the 30-day grace period for re-registration. At the bottom left, there is a checkbox labeled '同意する' (I agree). At the bottom right, there is a green button labeled 'アカウント削除' (Delete account).

4.1.3 Gmail のメールアドレスを登録する場合

Gmail のメールアドレスを Android Enterprise 連携するための Google アカウントとして、管理サイトに登録します。

- 【1】** [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise(企業アカウント登録)] をクリックします。



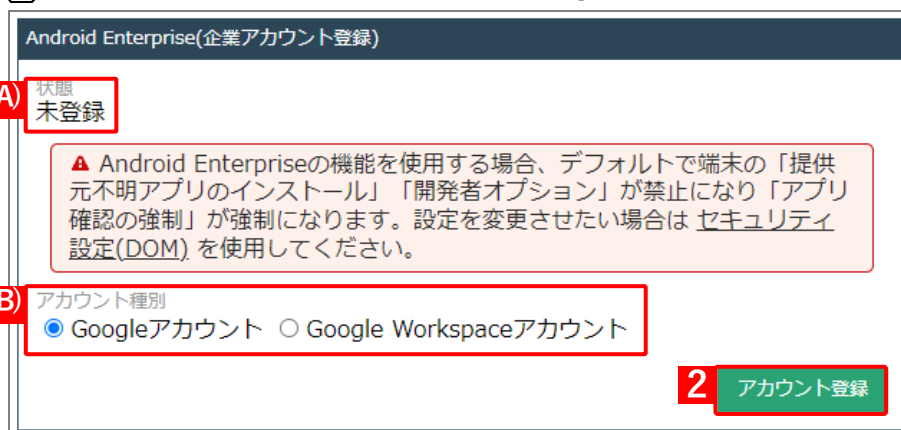
- 【2】** [アカウント登録] をクリックします。

📌 アカウント登録が完了すると、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」、「開発者向けオプション」が「禁止」、「アプリ確認の強制」が「強制する」に設定されます。「セキュリティ設定 (DOM)」で「提供元不明アプリのインストール」を許可する設定セットを作成し、機器に割り当てて同期を行ってください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「セキュリティ設定 (DOM)」

✎ (A) 「状態」は「未登録」と表示されています。

✎ (B) 「アカウント種別」の初期値は「Google アカウント」が選択されています。



【3】 Gmail のメールアドレスを入力します。

【4】 [次へ] をクリックします。

Android 

.....

管理者アカウントを作成する

3

仕事用メールアドレスを入力してください*

例: [名前]@[会社名].com

4

次へ



Android はあらゆるビジネスで利用できるパワフルなプラットフォームです

- ✓ モバイル デバイスを管理して企業アプリをインストール
- ✓ エンタープライズ クラスのセキュリティを活用してデータを保護
- ✓ 仕事用プロフィールを使ってデバイスを仕事とプライベートの両用に

【5】 「Android のみ登録」の「登録」をクリックします。

⇒ Google Play ストアが表示されます。

Android 

@gmail.com

は個人のメールアドレス
のようです

次のいずれかを選ぶことができます



仕事用メールアドレスで登録

お申し込みには、
name@company.com のような仕事
用メールアドレスが必要です

仕事用メールアドレスで再試行



会社のドメインを購入

company.com などのドメインや対
応する name@company.com のメ
ールアドレスがない場合は、新しい
ドメインを購入してから登録を再試
行できます。

新規ドメインを購入する



Android のみ登録

Android デバイスのみをデプロイす
る場合は、managed Google Play
アカウント エンタープライズを作
成できます。

このアカウントを使用して、
Chromebook や Chrome ブラウザ
などの他の Google サービスを管理
することはできません。詳細

5

登録

61

【6】 [ログイン] をクリックします。

☑ 利用しているブラウザにより、Google Play ストアが正常に動作しないことがあります。



【7】 手順【3】で入力した Gmail のメールアドレスを入力します。

【8】 [次へ] をクリックします。

ログイン

お客様の Google アカウントを使用

7 メールアドレスまたは電話番号

[メールアドレスを忘れた場合](#)

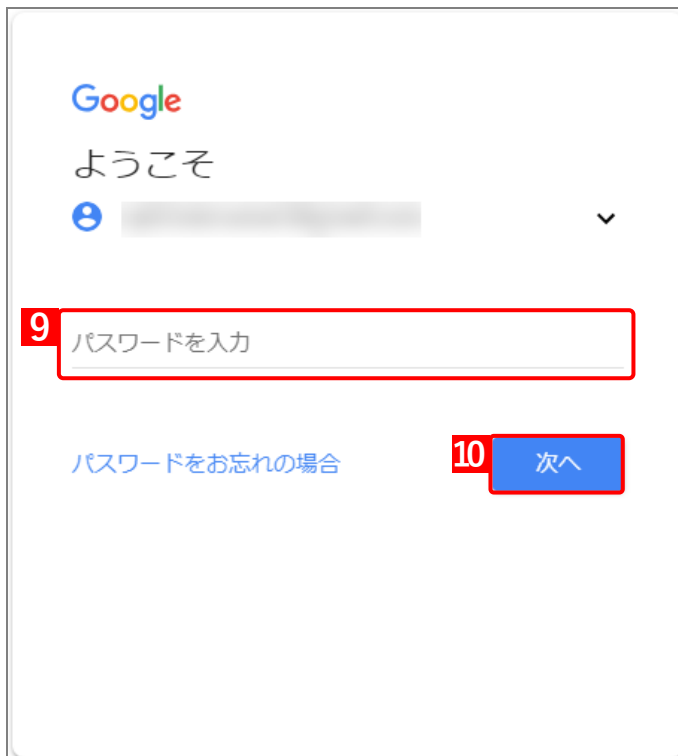
ご自分のパソコンでない場合は、ゲストモードを使用して非公開でログインしてください。 [ヘルプ](#)

[アカウントを作成](#)

8 [次へ](#)

【9】 パスワードを入力します。

【10】 [次へ] をクリックします。



The image shows the Google login interface. At the top is the Google logo, followed by the text 'ようこそ' (Welcome). Below this is a user profile icon and a dropdown arrow. A red box labeled '9' highlights the password input field with the placeholder text 'パスワードを入力' (Enter password). Below the input field, there is a link 'パスワードをお忘れの場合' (If you've forgotten your password) and a blue button labeled '次へ' (Next) which is highlighted with a red box labeled '10'.

【11】 [完了] をクリックします。



The image shows the 'アカウントの保護' (Account Protection) screen. At the top is the Google logo, followed by the text 'アカウントの保護'. Below this is a user profile icon. In the center is an illustration of a smartphone with a padlock and a key. Below the illustration, there is a paragraph of text: 'パスワードを忘れてしまったり、アカウントにアクセスできなくなったり、アカウントで不審なアクティビティが検出されたりした場合に Google から連絡を受け取る方法を設定します' (Set up a way to receive contact from Google in case you forget your password, lose access to your account, or suspicious activity is detected on your account). Below this text, there are two sections: '予備の電話番号' (Recovery phone number) with the status '電話番号がありません' (No phone number), and '再設定用のメールアドレス' (Recovery email address) with the status '再設定用のメールアドレスがありません' (No recovery email address). At the bottom, there is a '更新' (Update) button and a blue button labeled '完了' (Done) which is highlighted with a red box labeled '11'.

【12】 [スタートガイド] をクリックします。



【13】 「組織名」を入力します。

【14】 [次へ] をクリックします。



【15】規約を確認し、同意にチェックを入れます。

【16】[確認] をクリックします。

- 🔗 (A) データの保護責任者および EU 担当者は、任意入力です。必要に応じて入力します。
データの保護責任者、EU 担当者についての詳細は、以下を参照してください。

🔗 <https://support.google.com/googleplay/work/answer/7681629>

連絡先情報

連絡先情報を入力してください

Google では、データ保護に関する法規制を遵守するための取り組みとして、顧客データ保護責任者様と EU 担当者様の連絡先情報を保管する必要があります。この情報は、Google のサービス内にあるデータのプライバシーやセキュリティに関する質問またはお知らせについてご連絡する場合に使用します。

この情報をまだご用意できていない場合は、managed Google Play の [管理者設定] から後で追加できます。

(A) データ保護責任者

EU 担当者

15 ☒ managed Google Play 契約を確認しました。この内容に同意します。

16 前へ 確認

【17】 「登録を完了」 をクリックします。

⇒ アカウント登録済みの管理サイトの画面が表示されます。



✎ (A) 「状態」 は「登録済」と表示されています。

✎ (B) 「アカウントメールアドレス」に Google Play ストアで登録したメールアドレスが表示されています。

✎ (C) 「組織ID」に managed Google Play ストアでの組織の一意の識別子が表示されています。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

(A) 状態
登録済

⚠ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は セキュリティ設定(DOM) を使用してください。

アカウント種別
Googleアカウント

(B) アカウントメールアドレス

(C) 組織ID

⚠ Android Enterprise(企業アカウント登録)の設定、およびGoogleのAndroid Enterpriseに紐づく企業情報を削除します。削除が実行されると、Android Enterprise機能を使用したアプリ配信はできなくなります。削除を実行してから30日以内に再登録した場合はデータが復元されます。よろしければ「同意する」にチェックを入れて「アカウント削除」ボタンをクリックしてください。

☐ 同意する

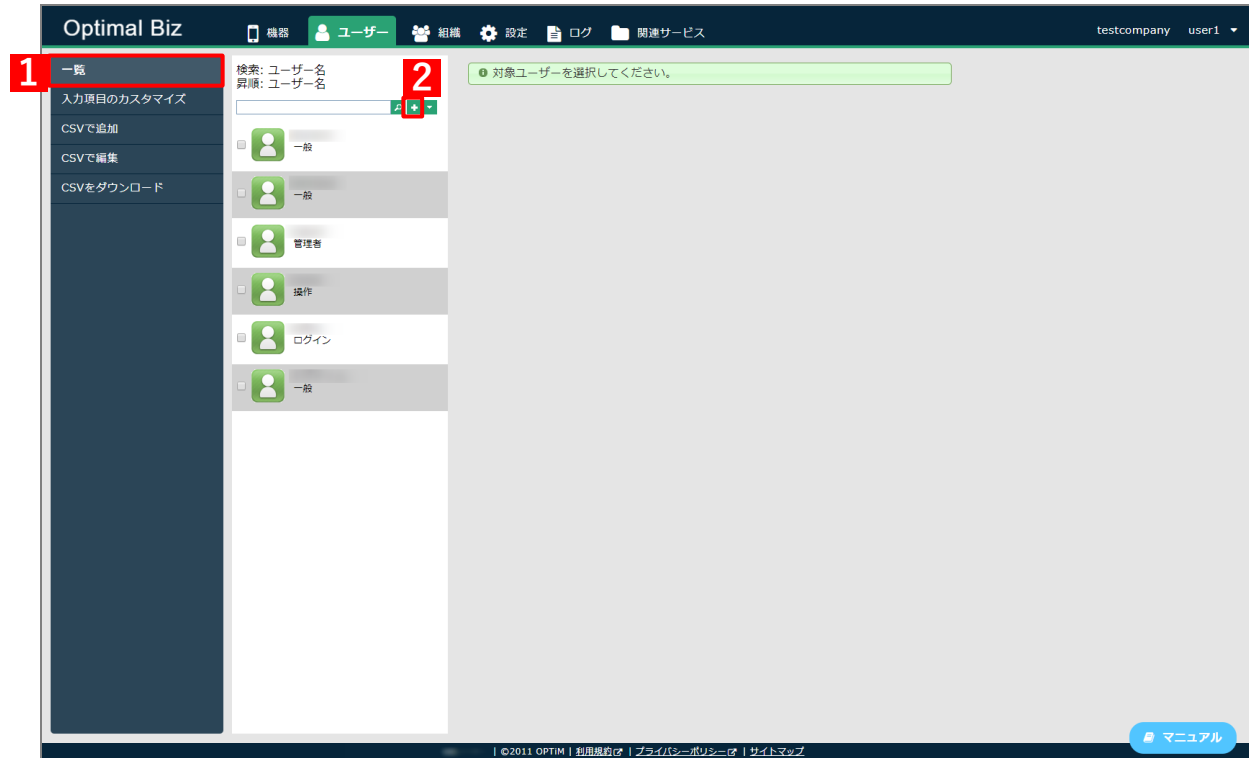
アカウント削除

66

4.2 ユーザーを作成する

以下の手順で、ユーザーを作成します。

- 【1】** [ユーザー] → [一覧] をクリックします。
- 【2】** **+** をクリックします。



【3】「名前」に任意の名前を入力します。

✎ その他の入力および設定項目の詳細については、以下を参照してください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「ユーザー」－「一覧」－「ユーザーの作成」

【4】「保存」をクリックします。

⇒ ユーザーが作成されます。

新規作成

管理

管理情報 - 編集

3 名前

フリガナ

姓

名

ユーザーID

メールアドレス

ユーザー種別

- ☐ 管理者 (全ての操作ができます)
- ☐ 操作
- ☐ 閲覧者 (変更操作ができません)
- ☐ ロック・ワイプ
- ☐ ログイン (個別に権限を設定)
- ☒ 一般 (ログインできません)

組織

所属 (部)

(未分類)

役職

(未分類)

機器認証制限

- ☒ 制限なし
- ☐ 制限あり 台
- ☐ 認証禁止

パスワード

パスワード(再入力)

4 保存

4.3 afw 識別子でキッティングする

以下の手順で、afw 識別子による端末のキッティングを行います。

- 管理サイトの「アプリケーション禁止」で「禁止するアプリケーション」、および「アプリケーション非表示」に「Google Play 開発者サービス (com.google.android.gms)」を設定していると、正常にキッティングが完了できない場合があります。以下を参照して、事前に設定を解除してから、キッティングを行ってください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「アプリケーション」 - 「アプリケーション禁止」

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「アプリケーション非表示」

- ✎ 手順【10】の画面は、機種や OS によって表示されるタイミングが異なる場合があります。

【1】 [始める] をタップします。



【2】 [スキップ] をタップします。

- ✎ SIM が挿入されている場合は、表示されません。



【3】 接続したい Wi-Fi の SSID をタップして、Wi-Fi に接続してください。

⇒ ネットワーク接続が開始されます。

- ☑必ずネットワークに接続して、以降の手順を進めてください。
- ☑モバイルネットワークを利用する場合は、(A) [セットアップ時にモバイルネットワークを使用する] をタップします。表示されるポップアップのメッセージを確認してください。

【4】 [コピーしない] をタップします。

【5】 「メールアドレスまたは電話番号」に「afw#biz3」と入力します。

【6】 [次へ] をタップします。



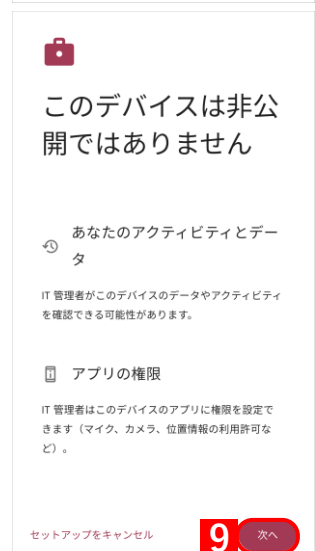
【7】 [次へ] をタップします。



【8】 [同意して続行] をタップします。



【9】 [次へ] をタップします。



【10】 [OK] をタップします。

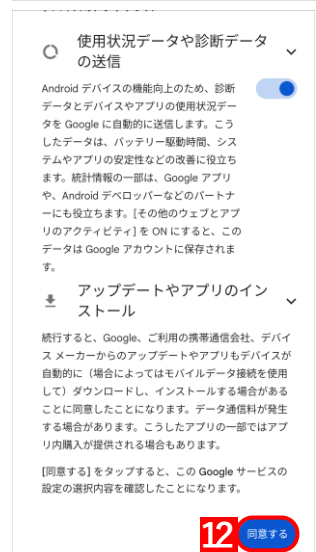


【11】 [もっと見る] をタップします。

☞ 端末によっては [もっと見る] が数回表示されます。[同意する] が表示されるまで、タップします。



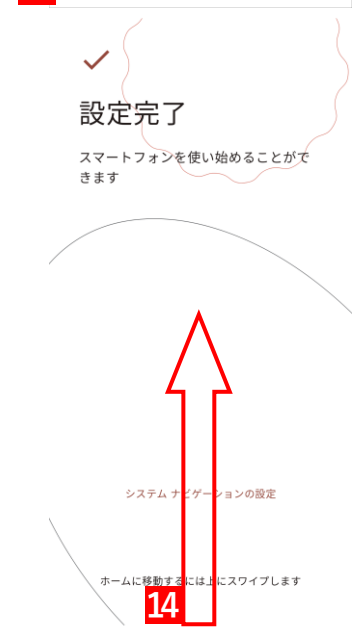
【12】 [同意する] をタップします。



【13】 [スキップ] をタップします。



【14】 画面下部からスワイプします。
⇒ ホーム画面に移動します。



【15】 [Optimal Biz] をタップします。

 ホーム画面にアイコンが表示されない場合は、アプリ一覧を確認
してください。



【16】 [ライセンス認証] をタップします。

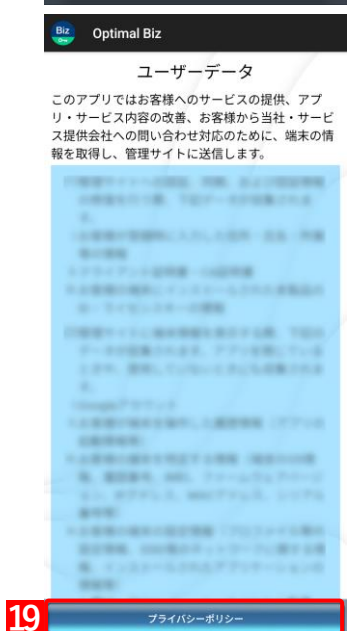


【17】 「利用規約に同意する」にチェックを入れます。

【18】 [OK] をタップします。



【19】 ユーザーデータについて確認して、[プライバシーポリシー] をタップします。



【20】 「プライバシーポリシーに同意する」 にチェックを入れます。

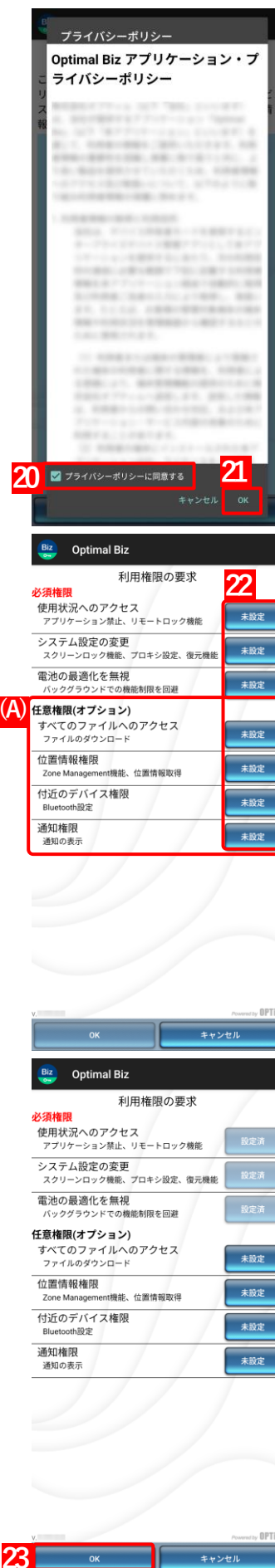
【21】 [OK] をタップします。

⇒ 権限要求画面が表示されます。

【22】 画面の案内に従って設定を行ってください。

- ✎ Android 11 以上でエージェントバージョン 9.19.0 以上の場合、
(A) 任意権限に「すべてのファイルへのアクセス」が表示されます。条件を満たしていない場合は、「ストレージ権限」が表示されます。
- ✎ Android 12 以上でエージェントバージョン 9.14.0 以上の場合、
(A) 任意権限に「付近のデバイス権限」が表示されます。
- ✎ Android 13 以上でエージェントバージョン 9.16.0 以上の場合、
(A) 任意権限に「通知権限」が表示されます。

【23】 [OK] をタップします。



【24】「企業コード」および「認証コード」を入力します。

- ☑ 企業コード、認証コードは管理者にお問い合わせください。
- ✎ (A) [QR コード読取による認証情報の入力] をタップして、エージェント認証用 QR コードを読み取ると、「企業コード」、「認証コード」、「URL」が自動で入力されます。QR コードは、管理者にお問い合わせください。

【25】[送信] をタップします。

⇒ ライセンス認証完了の画面が表示されます。

【26】[OK] をタップします。

⇒ 初期登録画面が表示されます。

- ✎ 手順【27】～【29】の初期登録画面は、管理サイトでポータル表示を「表示」に設定している場合のみ表示されます。
- 🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「サービス環境設定」－「ポータル表示」

【27】必要事項を選択、入力します。

【28】[次へ] をタップします。

- ☑ あらかじめ、管理サイトの「入力項目のカスタマイズ」で入力項目を追加してください。追加するとき、「機器から入力可」にチェックを入れてください。チェックが入っていない場合は、項目が表示されません。
- 🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」－「入力項目のカスタマイズ」
- ☑ 管理サイトの「入力項目のカスタマイズ」で設定した内容により、画面に表示される「分類」と「自由入力項目」の内容が異なります。
- ✎ 機器情報の登録が不要の場合は、(A) [閉じる] をタップするか、端末の戻るボタンで画面を閉じてください。



【29】 [OK] をタップします。

⇒ キットニングおよびライセンス認証が完了しました。
以下に進んでください。

🔗 「端末にユーザーを割り当てる」 78 ページ



4.4 端末にユーザーを割り当てる

以下の手順で、「ユーザーを作成する」で作成したユーザーを対象端末に割り当てます。

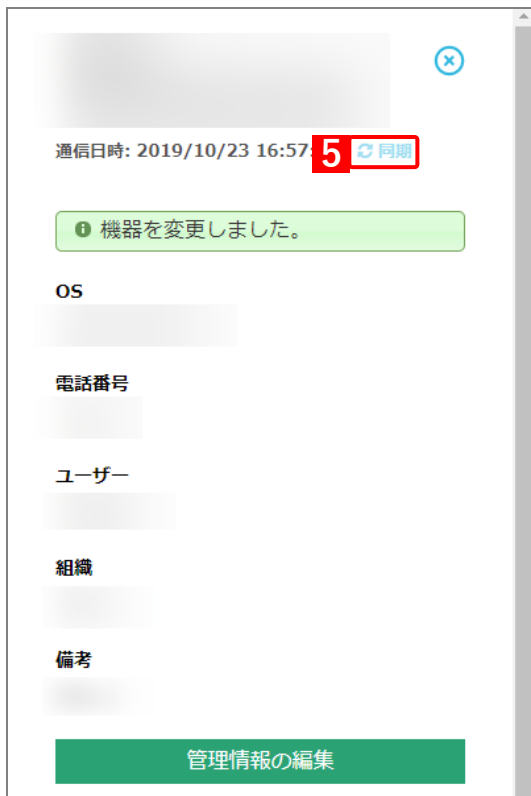
- 【1】 [機器] → [一覧] → 一覧から対象端末をクリックします。
- 【2】 [管理情報の編集] をクリックします。

The screenshot shows the 'Optimal Biz' interface. The main menu on the left includes '機器' (Devices), 'ユーザー' (Users), '組織' (Organizations), '設定' (Settings), 'ログ' (Logs), and '関連サービス' (Related Services). The '機器' section is active, showing a list of devices. A red box labeled '1' highlights a device row. On the right sidebar, a red box labeled '2' highlights the '管理情報の編集' (Edit Management Information) button.

- 【3】 「所属」の「ユーザー」を選択し、プルダウンメニューから「ユーザーを作成する」で選択したユーザーを指定します。
- 【4】 [保存] をクリックします。

The screenshot shows the '管理情報' (Management Information) form. The form includes fields for '機器名' (Device Name), '所属' (Affiliation) with radio buttons for 'ユーザー' (User) and '組織' (Organization), and a '備考' (Remarks) field. A red box labeled '3' highlights the 'ユーザー' radio button and the dropdown menu. Another red box labeled '4' highlights the '保存' (Save) button.

【5】 [同期] をクリックします。



通信日時: 2019/10/23 16:57 **5** **同期**

📘 機器を変更しました。

OS

電話番号

ユーザー

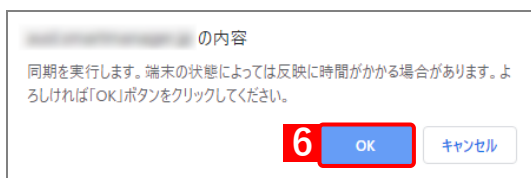
組織

備考

管理情報の編集

【6】 [OK] をクリックします。

⇒ 端末にユーザーが割り当てられます。



の内容

同期を実行します。端末の状態によっては反映に時間がかかる場合があります。よろしければ「OK」ボタンをクリックしてください。

6 **OK** キャンセル

4.5 Google Workspace アカウントを併用する

Google アカウントで Android Enterprise 連携を行い、端末にキッティング、ライセンス認証が完了したら、併用する Google Workspace アカウントを端末に追加します。

4.5.1 Google Workspace アカウントを設定する

Google 管理コンソールで、Google Workspace アカウントを以下の設定にします。

● 端末管理機能の無効化

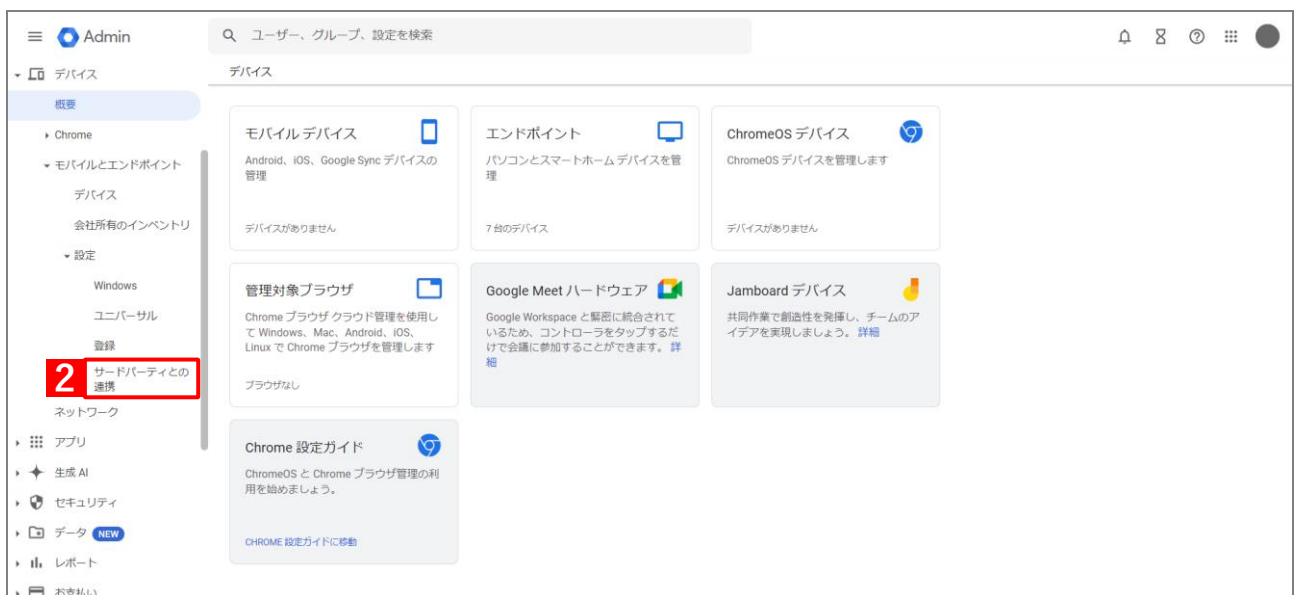
- ❑ 端末管理機能を有効にしていると、Google Workspace アカウントが使用できなくなったり、端末の初期化が必要になったりします。

● Google Play ストアの利用制限

- ❑ Google Play ストアの利用を制限していないと、業務に不要な Google Play ストア上のアプリをインストールできてしまいます。

[1] Google 管理コンソール (<https://admin.google.com>) を表示します。

[2] [デバイス] → [モバイルとエンドポイント] → [設定] → [サードパーティとの連携] をクリックします。



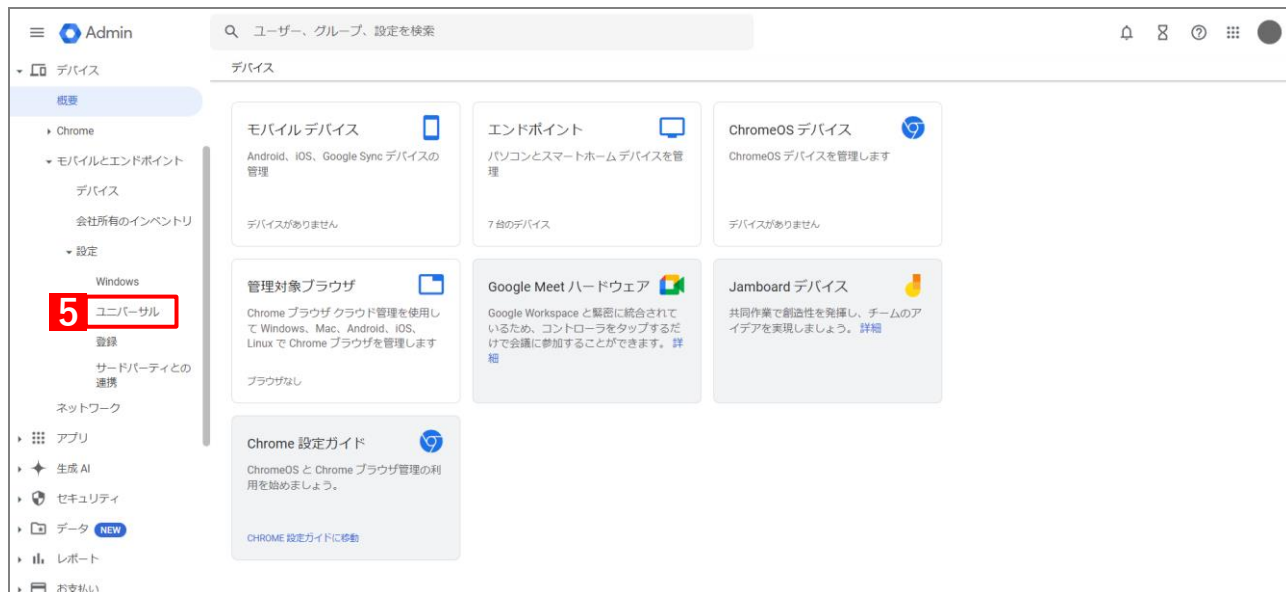
[3] 「Android EMM」の「サードパーティの Android モバイル管理を有効にする」のチェックを外します。

[4] [保存] をクリックします。



【5】 [モバイルとエンドポイント] → [設定] → [ユニバーサル] をクリックします。

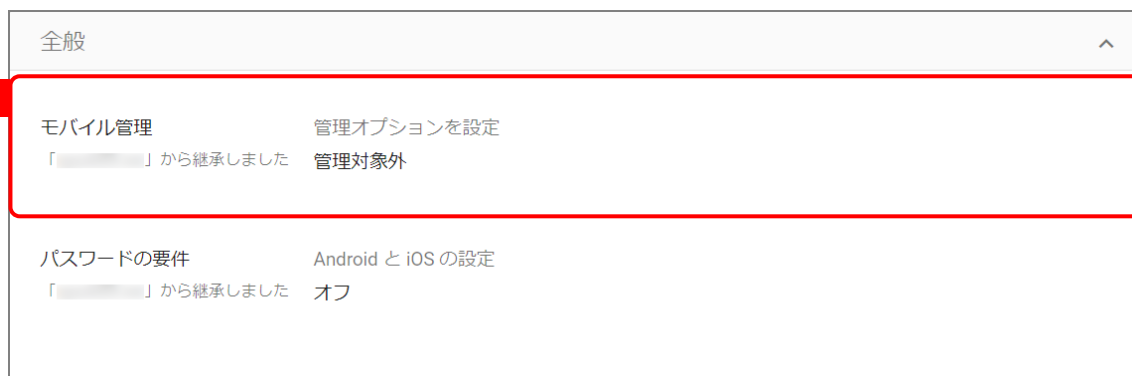
管理コンソールを表示するには、画面左上の [Google Admin] をクリックします。



【6】 [全般] をクリックします。



【7】 [モバイル管理] をクリックします。



【8】 「モバイル管理をオフにする（管理しない）」を選択します。

【9】 「オーバーライド」をクリックします。

モバイル管理

「 」から継承しました

詳細管理のオプションを有効にするには、サービス ライセンスをアップグレードしてください。[詳細](#)

すべてのデバイスに基本管理または詳細管理を適用するか、[カスタム] を選択してデバイス プラットフォームごとに管理を適用できます。[機能の比較](#)

標準（エージェント不要）

シンプルなパスワード管理を適用し、仕事用アカウントをワイプできます。デバイスの不正使用からの保護機能が含まれます。[機能を表示](#)

詳細（Device Policy アプリ要）

パスワードの要件の適用、アプリの管理、デバイスのリモートワイプを行えます。デバイスの不正使用からの保護機能が含まれます。[機能を表示](#)

カスタム

デバイスプラットフォームごとに基本管理または詳細管理を適用できます。

8

モバイル管理をオフにする（管理しない）

管理者はデバイスを管理できません。仕事用データにアクセスしているデバイスは確認できます。

キャンセル

9
オーバーライド

【10】 [アプリ] → [その他の Google サービス] をクリックします。

管理コンソールを表示するには、画面左上の [Google Admin] をクリックします。

【11】 対象の組織を選択します。

【12】 「Google Play」をクリックします。

Admin

ホーム

ダッシュボード

ディレクトリ

デバイス

アプリ

概要

Google Workspace

10
その他の Google サービス

ウェブアプリとモバイルアプリ

Google Workspace Marketplace アプリ

生成 AI

セキュリティ

データ

レポート

お支払い

アカウント

ルール

ユーザー、グループ、設定を検索

アプリ > その他の Google サービス

その他の Google サービス

このアカウントのすべてのユーザー

グループ

組織部門

組織部門を検索

11

すべての組織部門で、追加サービスへのアクセス（個別のコントロールなし）が有効になっています

すべての組織部門でアプリのステータスを表示しています

サービス	サービスのステータス	操作
Google Earth	オン（すべてのユーザー）	
Google Fi	オフ	
Google My Maps	オン（すべてのユーザー）	
Google Pay	オン（すべてのユーザー）	
12 Google Play	オン（一部のユーザー）	
Google Play Console	オン（すべてのユーザー）	
Google Play ブックス パートナー センター	オン（すべてのユーザー）	
Google Public Data	オン（すべてのユーザー）	

82

【13】 [すべてのユーザーに対してオフにする] をクリックします。



【14】 [無効にする] をクリックします。



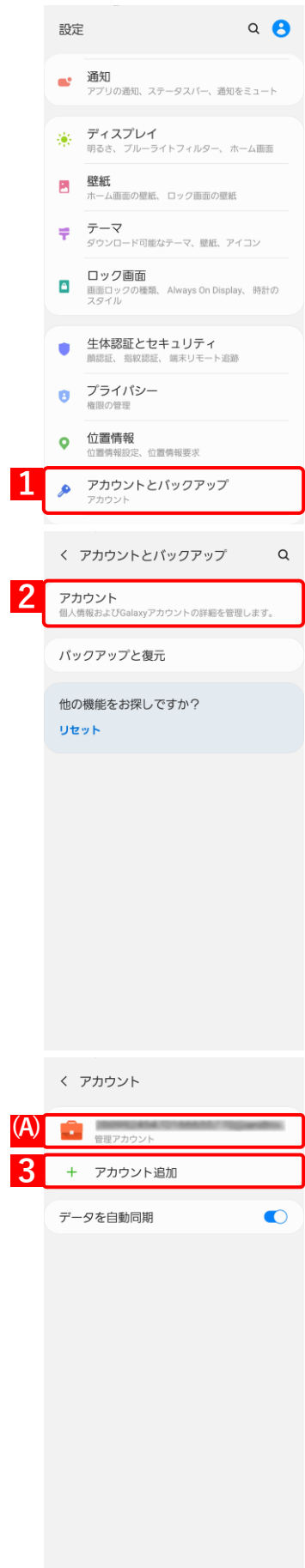
4.5.2 Google Workspace アカウントを追加する

端末の設定画面で、Google Workspace アカウントを追加します。

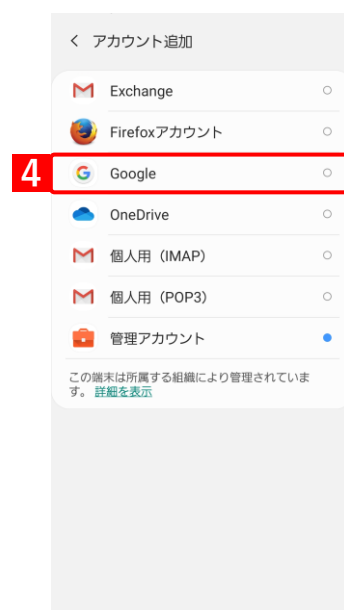
- 【1】** 端末の設定画面を表示して、**「アカウントとバックアップ」**をタップします。

- 【2】** **「アカウント」** をタップします。

- 【3】** **「アカウント追加」** をタップします。
 (A) Google アカウントが表示されています。

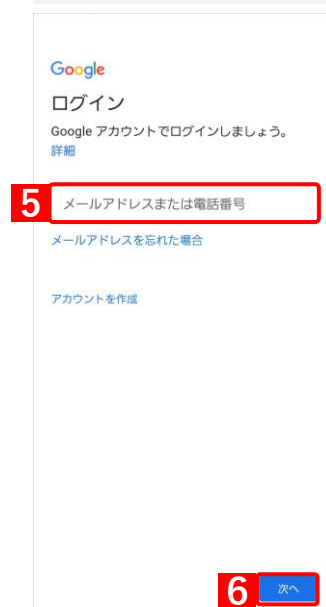


【4】 **「Google」** をタップします。



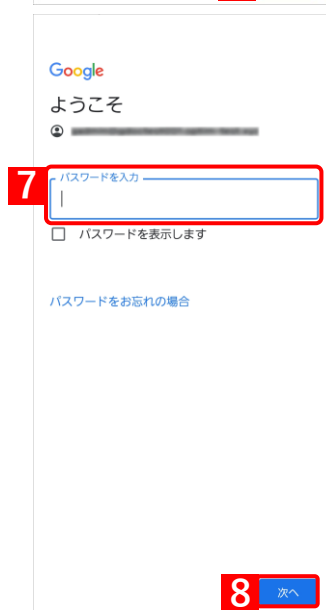
【5】 「メールアドレスまたは電話番号」に Google Workspace アカウントを入力します。

【6】 「次へ」をタップします。



【7】 「パスワード」を入力します。

【8】 「次へ」をタップします。



【9】 「同意する」をタップします。

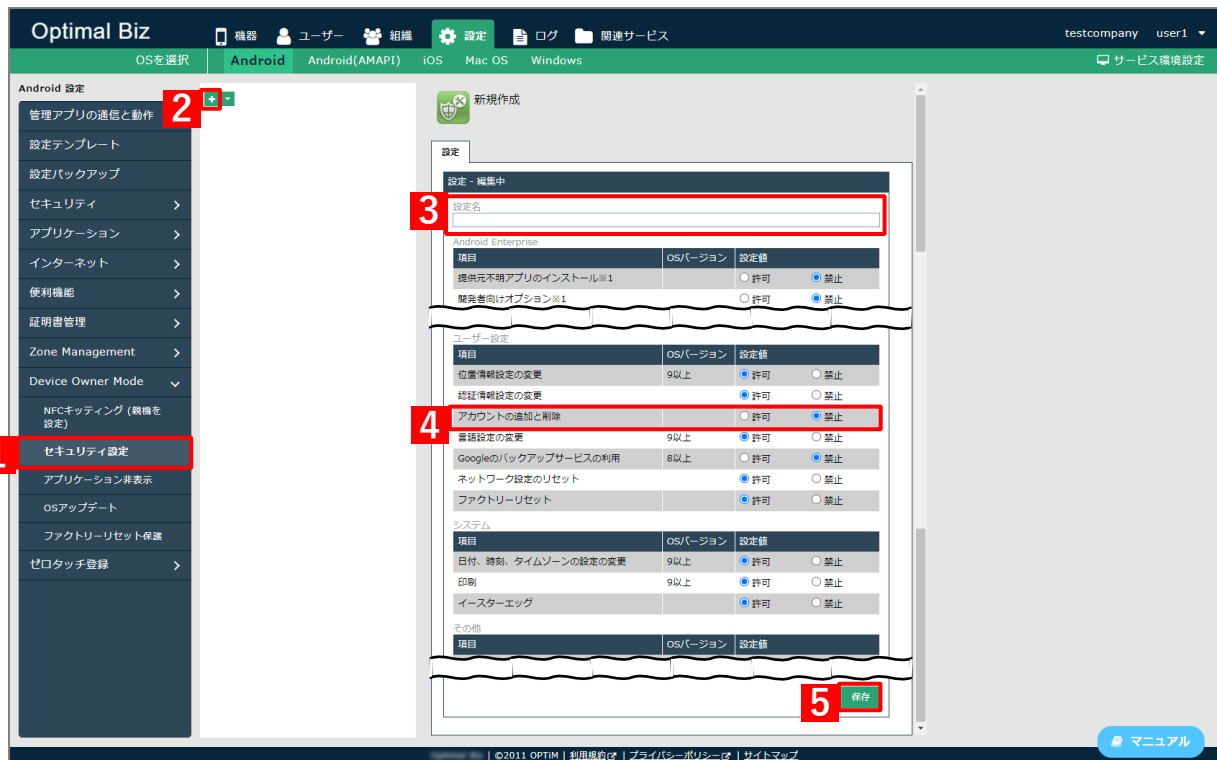
⇒ (A) Google Workspace アカウントが追加されました。



4.5.3 アカウントの追加を禁止する

Google Workspace アカウントを端末に追加したあと、私的利用のアカウントなどが追加できないように、管理サイトでアカウント追加を禁止する設定を行います。

- 【1】 [設定] → [Android] → [Device Owner Mode] → [セキュリティ設定] をクリックします。
- 【2】  をクリックし、作成画面を表示します。
 設定セットは最大 50 件まで作成できます。
- 【3】 設定名を入力します。
- 【4】 「アカウントの追加と削除」の [禁止] を選択します。
- 【5】 [保存] をクリックします。



- 【6】 作成した設定セットを親機とする端末に [機器] → [一覧] → 対象の機器を選択 →  → 「設定」の [設定の割り当て] → [セキュリティ設定(DOM)] から適用します。
適用の詳細については、以下を参照してください。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」－「一覧」－「機器の設定」－「(設定－Android) 設定の割り当て」

5 Google Workspace アカウントで Android Enterprise 連携を行う

Android Enterprise を利用するには、端末をキッティングする前に Google Workspace アカウントで本製品と Google 間の連携設定を行います。Google Workspace アカウントを連携設定として登録する場合は、Google 管理コンソール上での設定を行い、トークンを発行してください。



注意

- Android Enterprise の連携設定を行っていない Google Workspace アカウントが必要です。
- Google との連携設定で Google Workspace アカウントを登録している場合は、強制（サイレント）インストールが実行できない場合があります。その場合は、managed Google Play ストアの利用規約の同意が必要です。以下の URL から Google Workspace の特権管理者で Google にログインして、承諾してください。

 <https://play.google.com/work/termservice>

強制インストールの詳細については、以下のマニュアルを参照してください。

 『Android Enterprise アプリケーション配信 手順書』の「アプリをインストールする」
－ 「アプリを強制インストールする」

- 以下の項目は、初回のキッティング時のみ必要な操作です。

 「トークンを発行する」 89 ページ

 「Google Workspace アカウントを登録する」 95 ページ



参考

- あらかじめ管理サイトで Android Enterprise の「アプリケーション配信」機能を設定しておく、キッティングの完了後、ライセンス認証と同時に特定のアプリを端末に配信できます。アプリケーション配信の詳細については、以下を参照してください。

 『Android Enterprise アプリケーション配信 手順書』の「アプリをインストールする」

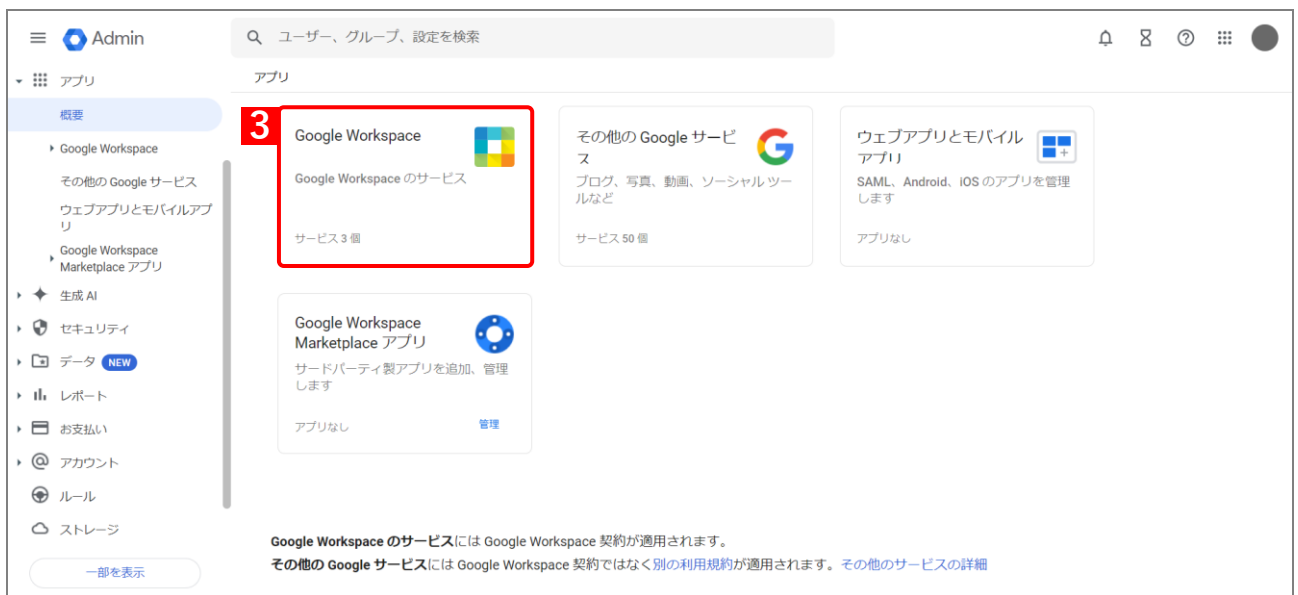
5.1 トークンを発行する

以下の手順で、Google Workspace アカウントを利用して本製品と Google 間の連携設定を行います。

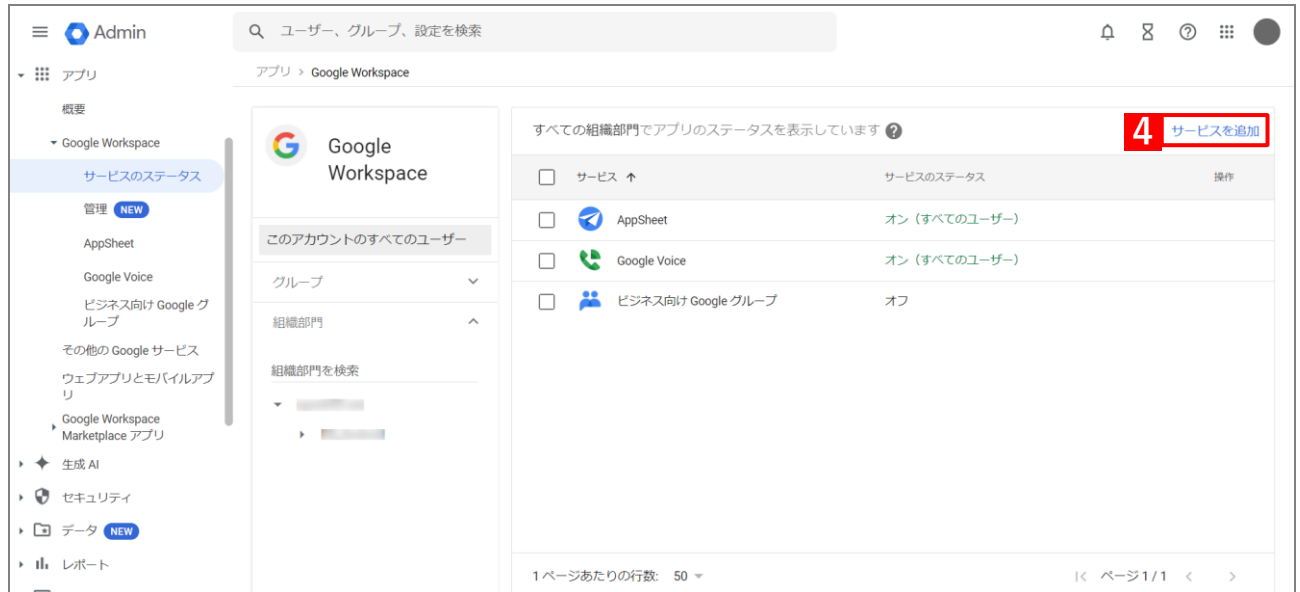
- [1]** Google 管理コンソール (<https://admin.google.com>) を表示します。
- [2]** [アプリ] をクリックします。



- [3]** [Google Workspace] をクリックします。

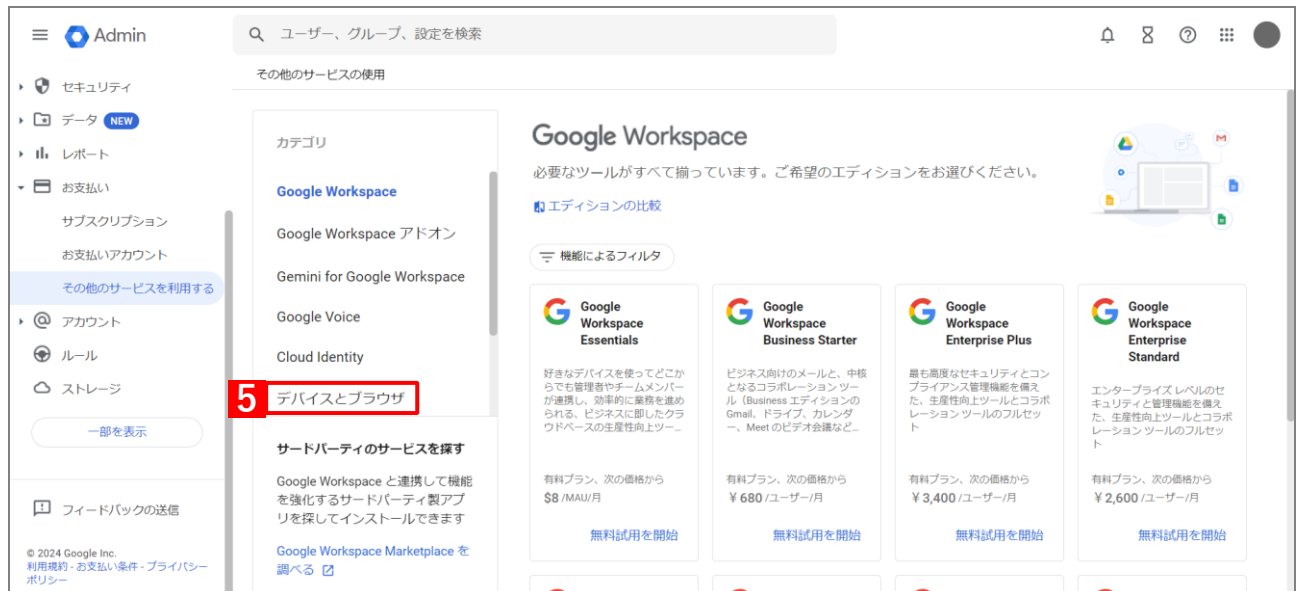


【4】 [サービスを追加] をクリックします。



The screenshot shows the Google Admin console interface. On the left, the 'Admin' menu is visible with 'アプリ' (Apps) selected. The main content area shows the 'Google Workspace' service status. A red box highlights the 'サービスを追加' (Add service) button in the top right corner of the main content area.

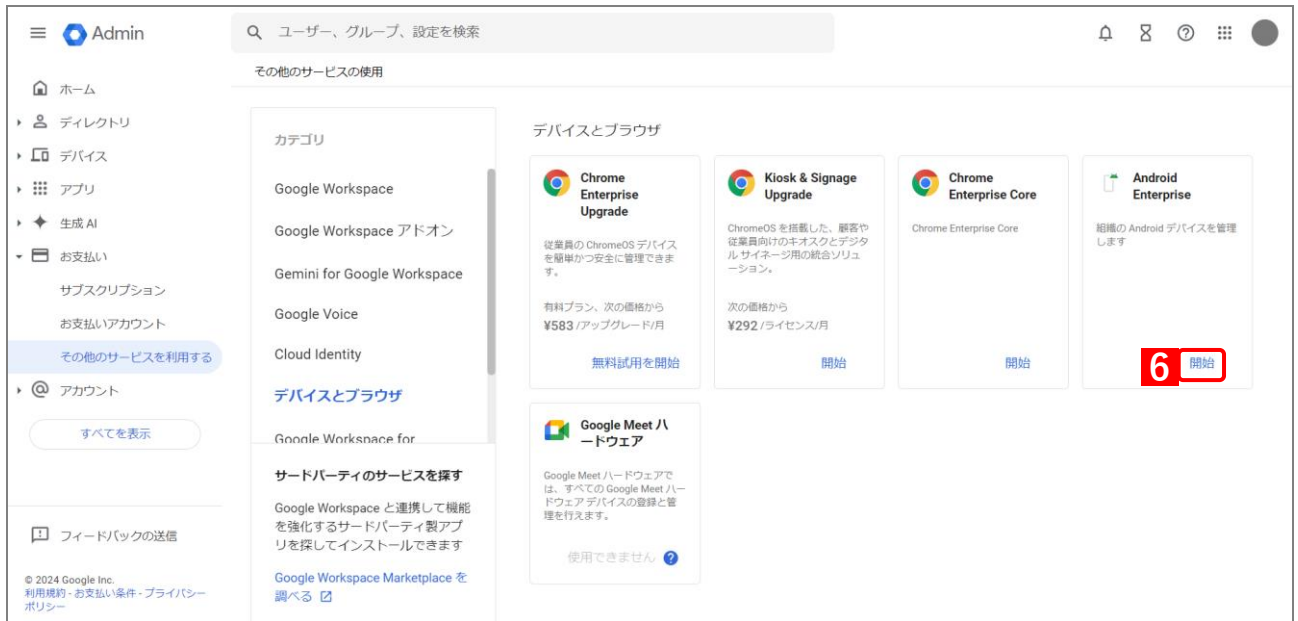
【5】 [デバイスとブラウザ] をクリックします。



The screenshot shows the Google Admin console interface. On the left, the 'Admin' menu is visible with 'その他のサービスの使用' (Use other services) selected. The main content area shows the 'Google Workspace' service details. A red box highlights the 'デバイスとブラウザ' (Devices and browsers) link in the left sidebar.

【6】「Android Enterprise」の「開始」をクリックします。

本操作により、料金が発生することはありません。

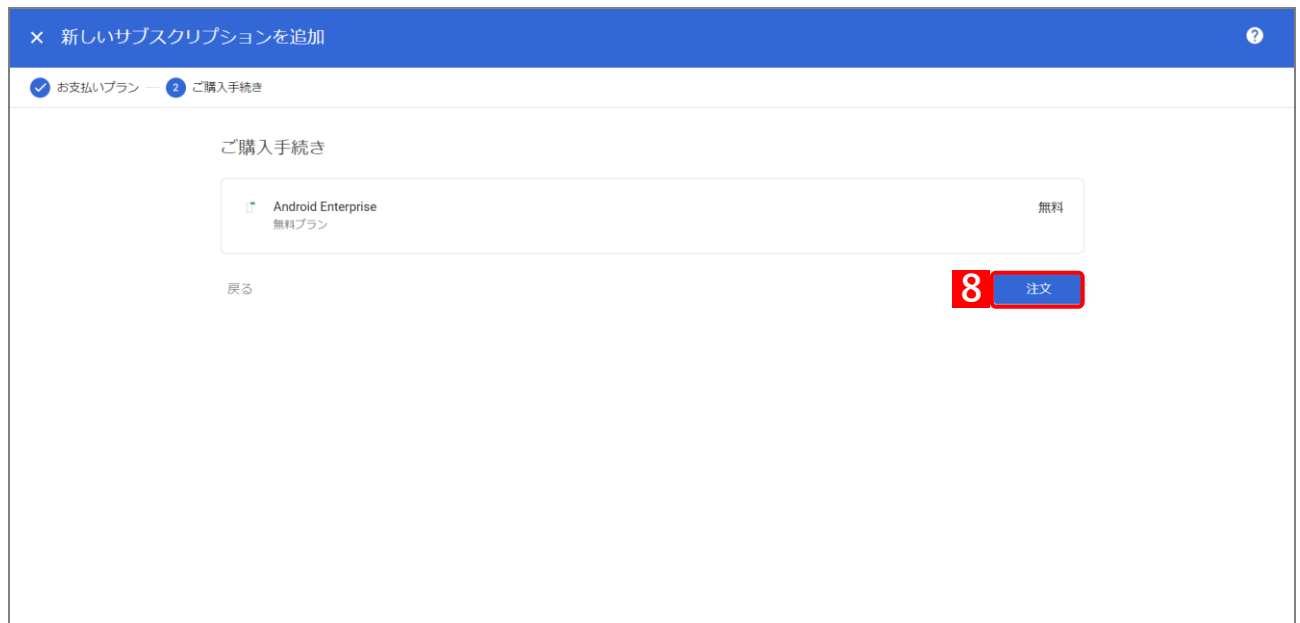


【7】「ご購入手続き」をクリックします。



【8】 [注文] をクリックします。

⇒管理コンソールが表示されます。



【9】 [×] をクリックします。



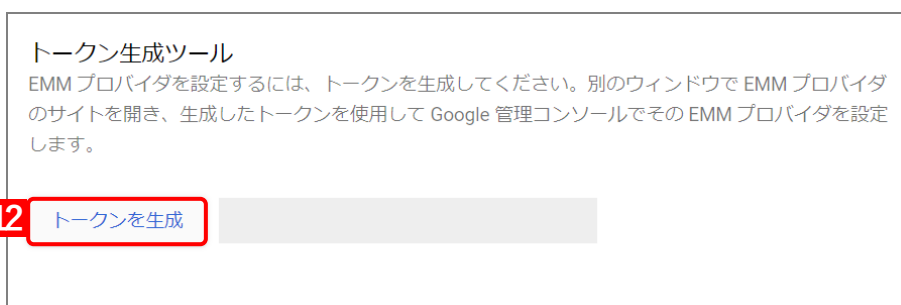
【10】 [デバイス] → [モバイルとエンドポイント] → [設定] → [サードパーティとの連携] をクリックします。



【11】 [Android EMM] の [EMM プロバイダを追加] をクリックします。



【12】 [トークンを生成] をクリックします。



【13】 トークンが表示されます。アカウント登録に必要となりますのでメモしてください。

トークン生成ツール

EMM プロバイダを設定するには、トークンを生成してください。別のウィンドウで EMM プロバイダのサイトを開き、生成したトークンを使用して Google 管理コンソールでその EMM プロバイダを設定します。

トークンを生成 **13**

コピー

このトークンは、30 日が経過した時点、またはプロバイダの設定に使用された時点で失効します

【14】 「Android EMM」の「サードパーティの Android モバイル管理を有効にする」にチェックを入れます。

【15】 「保存」をクリックします。

 「保存」をクリックすると、メッセージ画面が表示される場合があります。[×] でメッセージ画面を閉じてください。

Android EMM

上書きされました

サードパーティの Android モバイル管理

 サードパーティの EMM プロバイダを追加すると、Android アプリを Google エンドポイント管理を使って管理することはできなくなり、EMM プロバイダを介した管理が必要になります。[詳細](#)

14 ☒ サードパーティの Android モバイル管理を有効にする

EMM が追加されていません [EMM プロバイダを追加](#)

継承

未保存の変更が 1 件あります キャンセル

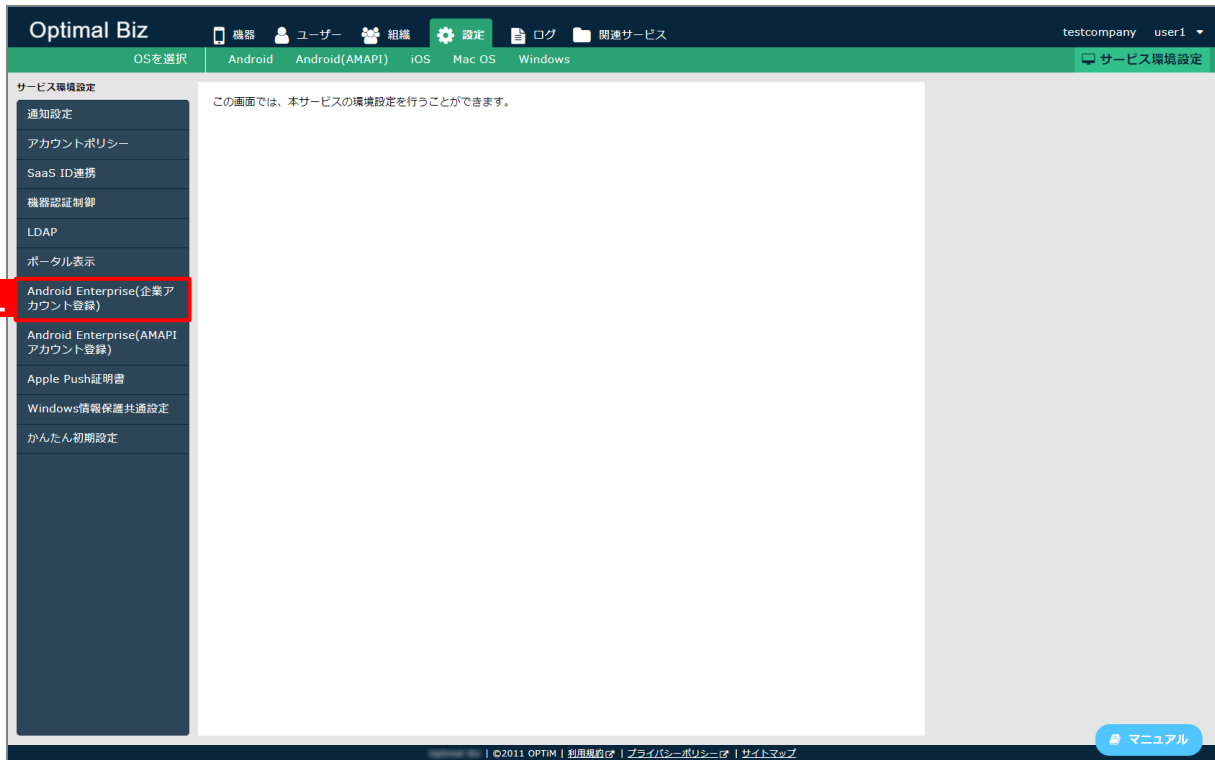
15 [保存](#)

5.2 Google Workspace アカウントを登録する

以下の手順で、管理サイトに Google Workspace アカウントを登録します。

- ☑ Google Workspace アカウントを登録後は、Google 側の設定変更は行わないでください。
- ☑ Google Workspace 標準の「モバイル管理機能」を使っていた場合はモバイル管理機能の「端末」情報を削除してください。

【1】 [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise(企業アカウント登録)] をクリックします。



【2】 「Google Workspace アカウント」 を選択します。

✎ 「アカウント種別」の初期値は「Google Workspace アカウント」が選択されています。

✎ (A) 「状態」は「未登録」と表示されています。

【3】 <https://play.google.com/work/termservice> にアクセスして、利用規約に同意します。**【4】 「ドメイン」、「EMM トークン」を入力します。**

✎ 「ドメイン」には、契約している Google Workspace アカウントのドメインを入力してください。
Google Workspace アカウントが「XXXXX@xxxxx.co.jp」の場合は、ドメインは「xxxxx.co.jp」になります。

【5】 「アカウント登録」 をクリックします。

⇒ アカウント登録済みの画面が表示されます。

The screenshot shows the 'Android Enterprise(企業アカウント登録)' screen. It includes several red boxes with numbers and letters indicating specific steps and elements:

- (A)** A red box labeled '状態' (Status) and '未登録' (Not registered) is located at the top left.
- 1** A red box containing a warning message about default settings for Android Enterprise, such as '提供元不明アプリのインストール' (Install apps from unknown sources) being disabled.
- 2** A red box labeled 'アカウント種別' (Account type) with two options: 'Googleアカウント' (Google account) and 'Google Workspaceアカウント' (Google Workspace account). The latter is selected with a blue dot.
- 3** A red box containing a warning message about the requirements for Google Workspace account integration, including the need to agree to terms of service.
- 4** A red box containing two input fields: 'ドメイン' (Domain) and 'EMMトークン' (EMM token).
- 5** A red box containing a green button labeled 'アカウント登録' (Register account).

- ✎ (A) 「状態」は「登録済」と表示されています。
- ✎ (B) 手順【4】で入力した「ドメイン」、「EMM トークン」が表示されています。
- ✎ (C) 「組織 ID」に managed Google Play ストアでの組織の一意の識別子が表示されています。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

(A) 状態
登録済

⚠ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は [セキュリティ設定\(DOM\)](#) を使用してください。

アカウント種別
Google Workspaceアカウント

(B) ドメイン

EMMトークン

(C) 組織ID

⚠ Google Workspaceアカウント連携をご利用の方は、特権管理者アカウントで Google Workspaceにログイン後、下記URLへアクセスし規約に同意してください。
<https://play.google.com/work/termsofservice>

⚠ Android Enterprise(企業アカウント登録)の設定、およびGoogleの Android Enterpriseに紐づく企業情報を削除します。削除が実行されると、Android Enterprise機能を使用したアプリ配信はできなくなります。

☐ 同意する

アカウント削除

【6】 Google 管理コンソール (<https://admin.google.com>) を表示します。

【7】 [デバイス] → [モバイルとエンドポイント] → [設定] → [サードパーティとの連携] をクリックします。



【8】 「Android EMM」 の「EMM プロバイダ」 を選択します。

【9】 「保存」 をクリックします。

Android EMM
「 」で適用しました

サードパーティの Android モバイル管理

i サードパーティの EMM プロバイダを追加すると、Android アプリを Google エンドポイント管理を使って管理することはできなくなり、EMM プロバイダを介した管理が必要になります。[詳細](#)

☒ サードパーティの EMM プロバイダを選択 有効にする

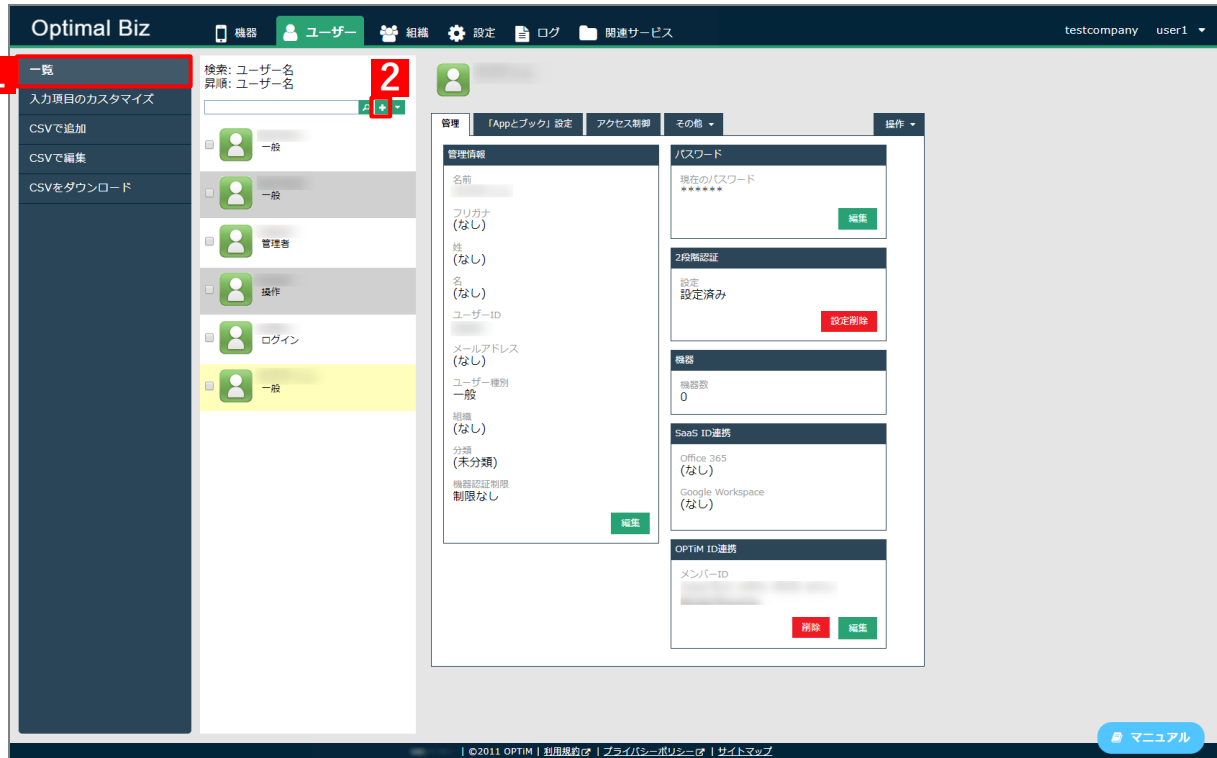
8 EMM プロバイダを選択
 () [EMM プロバイダを管理](#)

キャンセル **9** 保存

5.3 ユーザーを作成する

以下の手順で、ユーザーを作成します。

- [1]** [ユーザー] → [一覧] をクリックします。
- [2]**  をクリックします。



【3】「名前」に任意の名前を入力します。

【4】「メールアドレス」に Google Workspace アカウントを入力します。

🔗 Google Workspace アカウントが登録されていない場合は、キッティング時のライセンス認証に失敗します。

📝 その他の入力および設定項目の詳細については、以下を参照してください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「ユーザー」 - 「一覧」 - 「ユーザーの作成」

【5】「保存」をクリックします。

⇒ ユーザーが作成されます。

新規作成

管理

管理情報 - 編集

3 名前

フリガナ

姓

名

ユーザーID

4 メールアドレス

ユーザー種別

- 管理者 (全ての操作ができます)
- 操作
- 閲覧者 (変更操作ができません)
- ロック・ワイプ
- ログイン (個別に権限を設定)
- 一般 (ログインできません)

組織

所属 (部)

(未分類)

役職

(未分類)

機器認証制限

- 制限なし
- 制限あり 台
- 認証禁止

パスワード

パスワード(再入力)

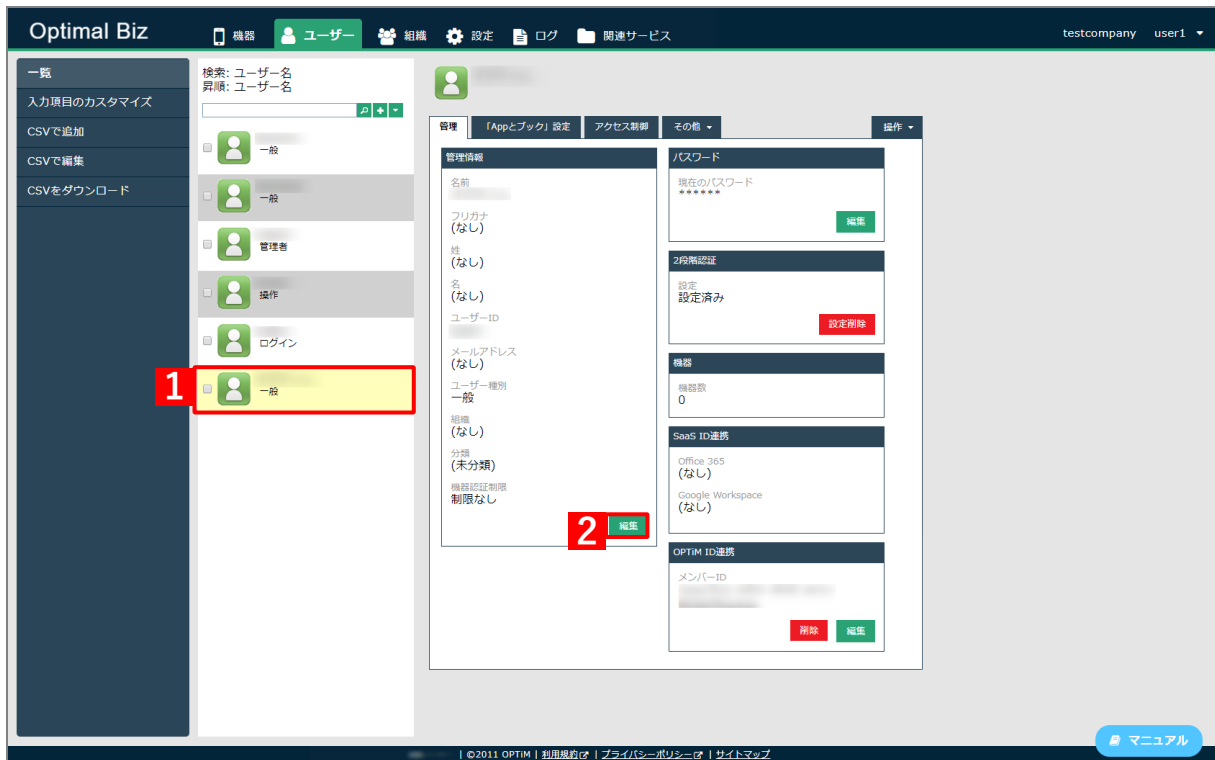
5 保存

5.3.1 既存のユーザーに Google Workspace アカウントを登録する

既存のユーザーに対して Google Workspace アカウントを登録するには、以下の操作を行います。

🔗 Google Workspace アカウントが登録されていない場合は、キッティング時のライセンス認証に失敗します。

- 【1】** [ユーザー] → [一覧] → 一覧から対象ユーザーを選択します。
- 【2】** [編集] をクリックします。



【3】 「メールアドレス」 に Google Workspace アカウントを入力します。

【4】 「保存」 をクリックします。

⇒ ユーザーにメールアドレスが登録されます。

The screenshot shows a user management interface with a top navigation bar containing '管理' (Management), '「Appとブック」設定' (App and Book Settings), 'アクセス制御' (Access Control), and 'その他' (Others). A '操作' (Action) dropdown is on the right. The main content area is divided into two columns. The left column, titled '管理情報 - 編集' (Management Information - Edit), contains fields for '名前' (Name), 'フリガナ' (Furigana), '姓' (Surname), '名' (Given Name), 'ユーザーID' (User ID), 'メールアドレス' (Email Address), 'ユーザー種別' (User Type), '組織' (Organization), '分類' (Classification), and '機器認証制限' (Device Authentication Limit). The 'メールアドレス' field is highlighted with a red box and a red '3' label. The 'ユーザー種別' section has radio buttons for '管理者 (全ての操作ができます)' (Administrator (Can perform all operations)), '操作' (Operator), '閲覧者 (変更操作ができません)' (Viewer (Cannot perform change operations)), 'ロック・ワイプ' (Lock/Wipe), 'ログイン (個別に権限を設定)' (Login (Set permissions individually)), and '一般 (ログインできません)' (General (Cannot login)). The '組織' field is a dropdown menu. The '分類' field is a dropdown menu with '(未分類)' (Unclassified) selected. The '機器認証制限' section has radio buttons for '制限なし' (No limit), '制限あり' (Limit) with a text input '台' (Units), and '認証禁止' (Prohibit authentication). The '保存' (Save) button is highlighted with a red box and a red '4' label. The right column contains sections for 'パスワード' (Password), '2段階認証' (2-step authentication), '機器' (Device), 'SaaS ID連携' (SaaS ID integration), and 'OPTIM ID連携 - 編集' (OPTIM ID integration - Edit). The 'パスワード' section shows '現在のパスワード' (Current password) as '*****' and a '編集' (Edit) button. The '2段階認証' section shows '設定済み' (Set up) and a '設定削除' (Delete setting) button. The '機器' section shows '機器数' (Number of devices) as '0'. The 'SaaS ID連携' section shows 'Office 365 (なし)' (None) and 'Google Workspace (なし)' (None). The 'OPTIM ID連携 - 編集' section shows a 'メンバーID' (Member ID) field and '取消' (Cancel) and '保存' (Save) buttons.

5.4 Google Workspace アカウントでキッティングする

以下の手順で、Google Workspace アカウントによる端末のキッティングを行います。

- 管理サイトの「アプリケーション禁止」で「禁止するアプリケーション」、および「アプリケーション非表示」に「Google Play 開発者サービス (com.google.android.gms)」を設定していると、正常にキッティングが完了できない場合があります。以下を参照して、事前に設定を解除してから、キッティングを行ってください。

『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「アプリケーション」 - 「アプリケーション禁止」

『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「アプリケーション非表示」

- 手順【13】の画面は、機種や OS によって表示されるタイミングが異なる場合があります。

【1】 [始める] をタップします。



【2】 [スキップ] をタップします。

- SIM が挿入されている場合は、表示されません。



【3】 接続したい Wi-Fi の SSID をタップして、Wi-Fi に接続してください。

⇒ ネットワーク接続が開始されます。

- ☑必ずネットワークに接続して、以降の手順を進めてください。
- ☑モバイルネットワークを利用する場合は、(A) [セットアップ時にモバイルネットワークを使用する] をタップします。表示されるポップアップのメッセージを確認してください。

【4】 [コピーしない] をタップします。

【5】 「メールアドレスまたは電話番号」に Google Workspace アカウントを入力します。

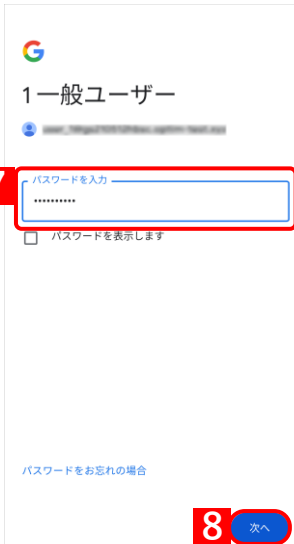
- ☑管理サイトのユーザーに Google Workspace アカウントが登録されていない場合は、ライセンス認証に失敗します。
- ☑「既存のユーザーに Google Workspace アカウントを登録する」101 ページ

【6】 [次へ] をタップします。



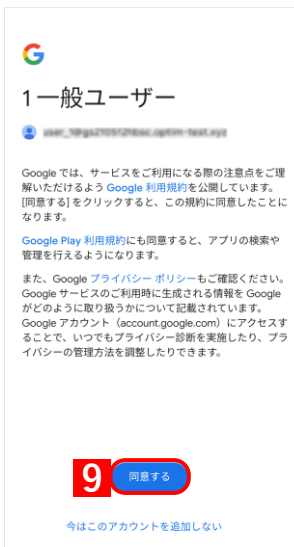
【7】 「パスワード」を入力します。

【8】 [次へ] をタップします。



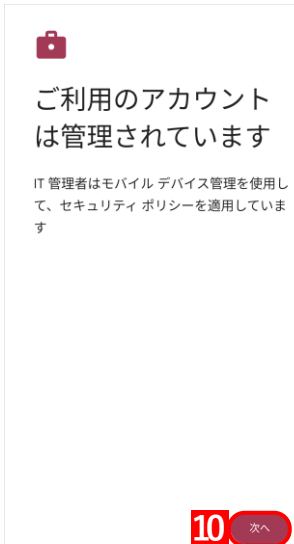
The screenshot shows the Google account creation interface. At the top is the Google logo. Below it, the text '1 一般ユーザー' (1 General user) is displayed. A red box with the number '7' highlights the 'パスワードを入力' (Enter password) input field, which contains several dots. Below the input field is a checkbox labeled 'パスワードを表示します' (Show password). At the bottom right, a red box with the number '8' highlights the '次へ' (Next) button.

【9】 [同意する] をタップします。



The screenshot shows the Google account creation interface. At the top is the Google logo. Below it, the text '1 一般ユーザー' (1 General user) is displayed. The main content area contains text about Google's services and the Google Play Store. At the bottom right, a red box with the number '9' highlights the '同意する' (Agree) button.

【10】 [次へ] をタップします。



The screenshot shows the Google account creation interface. At the top is a briefcase icon. Below it, the text 'ご利用のアカウントは管理されています' (Your account is managed) is displayed. The main content area contains text about IT management and security policies. At the bottom right, a red box with the number '10' highlights the '次へ' (Next) button.

【11】 「同意して続行」 をタップします。



【12】 「次へ」 をタップします。



【13】 「OK」 をタップします。

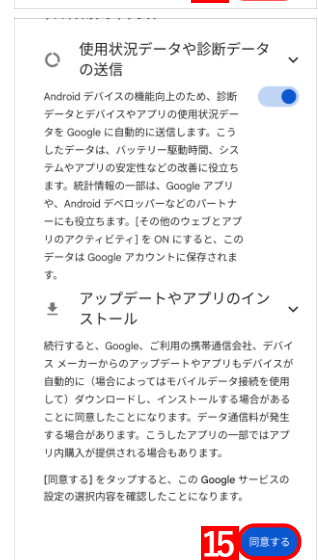


【14】 [もっと見る] をタップします。

☞ 端末によっては [もっと見る] が数回表示されます。[同意する] が表示されるまで、[もっと見る] をタップします。



【15】 [同意する] をタップします。



【16】 [スキップ] をタップします。



【17】 画面下部からスワイプします。

⇒ ホーム画面に移動します。



【18】 [Optimal Biz] をタップします。

📌ホーム画面にアイコンが表示されない場合は、アプリ一覧を確認してください。



【19】 [ライセンス認証] をタップします。



【20】「利用規約に同意する」にチェックを入れます。

【21】[OK] をタップします。

【22】ユーザーデータについて確認して、[プライバシーポリシー] をタップします。

【23】「プライバシーポリシーに同意する」にチェックを入れます。

【24】[OK] をタップします。

⇒ 権限要求画面が表示されます。

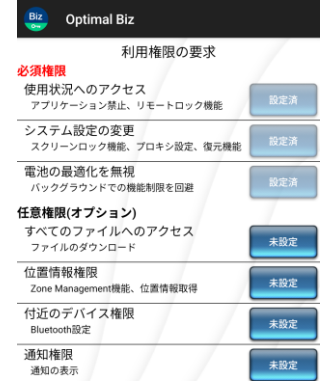


【25】画面の案内に従って設定を行ってください。

- ✎ Android 11 以上でエージェントバージョン 9.19.0 以上の場合、
(A) 任意権限に「すべてのファイルへのアクセス」が表示されます。条件を満たしていない場合は、「ストレージ権限」が表示されます。
- ✎ Android 12 以上でエージェントバージョン 9.14.0 以上の場合、
(A) 任意権限に「付近のデバイス権限」が表示されます。
- ✎ Android 13 以上でエージェントバージョン 9.16.0 以上の場合、
(A) 任意権限に「通知権限」が表示されます。



【26】 [OK] をタップします。



【27】「企業コード」および「認証コード」を入力します。

- ✎ 企業コード、認証コードは管理者にお問い合わせください。
- ✎ Google Workspace アカウントが、(A)「メールアドレス」として表示されます。
- ✎ (B) [QR コード読取による認証情報の入力] をタップして、エージェント認証用 QR コードを読み取ると、「企業コード」、「認証コード」、「URL」が自動で入力されます。QR コードは、管理者にお問い合わせください。



【28】 [送信] をタップします。

⇒ ライセンス認証完了の画面が表示されます。



【29】 [OK] をタップします。

⇒ 初期登録画面が表示されます。

✎ 手順【30】～【32】の初期登録画面は、管理サイトでポータル表示を「表示」に設定している場合のみ表示されます。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「サービス環境設定」－「ポータル表示」

【30】 必要事項を選択、入力します。

【31】 [次へ] をタップします。

✎ あらかじめ、管理サイトの「入力項目のカスタマイズ」で入力項目を追加してください。追加するとき、「機器から入力可」にチェックを入れてください。チェックが入っていない場合は、項目が表示されません。

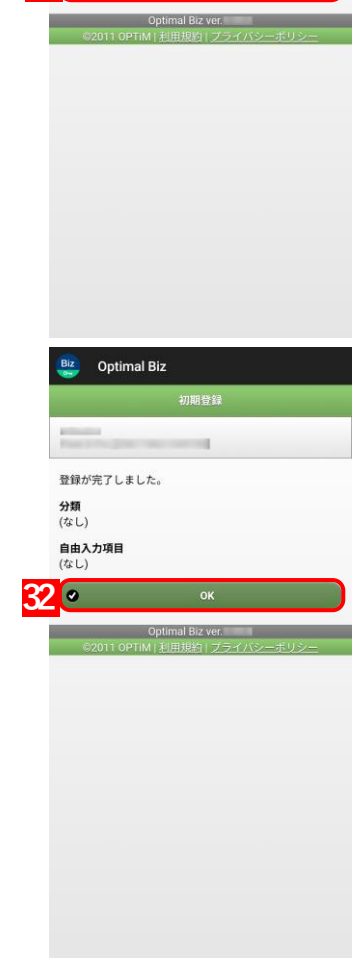
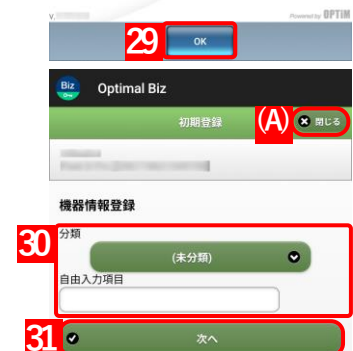
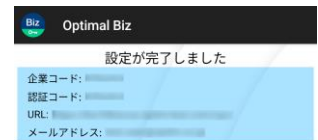
🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」－「入力項目のカスタマイズ」

✎ 管理サイトの「入力項目のカスタマイズ」で設定した内容により、画面に表示される「分類」と「自由入力項目」の内容が異なります。

✎ 機器情報の登録が不要の場合は、(A) [閉じる] をタップするか、端末の戻るボタンで画面を閉じてください。

【32】 [OK] をタップします。

⇒ キットティングおよびライセンス認証が完了しました。



6 Google アカウントでゼロタッチ登録を利用して Android Enterprise 連携を行う

ゼロタッチ登録とは、エージェントのキッティング方法の1つです。この方法ではキッティング手順が省略され、大規模な端末の導入を簡単かつ迅速に行うことができます。ゼロタッチ登録端末には、エージェントが自動的に Device Owner Mode としてインストールされるため、よりセキュアな端末管理が可能です。

ゼロタッチサーバーとの連携を行うと、自動的に本製品の機器一覧に事前機器として端末が表示されます。これらの端末にあらかじめ設定ポリシーを割り当ててからアクティベーションすると、すぐに設定が適用されます。

注意

- ゼロタッチ登録の詳細については、以下を参照してください。
 https://www.android.com/intl/ja_jp/enterprise/management/zero-touch/
- ゼロタッチ登録専用アカウントについては、端末の購入元にお問い合わせください。
- モバイルネットワークが利用できるゼロタッチ登録に対応した端末を、事前に用意してください。Wi-Fi 専用端末は、本製品に対応していません。
- 以下の項目は、初回のキッティング時のみ必要な操作です。
 「Google アカウントを登録する」 113 ページ
 「Google API の認証設定を行う」 133 ページ

参考

- あらかじめ管理サイトで Android Enterprise の「アプリケーション配信」機能を設定しておく、キッティングの完了後、ライセンス認証と同時に特定のアプリを端末に配信できます。アプリケーション配信の詳細については、以下を参照してください。
 『Android Enterprise アプリケーション配信 手順書』の「アプリをインストールする」

6.1 Google アカウントを登録する

管理サイトに Android Enterprise 連携するための Google アカウントを登録します。

登録できる Google アカウントは、以下の 3 種類です。Google アカウントに応じて、いずれかの方法で登録してください。

- 企業ドメインのメールアドレスを登録する場合

- ☑ Google が推奨する登録方法です。なるべくこの方法で登録してください。

- Microsoft ID アカウントのメールアドレスを登録する場合

- ☑ Microsoft Entra ID でシングルサインオンが構成済みの場合は、自動的にこの登録方法になります。

- Gmail のメールアドレスを登録する場合

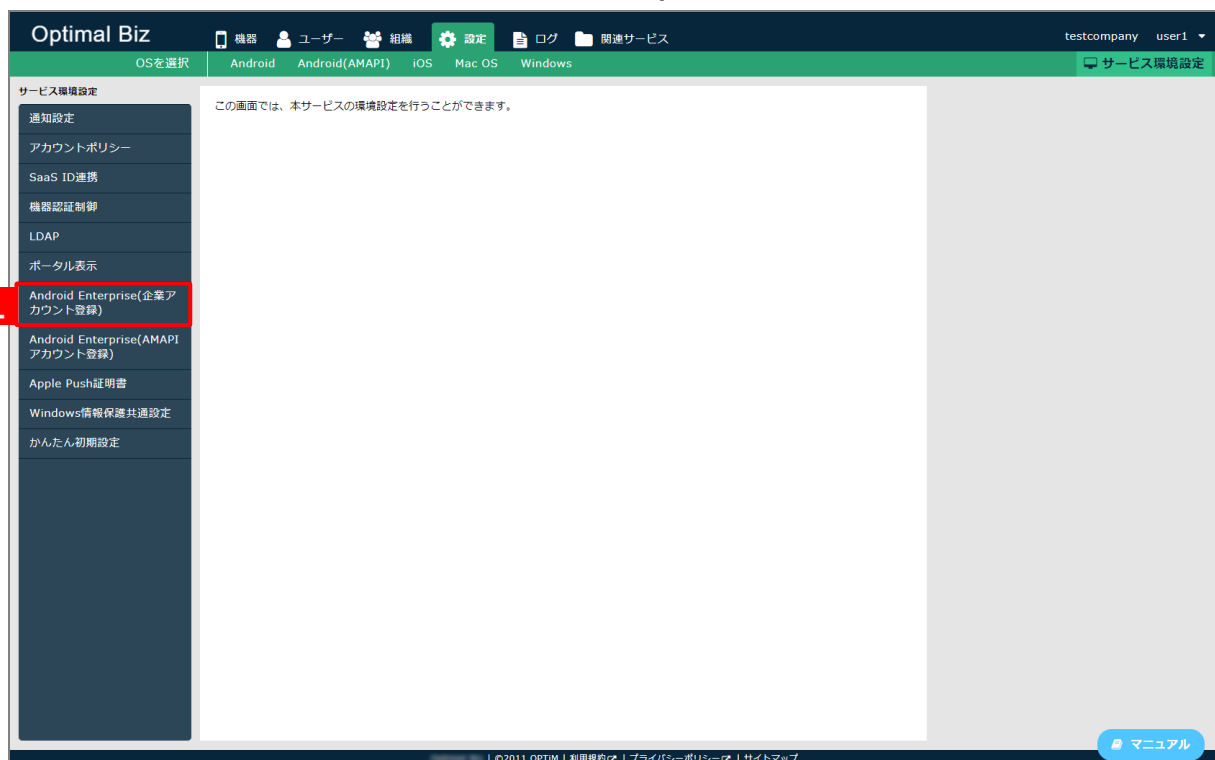
6.1.1 企業ドメインのメールアドレスを登録する場合

企業ドメインのメールアドレスを Android Enterprise 連携するための Google アカウントとして、管理サイトに登録します。

- ☑ Google が推奨する登録方法です。

- ☑ 企業で初めて登録した企業ドメインのメールアドレスの使用者が、ドメイン管理者です。その後、同じ企業ドメインで他のメールアドレスを登録するときは、ドメイン管理者に連絡してください。ドメイン管理者が Google の画面で他のメールアドレスを登録します。

【1】 [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise(企業アカウント登録)] をクリックします。



【2】 [アカウント登録] をクリックします。

- 🔍 アカウント登録が完了すると、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」、「開発者向けオプション」が「禁止」、「アプリ確認の強制」が「強制する」に設定されます。「セキュリティ設定 (DOM)」で「提供元不明アプリのインストール」を許可する設定セットを作成し、機器に割り当てて同期を行ってください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「セキュリティ設定 (DOM)」

- ✎ (A) 「状態」は「未登録」と表示されています。

- ✎ (B) 「アカウント種別」の初期値は「Google アカウント」が選択されています。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

(A) 状態
未登録

⚠ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は セキュリティ設定(DOM) を使用してください。

(B) アカウント種別
☒ Googleアカウント ☐ Google Workspaceアカウント

2 アカウント登録

【3】 企業ドメインのメールアドレスを入力します。**【4】 [次へ] をクリックします。**

⇒ 企業で初めて企業ドメインのメールアドレスを登録した場合は、手順【3】で入力したメールアドレスに、Google からメールが届きます。メールを確認してください。

Android

.....

管理者アカウントを作成する

3 仕事用メールアドレスを入力してください

例: [名前]@[会社名].com

4 次へ

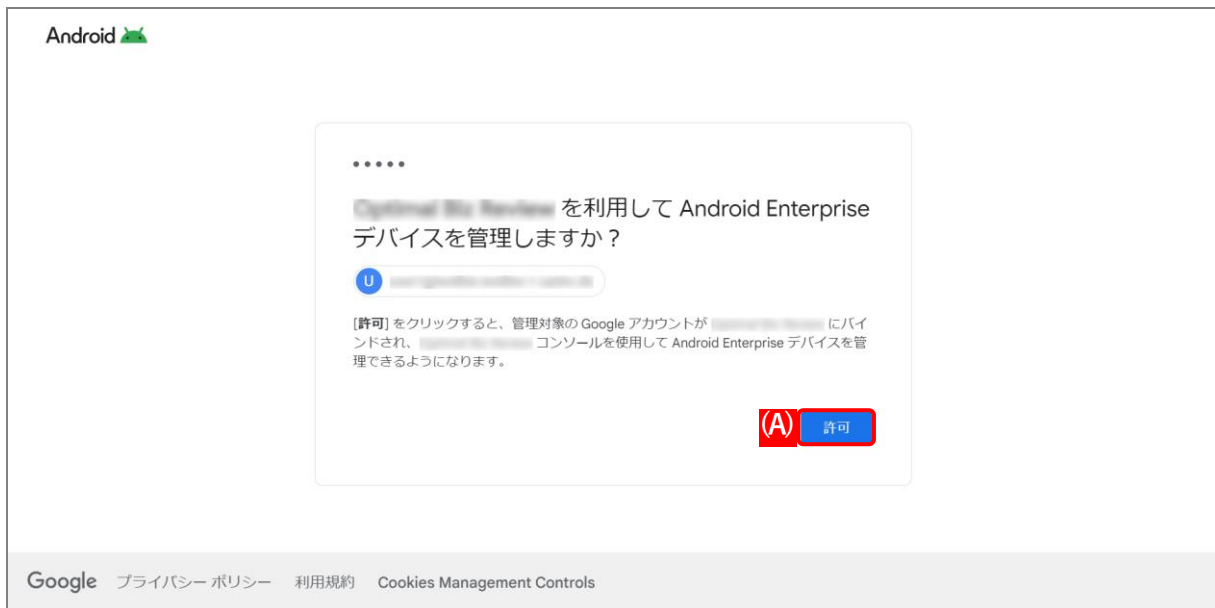
Android はあらゆるビジネスで利用できるパワフルなプラットフォームです

- ✓ モバイル デバイスを管理して企業アプリをインストール
- ✓ エンタープライズ クラスのセキュリティを活用してデータを保護
- ✓ 仕事用プロフィールを使ってデバイスを仕事とプライベートの両用に

- ✎すでに企業ドメインが登録されていた場合は、以下の画面が表示されます。
企業のドメイン管理者に連絡してください。企業のドメイン管理者が不明な場合は、Google に問い合わせてください。



- ✎ドメイン管理者のメールアドレスを他の企業で登録しようとした場合は、以下の画面が表示されます。
(A) [許可] をクリックすると、企業登録が完了します。



【5】メールの内容を確認して、[メールアドレスの確認] をクリックします。

⇒ 情報登録画面が表示されます。



【6】名、姓、会社名を入力して、国を選択します。

【7】[続行] をクリックします。

名、姓、会社名を入力すると、[続行] がクリックできます。

【8】 [次へ] をクリックします。



【9】 8 文字以上のパスワードを入力します。

【10】 [同意して続行] をクリックします。

 パスワードを入力すると、[同意して続行] がクリックできます。



【11】 [許可してアカウントを作成] をクリックします。



【12】 手順【3】で入力した企業ドメインのアドレスを入力します。

【13】 [次へ] をクリックします。



【14】 手順【9】で入力したパスワードを入力します。

【15】 [次へ] をクリックします。

⇒ 本人確認の画面が表示されます。

The image shows the Google login interface. At the top is the Google logo and the text 'ようこそ' (Welcome). Below this is a search bar with a profile icon on the left and a dropdown arrow on the right. The main part of the screen is a login form. A red box labeled '14' highlights the password input field, which contains the text 'パスワードを入力' (Enter password) and a series of dots. Below the input field is a checkbox labeled 'パスワードを表示する' (Show password). At the bottom left is a link 'パスワードをお忘れの場合' (If you've forgotten your password). At the bottom right is a blue button labeled '次へ' (Next), which is highlighted by a red box labeled '15'.

- 【16】 確認コードを受け取る電話番号を入力します。
- 【17】 確認コードの受け取り方法を選択します。
- 【18】 [コードを取得] をクリックします。



本人確認の実施

アクセスしようとしているアカウントで通常とは異なるアクティビティが検出されました。続行するには、以下の手順に沿って操作してください。



電話番号を指定して続行してください。ログインに使用できる確認コードを送信します。

国名
日本

電話番号

16

この番号はセキュリティ保護の目的でのみ使用されます。
通常のテキストメッセージ料金がかかります。

確認コードの受け取り方法:

17

☒ テキストメッセージ（携帯電話のメール）
☐ 自動音声通話

18

コードを取得

確認コードが届かない場合は、[サポート オプション](#)をご確認ください。

【19】 手順【16】で入力した電話番号で受け取った確認コードを入力します。

【20】 [確認] をクリックします。

【21】 [理解しました] をクリックします。

⇒ アカウント登録済みの管理サイトの画面が表示されます。

- ✎ (A) 「状態」は「登録済」と表示されています。
- ✎ (B) 「アカウントメールアドレス」にアカウント登録で利用したメールアドレスが表示されています。
- ✎ (C) 「組織 ID」に managed Google Play ストアでの組織の一意の識別子が表示されています。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

(A)

状態
登録済

⚠ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は [セキュリティ設定\(DOM\)](#) を使用してください。

アカウント種別
Googleアカウント

(B)

アカウントメールアドレス

(C)

組織ID

⚠ Android Enterprise(企業アカウント登録)の設定、およびGoogleのAndroid Enterpriseに紐づく企業情報を削除します。削除が実行されると、Android Enterprise機能を使用したアプリ配信はできなくなります。削除を実行してから30日以内に再登録した場合はデータが復元されます。よろしければ【同意する】にチェックを入れて【アカウント削除】をクリックしてください。

☐ 同意する

アカウント削除

6.1.2 Microsoft ID アカウントのメールアドレスを登録する場合

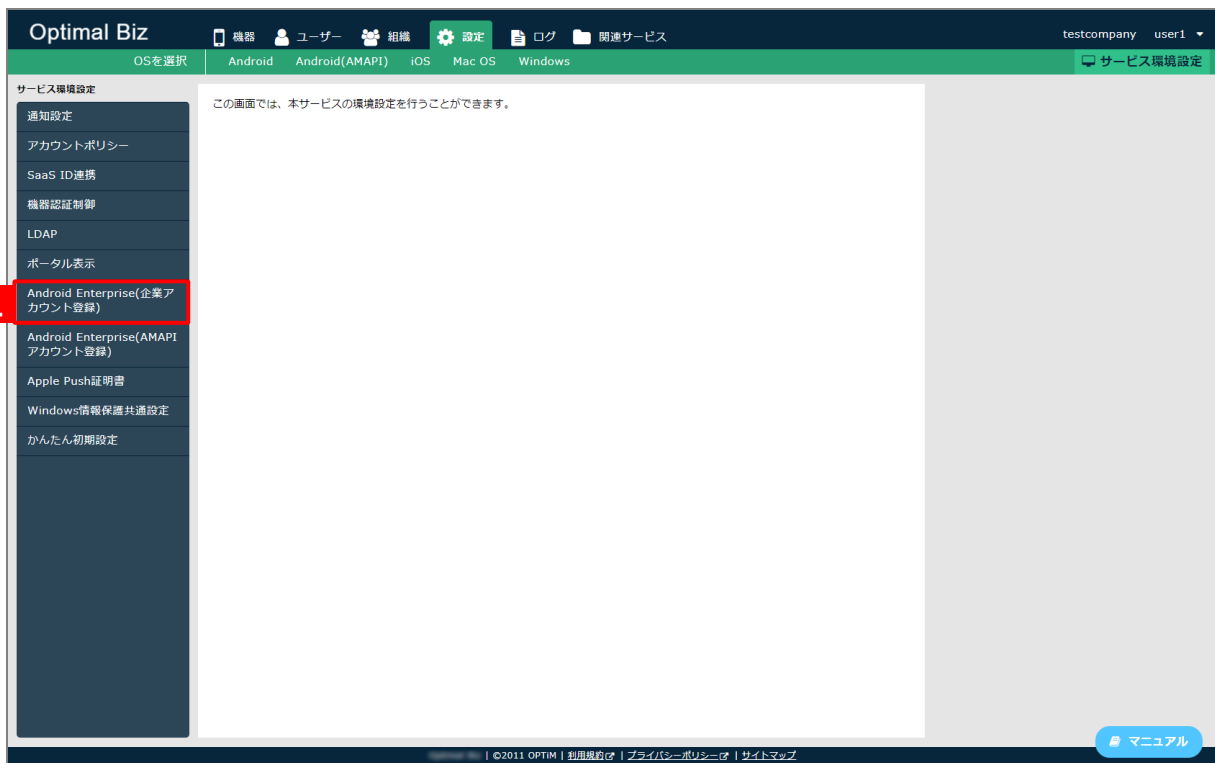
Microsoft ID アカウントのメールアドレスを Android Enterprise 連携するための Google アカウントとして、管理サイトに登録します。

☑ Microsoft ID アカウントのメールアドレスは、Microsoft Entra ID でシングルサインオンが構成済みのものを使用してください。認証を行うため自動的に Microsoft の画面が表示されます。

✎ Microsoft ID アカウントについての詳細は、以下を参照してください。

🔗 <https://learn.microsoft.com/ja-jp/entra/identity-platform/v2-protocols-oidc>

【1】 [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise(企業アカウント登録)] をクリックします。



【2】 [アカウント登録] をクリックします。

- 📌 アカウント登録が完了すると、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」、「開発者向けオプション」が「禁止」、「アプリ確認の強制」が「強制する」に設定されます。「セキュリティ設定 (DOM)」で「提供元不明アプリのインストール」を許可する設定セットを作成し、機器に割り当てて同期を行ってください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「セキュリティ設定 (DOM)」

- ✎ (A) 「状態」は「未登録」と表示されています。

- ✎ (B) 「アカウント種別」の初期値は「Google アカウント」が選択されています。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

(A) 状態
未登録

⚠️ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は セキュリティ設定(DOM) を使用してください。

(B) アカウント種別
☒ Googleアカウント ☐ Google Workspaceアカウント

2 アカウント登録

【3】 Microsoft ID アカウントのメールアドレスを入力します。**【4】 [次へ] をクリックします。**

Android

.....

管理者アカウントを作成する

3 仕事用メールアドレスを入力してください*

例: [名前]@[会社名].com

4 次へ

Android はあらゆるビジネスで利用できるパワフルなプラットフォームです

- ✓ モバイル デバイスを管理して企業アプリをインストール
- ✓ エンタープライズクラスのセキュリティを活用してデータを保護
- ✓ 仕事用プロフィールを使ってデバイスを仕事とプライベートの両用に

【5】 [Microsoft でログイン] をクリックします。

⇒ Microsoft の登録画面が表示されます。画面の指示にしたがい登録を行ってください。



The screenshot shows the Microsoft login screen for Google account setup. At the top is the Google 'G' logo. Below it, the text reads 'お申し込みは簡単' (Sign up is simple). A grey bar indicates a user is already signed in with Microsoft. The text continues: 'Microsoft で管理されているようです。' (It appears you are managed by Microsoft). Below that, it says: '既存の仕事用アカウントを Google 管理コンソールの申し込みとログインにお使いいただけます' (You can use your existing work account for Google management console sign-up and login). A red box with the number '5' highlights the 'Microsoft でログイン' (Sign in with Microsoft) button. Below the button, there is a link: 'または、パスワードを使ってアカウントを作成' (Or, create an account using your password). At the bottom, a disclaimer states: '登録すると、Microsoft の認証情報を使用して Google アカウントが作成されます。ご利用の Microsoft アカウント サービスには影響しません。メールの管理と配信は引き続き Microsoft で行われます。このアカウントは、ID を認証するシングル サインオンのためにのみ使用されます。' (Upon registration, a Google account will be created using your Microsoft authentication information. This does not affect the services of your Microsoft account. Email management and distribution will continue to be handled by Microsoft. This account is for use only for single sign-on authentication of ID.)

⇒ アカウント登録済みの管理サイトの画面が表示されます。

✎ (A) 「状態」は「登録済」と表示されています。

✎ (B) 「アカウントメールアドレス」にアカウント登録で利用したメールアドレスが表示されています。

✎ (C) 「組織 ID」に managed Google Play ストアでの組織の一意の識別子が表示されています。

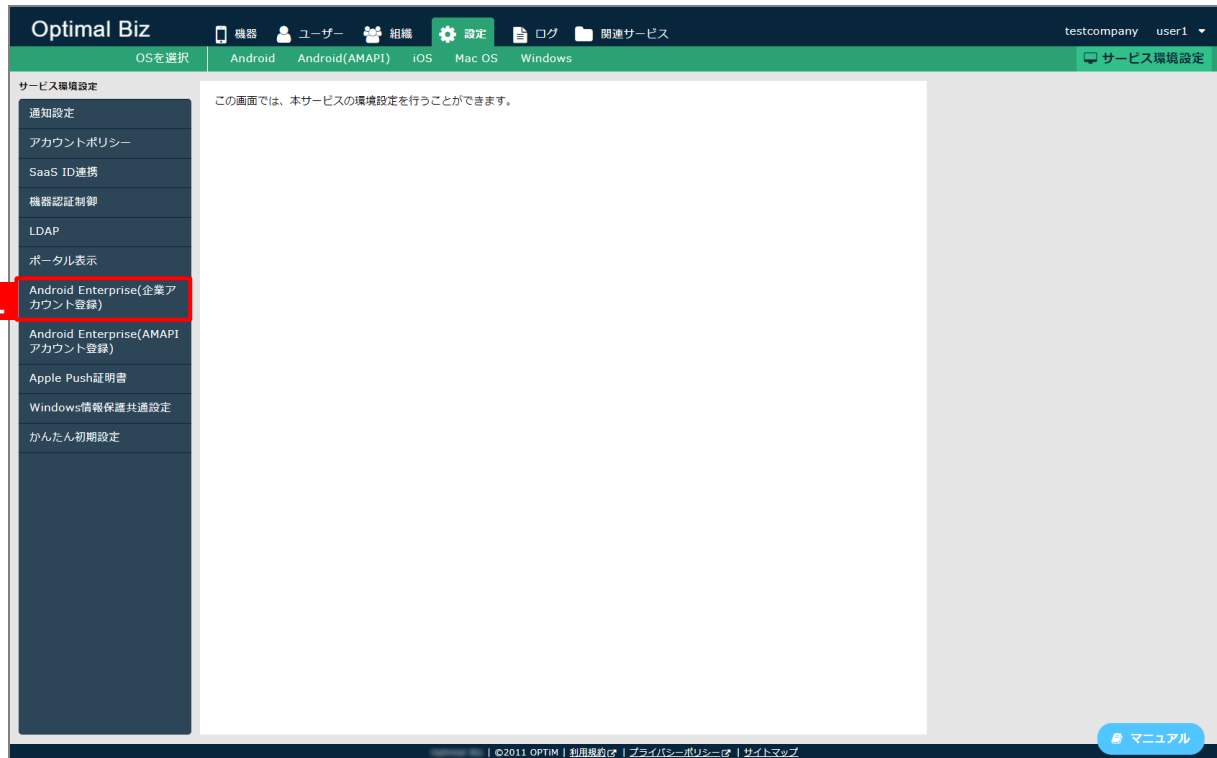


The screenshot shows the 'Android Enterprise(企業アカウント登録)' (Android Enterprise (Company Account Registration)) screen. At the top, a red box labeled (A) highlights the '状態' (Status) field, which shows '登録済' (Registered). Below this, a warning message states: 'Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は セキュリティ設定(DOM) を使用してください。' (When using Android Enterprise features, by default, the device's 'Install apps from unknown sources' and 'Developer options' will be prohibited, and 'Force app verification' will be enforced. If you want to change the settings, use Security Settings (DOM).). Below the warning, the 'アカウント種別' (Account type) is listed as 'Googleアカウント' (Google account). A red box labeled (B) highlights the 'アカウントメールアドレス' (Account email address) field. Another red box labeled (C) highlights the '組織ID' (Organization ID) field. Below these fields, another warning message states: 'Android Enterprise(企業アカウント登録)の設定、およびGoogleのAndroid Enterpriseに紐づく企業情報を削除します。削除が実行されると、Android Enterprise機能を使用したアプリ配信はできなくなります。削除を実行してから30日以内に再登録した場合はデータが復元されます。よろしければ [同意する] にチェックを入れて [アカウント削除] をクリックしてください。' (We will delete the settings for Android Enterprise (Company Account Registration) and the company information linked to Google's Android Enterprise. Once deletion is executed, app distribution using Android Enterprise features will no longer be possible. If you re-register within 30 days of deletion, your data will be restored. If you agree, please check [同意する] and click [アカウント削除].). At the bottom left, there is a checkbox labeled '同意する' (I agree). At the bottom right, there is a green button labeled 'アカウント削除' (Delete account).

6.1.3 Gmail のメールアドレスを登録する場合

Gmail のメールアドレスを Android Enterprise 連携するための Google アカウントとして、管理サイトに登録します。

- 【1】** [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise(企業アカウント登録)] をクリックします。



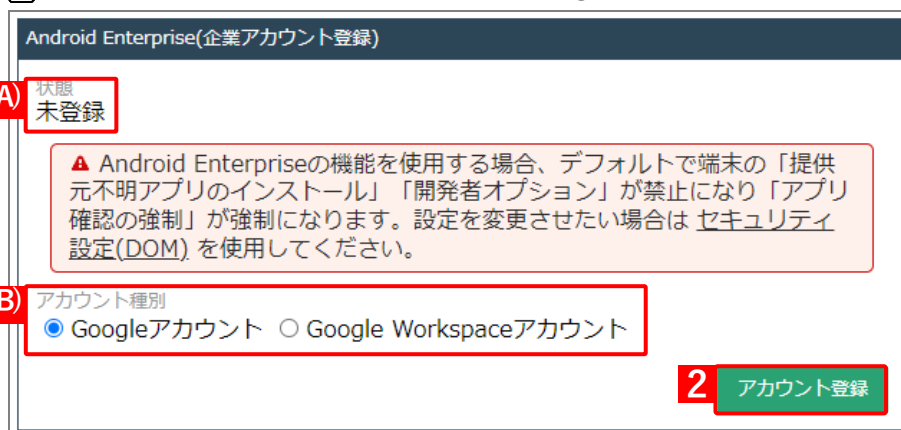
- 【2】** [アカウント登録] をクリックします。

📌 アカウント登録が完了すると、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」、「開発者向けオプション」が「禁止」、「アプリ確認の強制」が「強制する」に設定されます。「セキュリティ設定 (DOM)」で「提供元不明アプリのインストール」を許可する設定セットを作成し、機器に割り当てて同期を行ってください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「セキュリティ設定 (DOM)」

✎ (A) 「状態」は「未登録」と表示されています。

✎ (B) 「アカウント種別」の初期値は「Google アカウント」が選択されています。



【3】 Gmail のメールアドレスを入力します。

【4】 [次へ] をクリックします。

.....

管理者アカウントを作成する

3 仕事用メールアドレスを入力してください*

例: [名前]@[会社名].com

4 次へ

Android はあらゆるビジネスで利用できるパワフルなプラットフォームです

- ✓ モバイル デバイスを管理して企業アプリをインストール
- ✓ エンタープライズ クラスのセキュリティを活用してデータを保護
- ✓ 仕事用プロフィールを使ってデバイスを仕事とプライベートの両用に

【5】 「Android のみ登録」の「登録」をクリックします。

⇒ Google Play ストアが表示されます。

.....@gmail.com
は個人のメールアドレス
のようです

次のいずれかを選ぶことができます

仕事用メールアドレスで登録

お申し込みには、
name@company.com のような仕事
用メールアドレスが必要です

仕事用メールアドレスで再試行

会社のドメインを購入

company.com などのドメインや対
応する name@company.com のメ
ールアドレスがない場合は、新しい
ドメインを購入してから登録を再試
行できます。

新規ドメインを購入する

Android のみ登録

Android デバイスのみをデプロイす
る場合は、managed Google Play
アカウント エンタープライズを作
成できます。

このアカウントを使用して、
Chromebook や Chrome ブラウザ
などの他の Google サービスを管理
することはできません。詳細

5 登録

【6】 [ログイン] をクリックします。

☑ 利用しているブラウザにより、Google Play ストアが正常に動作しないことがあります。



【7】 手順【3】で入力した Gmail のメールアドレスを入力します。

【8】 [次へ] をクリックします。

ログイン

お客様の Google アカウントを使用

7 メールアドレスまたは電話番号

[メールアドレスを忘れた場合](#)

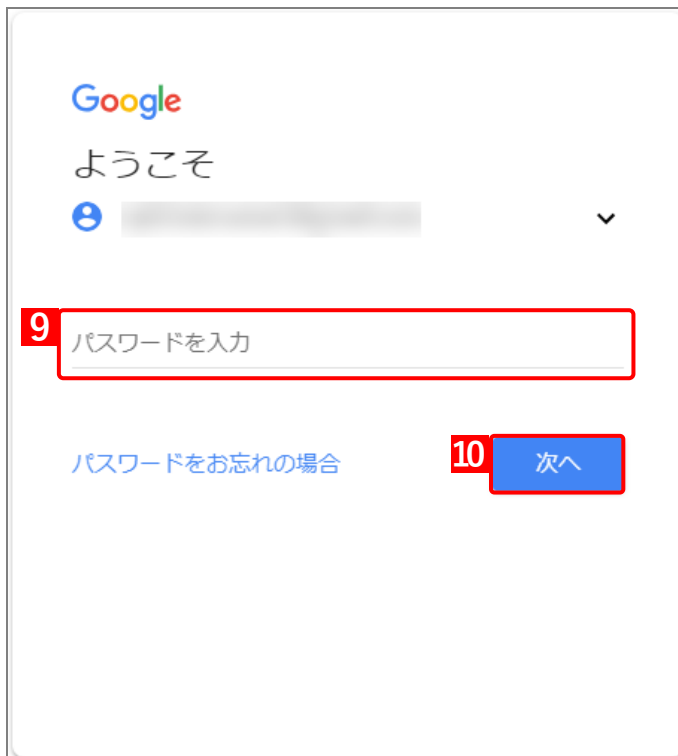
ご自分のパソコンでない場合は、ゲストモードを使用して非公開でログインしてください。 [ヘルプ](#)

[アカウントを作成](#)

8 [次へ](#)

【9】 パスワードを入力します。

【10】 [次へ] をクリックします。



The image shows the Google login screen. At the top is the Google logo, followed by the text "ようこそ" (Welcome). Below this is a user profile icon and a dropdown arrow. A red box labeled "9" highlights the password input field with the placeholder text "パスワードを入力". Below the input field, there is a link "パスワードをお忘れの場合" (If you forgot your password) and a blue button labeled "次へ" (Next) which is highlighted with a red box labeled "10".

【11】 [完了] をクリックします。



The image shows the "アカウントの保護" (Account Protection) screen. At the top is the Google logo, followed by the text "アカウントの保護". Below this is a user profile icon. In the center is an illustration of a smartphone with a padlock and a key. Below the illustration, there is a paragraph of text: "パスワードを忘れてしまったり、アカウントにアクセスできなくなったり、アカウントで不審なアクティビティが検出されたりした場合に Google から連絡を受け取る方法を設定します". Below this text, there are two sections: "予備の電話番号" (Recovery phone number) with the status "電話番号がありません" (No phone number), and "再設定用のメールアドレス" (Recovery email address) with the status "再設定用のメールアドレスがありません". At the bottom, there is a "更新" (Update) button and a blue button labeled "完了" (Done) which is highlighted with a red box labeled "11".

【12】 [スタートガイド] をクリックします。



【13】 「組織名」を入力します。

【14】 [次へ] をクリックします。

A screenshot of the 'お店やサービスの詳細' (Details of your store or service) setup screen. The title is in large white characters. Below it, the instruction 'ビジネスの詳細情報を入力してください' (Please enter your business details) is shown. The form contains a text input field with the placeholder 'ドメイン名またはお店やサービスの名前' (Domain name or store/service name). A red box with the number '13' highlights this input field. Below the input field is a checkbox labeled '企業向けモバイル管理 (EMM) プロバイダ' (Enterprise mobile management (EMM) provider). At the bottom right, there are two buttons: '前へ' (Previous) and '次へ' (Next). A red box with the number '14' highlights the '次へ' button.

【15】規約を確認し、同意にチェックを入れます。

【16】[確認] をクリックします。

- ✎ (A) データの保護責任者および EU 担当者は、任意入力です。必要に応じて入力します。
データの保護責任者、EU 担当者についての詳細は、以下を参照してください。

🔗 <https://support.google.com/googleplay/work/answer/7681629>

連絡先情報

連絡先情報を入力してください

Google では、データ保護に関する法規制を遵守するための取り組みとして、顧客データ保護責任者様と EU 担当者様の連絡先情報を保管する必要があります。この情報は、Google のサービス内にあるデータのプライバシーやセキュリティに関する質問またはお知らせについてご連絡する場合に使用します。

この情報をまだご用意できていない場合は、managed Google Play の [管理者設定] から後で追加できます。

(A) データ保護責任者

EU 担当者

15 ☒ managed Google Play 契約を確認しました。この内容に同意します。

16 前へ 確認

【17】 「登録を完了」 をクリックします。

⇒ アカウント登録済みの管理サイトの画面が表示されます。



✎ (A) 「状態」 は「登録済」と表示されています。

✎ (B) 「アカウントメールアドレス」に Google Play ストアで登録したメールアドレスが表示されています。

✎ (C) 「組織ID」に managed Google Play ストアでの組織の一意の識別子が表示されています。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

(A) 状態
登録済

▲ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は セキュリティ設定(DOM) を使用してください。

アカウント種別
Googleアカウント

(B) アカウントメールアドレス

(C) 組織ID

▲ Android Enterprise(企業アカウント登録)の設定、およびGoogleのAndroid Enterpriseに紐づく企業情報を削除します。削除が実行されると、Android Enterprise機能を使用したアプリ配信はできなくなります。削除を実行してから30日以内に再登録した場合はデータが復元されます。よろしければ「同意する」にチェックを入れて「アカウント削除」ボタンをクリックしてください。

☐ 同意する

アカウント削除

132

6.2 Google API の認証設定を行う

管理サイトから Google アカウントを会社用メールアドレスに関連付け、JSON ファイルの作成と認証を行います。

6.2.1 メールアドレスを Google アカウントとして登録する

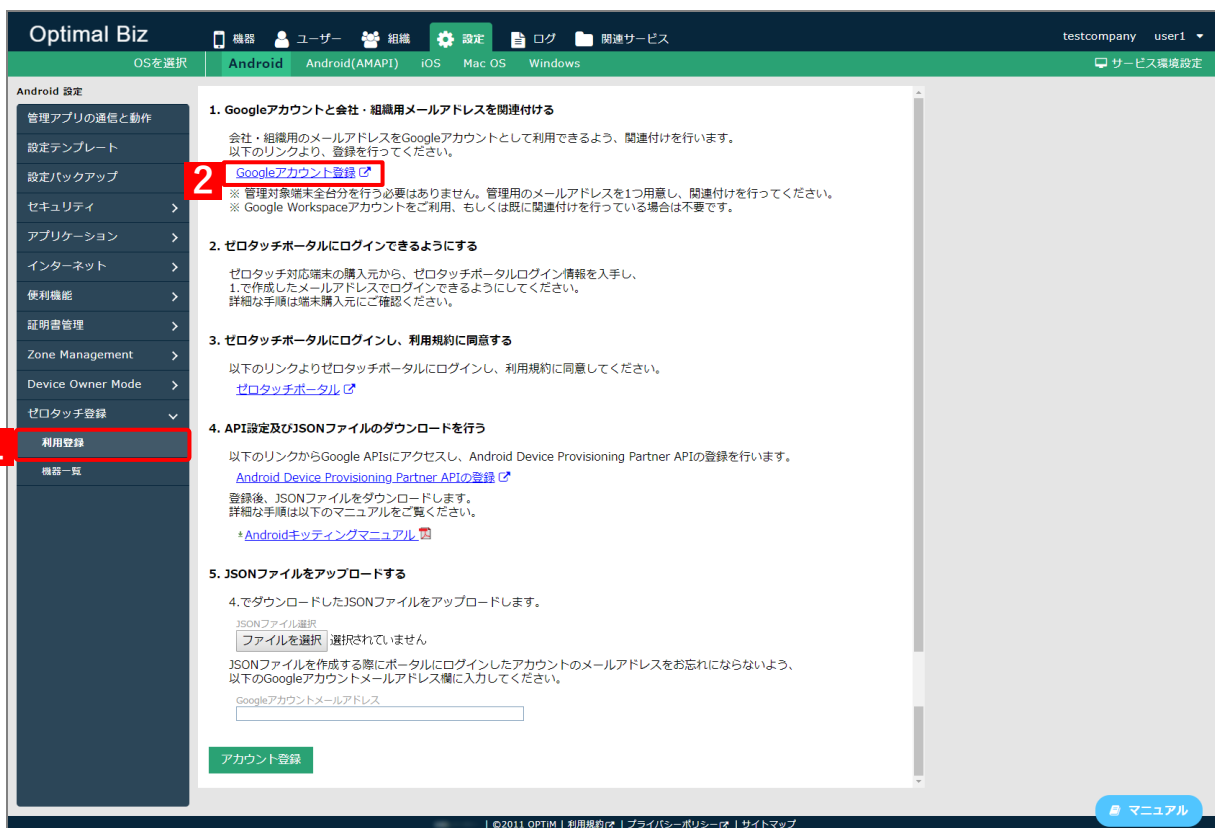
会社または組織用のメールアドレスを Google アカウントとして利用できます。

- ✓ 管理対象端末全台分を行う必要はありません。管理用のメールアドレスを 1 つ用意してください。管理者個人のメールアドレスではなく、管理担当部署のメーリングリストなどを推奨します。
- ✓ 利用する Google アカウントがすでにブラウザーに登録されている場合は、本操作は不要です。

[1] [設定] → [Android] → [ゼロタッチ登録] → [利用登録] をクリックします。

[2] [Google アカウント登録] をクリックします。

⇒ Google アカウント作成画面が表示されます。



[3] 「姓」「名」を入力します。

[4] [次へ] をクリックします。

The screenshot shows the Google Account creation screen. It features the Google logo and the text 'Google アカウントを作成' (Create Google account) and '名前を入力してください' (Enter your name). There are two input fields: '姓 (省略可)' (Last name, optional) and '名' (First name). A red box labeled '3' is around these fields. At the bottom right, there is a blue button labeled '4 次へ' (Next).

【5】「生年月日」「性別」を入力します。

【6】[次へ] をクリックします。

基本情報

生年月日と性別を入力してください

5 年 月 日 性別

生年月日と性別の入力をお願いする理由

6 次へ

【7】企業ドメインの「メールアドレス」を入力します。

✎ (A) [Gmail アドレスを取得する] は、クリックしないでください。

【8】[次へ] をクリックします。

既存のメールアドレスを使用する

Google アカウントで使用するメールアドレスを入力してください

7 メールアドレス

このメールアドレスがご自身のものであることの確認が必要です

(A) Gmail アドレスを取得する

8 次へ

【9】「パスワード」「確認」を入力します。

【10】[次へ] をクリックします。

安全なパスワードの作成

半角アルファベット、数字、記号を組み合わせてパスワードを作成します

9 パスワード 確認

☐ パスワードを表示する

10 次へ

【11】「電話番号」を入力します。

【12】[次へ] をクリックします。

ロボットによる操作でないことを証明します

スマートフォンで確認コードを受け取る

11 電話番号

Google では、SMS を利用してこの電話番号を確認します (通信料が発生する場合があります) 。

12 次へ

【13】 [次へ] をクリックします。

【14】 「コードを入力」に、手順【7】で入力したメールアドレス宛に送られた確認コードを入力します。

【15】 [次へ] をクリックします。

【16】 「再設定用のメールアドレス」を入力します。

【17】 [次へ] をクリックします。

【18】 利用規約を確認して、[同意する] をクリックします。



プライバシーと利用規約

Google アカウントを作成するには、以下の[利用規約](#)への同意が必要です。

また、アカウントを作成する際は、Google の[プライバシー ポリシー](#)と[日本向けのプライバシーに関するお知らせ](#)に記載されている内容に沿って、ユーザーの情報が処理されます。次の重要な点をご確認ください。

お客様が Google を利用した場合に Google が処理するデータ

- Google アカウントを設定する際に、登録した名前、メールアドレス、電話番号などの情報が Google に保存されます。
- Google のサービスを利用して、Gmail でメッセージを作成したり YouTube の動画についてコメントを投稿したりすると、お客様が作成した情報が Google に保存されます。
- たとえば、Google マップでレストランを検索したり、YouTube で動画を再生したりすると、再生された動画、デバイス ID、IP アドレス、Cookie データ、現在地などの情報を始め、そのアクティビティに関する情報が Google で処理されます。
- こうした情報は、Google サービス（広告、アナリティクス、YouTube 動画プレーヤーなど）を使用するアプリやサイトをお客様が使用した場合にも処理されます。

Google がお客様の情報を処理する理由

Google では、[ポリシー](#)に明記されている以下の目的でこのデータを処理します。

- Google サービスにおいて、カスタマイズされたより有用なコンテンツ（たとえばより適切な検索結果）を提供できるようにするため。
- サービスの質を向上させ、新しいサービスを開発するため。
- アカウントの設定内容に応じて、Google のサービスだけでなく、Google のサービスを利用しているサイトやアプリでも、パーソナライズド広告を配信するため。
- 詐欺や不正使用を防いでセキュリティを向上するため。
- 分析や測定を通じてサービスがどのように利用されているかを把握するため。Google には、サービスがどのように利用されているかを測定するパートナーもいます。こうした広告パートナーや測定パートナーについての説明を[ご覧ください](#)。

データを統合する

また Google は、こうした目的を達成するため、Google のサービスやお使いのデバイス全体を通じてデータを統合します。アカウントの設定内容に応じて、たとえば検索や YouTube を利用した際に得られるユーザーの興味や関心の情報に基づいて広告を表示したり、膨大な検索クエリから収集したデータを使用してスเปリル訂正モデルを構築し、すべてのサービスで使用したりすることがあります。

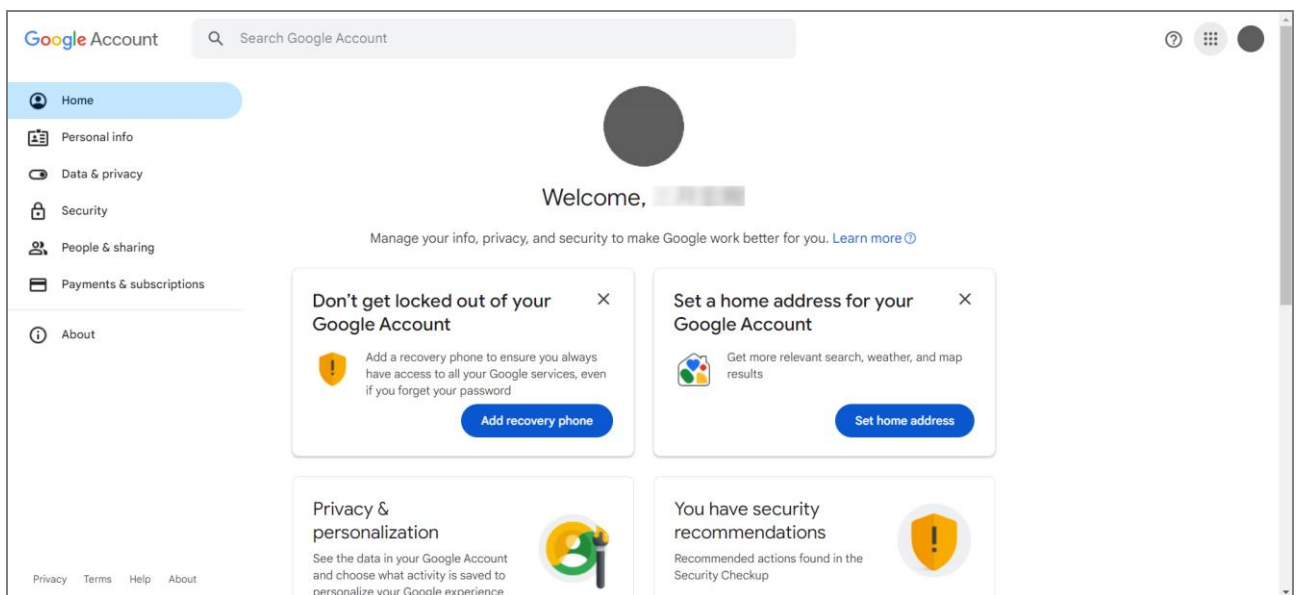
設定は自分で管理できます

アカウントの設定に応じて、このデータの一部はご利用の Google アカウントに関連付けられることがあります。Google はこのデータを個人情報として取り扱い、Google がこのデータを収集して使用する方法は、下の [\[その他の設定\]](#) で管理できます。設定の変更や同意の取り消しは、[アカウント情報](#)（myaccount.google.com）でいつでも行えます。

[その他の設定](#) ▾

キャンセル
18
同意する

⇒ 以下の画面が表示されます。登録が完了しました。



6.2.2 ゼロタッチポータルにログインする

登録した Google アカウントを端末の購入元に連絡し、ゼロタッチポータルにログインできるように依頼します。

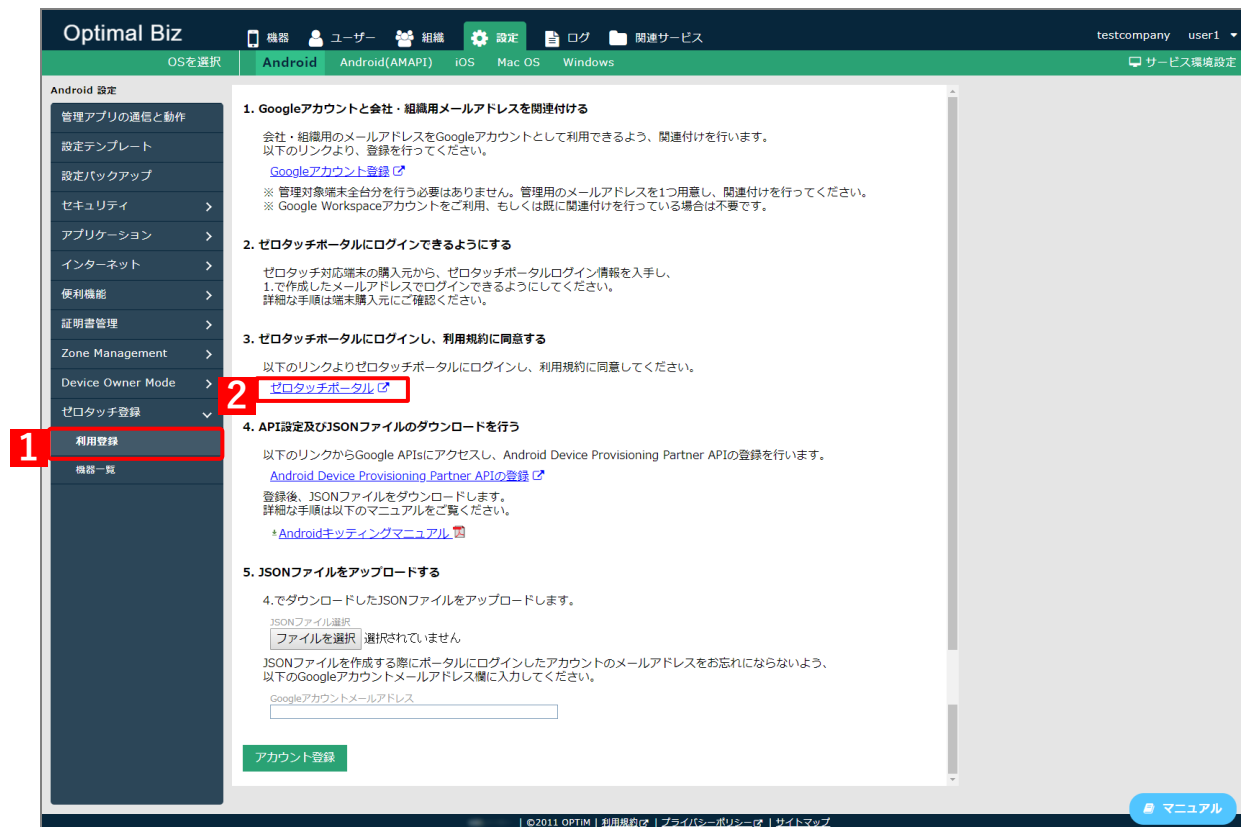
🔗 詳細については、端末の購入元にお問い合わせください。

6.2.3 利用規約に同意する

ゼロタッチポータルにログインして、利用規約に同意してください。

[1] [設定] → [Android] → [ゼロタッチ登録] → [利用登録] をクリックします。

[2] [ゼロタッチポータル] をクリックします。



[3] 登録した Google アカウントを選択します。



【4】 「I accept the Terms of Service.」 にチェックを入れます。

【5】 「同意する」 をクリックします。

Terms of Service

Android Zero Touch End Customer Agreement

1.1 Services Use. Subject to this Agreement, during the Term, you, the Customer may: (a) use the Services, and (b) use any Software provided by Google as part of the Services. Customer may not sublicense or transfer these rights except as permitted under the Assignment section of the Agreement

1.2 Console. Google will provide the Services to Customer. As part of receiving the Services, Customer will have access to the Admin Console, through which Customer may administer the Services.

1.3 Facilities. All facilities used to store and process an Application and Customer Data will adhere to reasonable security standards no less protective than the security standards at facilities where Google processes and stores its own information of a similar type. Google has implemented at least industry standard systems and procedures to (i) ensure the security and confidentiality of an Application and Customer Data, (ii) protect against anticipated threats or hazards to the security or integrity of an Application and Customer Data, and (iii) protect against unauthorized access to or use of an Application and Customer Data.

immediately. If Customer does not agree to the revised Agreement, please stop using the Services. Google will not any modification to this Agreement to the Terms UPI

4 ☐ I accept the Terms of Service.

5 同意する 同意しない

6.2.4 API 設定および JSON ファイルのダウンロードを行う

Google Cloud Platform で Android Device Provisioning Partner API の登録を行い、JSON ファイルをダウンロードします。

- 【1】 [設定] → [Android] → [ゼロタッチ登録] → [利用登録] をクリックします。
- 【2】 [Android Device Provisioning Partner API の登録] をクリックします。



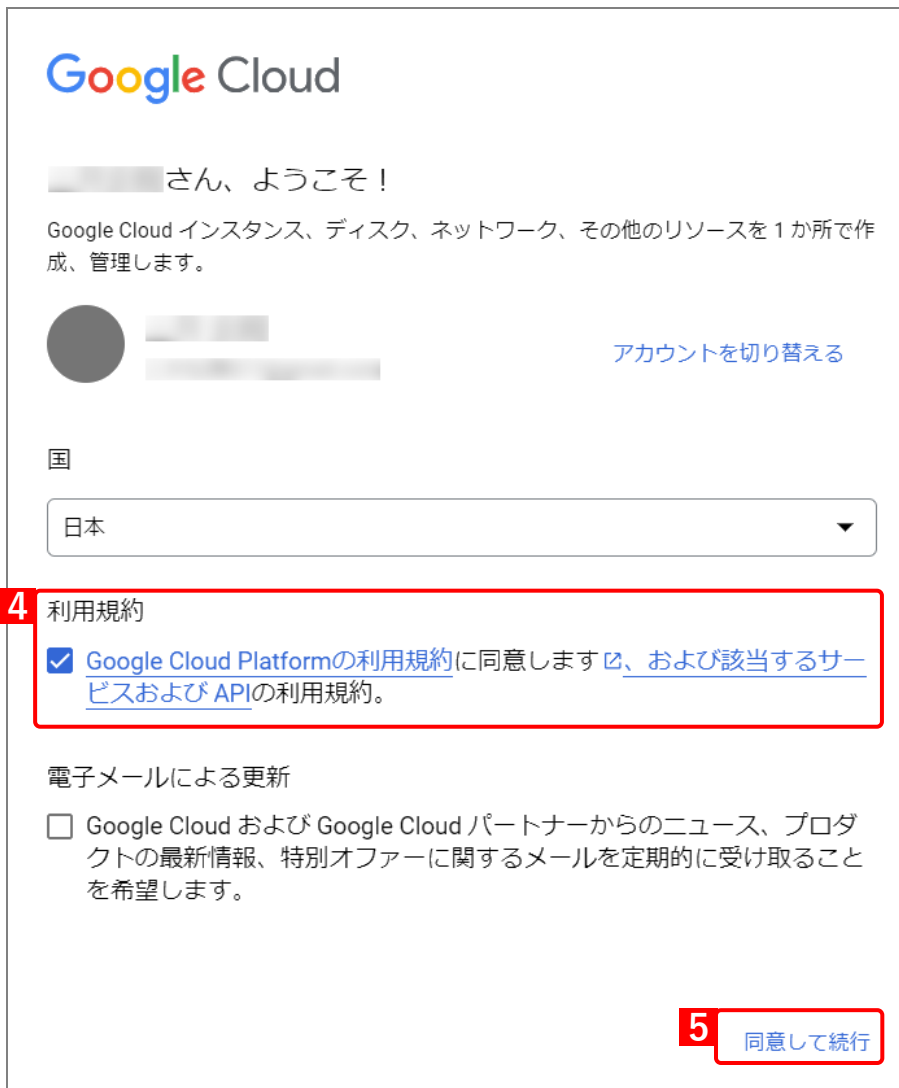
- 【3】 関連付けした「メールアドレス」を選択します。



【4】「利用規約」にチェックを入れます。

【5】「同意して続行」をクリックします。

 本画面は、初回ログイン時のみ表示されます。



Google Cloud

■■■■さん、ようこそ！

Google Cloud インスタンス、ディスク、ネットワーク、その他のリソースを1か所で作成、管理します。

■■■■ [アカウントを切り替える](#)

国

日本 ▼

4 利用規約

☒ [Google Cloud Platformの利用規約](#)に同意します [☞](#)、および該当するサービスおよびAPIの利用規約。

電子メールによる更新

☐ Google Cloud および Google Cloud パートナーからのニュース、プロダクトの最新情報、特別オファーに関するメールを定期的に受け取ることを希望します。

5 [同意して続行](#)

【6】「プロジェクトを作成」をクリックします。



Google Cloud

プロジェクトを選択 ▼

リソース、ドキュメント、製品などを検索 (/) [検索](#)

API ウィザードを有効にする

❶ このページを表示するには、プロジェクトを選択してください。

6 [プロジェクトを作成](#)

【7】 任意の「プロジェクト名」を入力します。

【8】 「作成する」をクリックします。

Google Cloud

リソース、ドキュメント、製品などを検索 (/)

新しいプロジェクト

割り当てに残っているプロジェクトは12件です。プロジェクトの増加または削除をリクエストしてください。詳細

クォータの管理

7 プロジェクト名 *

プロジェクトID: , 後で変更することはできません。編集

位置 *

No organization ブラウズ

親組織またはフォルダ

8 作成する キャンセル

【9】 「次」をクリックします。

Google Cloud

プロジェクトを選択

リソース、ドキュメント、製品などを検索 (/)

APIへのアクセスを有効にする

1 プロジェクトの確認

2 APIを有効にする

プロジェクト「」に変更を加えます。これが使用する予定のプロジェクトでない場合は、上記のプロジェクトセレクターを使用して別のプロジェクトを選択または作成できます。

9 次

【10】 [有効にする] をクリックします。

⇒ Android Device Provisioning Partner API が有効になります。

**【11】 [Google Cloud] をクリックします。**

【12】 [API とサービス] → [有効な API とサービス] をクリックします。



【13】 [認証情報] をクリックします。



【14】 [同意画面を構成] をクリックします。



【15】 「作成」 をクリックします。

- ✎ (A) 「User Type」 を選択する必要はありません。「User Type」の詳細については、Google にお問い合わせください。

OAuth 同意画面

アプリをどのように構成および登録するか（ターゲット ユーザーを含む）を選択します。プロジェクトに関連付けることができるアプリは 1 つだけです。

(A)

User Type

☐ 内部 ?

組織内のユーザーのみが使用できます。確認を受けるためにアプリを送信する必要はありません。[ユーザーの種類の詳細](#)

☐ 外部 ?

Google アカウントを持つすべてのテストユーザーが使用できます。アプリはテストモードで起動し、アプリを使用できるのは、テストユーザーのリストに追加されたユーザーに限られます。アプリを本番環境に移す準備ができれば、アプリの確認が必要となる場合があります。[ユーザーの種類の詳細](#)

15

作成

Google の OAuth に関する[ご意見やご要望をお聞かせください](#)。

144

- 【16】 「アプリ名」に「Optimal Biz」と入力します。
- 【17】 「ユーザー サポートメール」をクリックして、メールアドレスを選択します。
- 【18】 「承認済みドメイン」に「optim.co.jp」と入力して、キーボードの〈Enter〉キーを押します。
- ✎ 〈Enter〉キーを押したあと、自動的にドメイン名が変更される場合があります。
- 【19】 「デベロッパーの連絡先情報」にメールアドレスを入力します。
- 【20】 「保存して次へ」をクリックします。

アプリ登録の編集

1 OAuth 同意画面 — 2 スコープ — 3 テストユーザー — 4 概要

アプリ情報

この情報は同意画面に表示されるため、デベロッパーのユーザー情報とデベロッパーへの問い合わせ方法をエンドユーザーが把握できます。

16 アプリ名 *

同意を求めるアプリの名前

17 ユーザー サポートメール *

同意に関して問い合わせる際に使用します。 [詳細](#)

アプリのロゴ

これがお客様のロゴです。このロゴは、ユーザーがアプリを認識できるよう、OAuth 同意画面に表示されます。

ロゴをアップロードした後に、アプリを送信して確認を受ける必要があります。ただし、アプリが内部でのみ使用するように構成されている場合や、アプリの公開ステータスが「テスト中」の場合は、送信は不要です。 [詳細](#)

アップロードするロゴ ファイル [参照](#)

ユーザーがアプリを認識できるように、同意画面に 1 MB 以下の画像をアップロードします。使用できる画像形式は、JPG、PNG、BMP です。最適な結果を得るには、ロゴを 120 x 120 ピクセルの正方形にすることをおすすめします。

アプリのドメイン

デベロッパーとユーザーを保護するために、Google では、OAuth を使用するアプリのみに認可ドメインの使用を許可しています。同意画面では、次の情報がユーザーに表示されます。

アプリケーションのホームページ

ホームページへのリンクをユーザーに提供します

[アプリケーション プライバシー ポリシー] リンク

一般公開のプライバシー ポリシーへのリンクをユーザーに提供します

[アプリケーション利用規約] リンク

一般公開の利用規約へのリンクをユーザーに提供します

18 承認済みドメイン ?

同意画面または OAuth クライアントの構成でドメインが使用されている場合は、ここで事前登録する必要があります。アプリの検証が必要な場合は、[Google Search Console](#) にアクセスして、ドメインが承認済みであるかどうかを確認してください。承認済みドメインの上限の [詳細](#) をご覧ください。

+ ドメインの追加

デベロッパーの連絡先情報

19 メールアドレス *

これらのメールアドレスは、プロジェクトの変更について Google からお知らせするために使用します。

20 保存して次へ キャンセル

【21】 [保存して次へ] をクリックします。

❗ スコープの追加は、不要です。

アプリ登録の編集

OAuth 同意画面

2 スコープ

3 テストユーザー

4 概要

スコープとは、アプリのユーザーに許可を求める権限を表します。スコープを定めることで、プロジェクトからユーザーの Google アカウントにある特定の種類のプライベートなユーザーデータへのアクセスが可能になります。[詳細](#)

スコープを追加または削除

非機密のスコープ

API ↑	範囲	ユーザー向けの説明
表示する行がありません		

機密性の高いスコープ

機密性の高いスコープとは、プライベートユーザーデータへのアクセスをリクエストするスコープです。

API ↑	範囲	ユーザー向けの説明
表示する行がありません		

制限付きのスコープ

制限付きのスコープとは、機密性の高いユーザーデータへのアクセスをリクエストするスコープです。

API ↑	範囲	ユーザー向けの説明
表示する行がありません		

21 保存して次へ

キャンセル

【22】 [保存して次へ] をクリックします。

 テストユーザーの追加は、不要です。

アプリ登録の編集

OAuth 同意画面

スコープ

3 テストユーザー

4 概要

テストユーザー

公開ステータスが「テスト中」に設定されている間は、テストユーザーのみがアプリにアクセスできます。アプリの確認前の許可済みユーザー数の上限は 100 で、この上限はアプリの全期間でカウントされます。[詳細](#)

+ ADD USERS

≡ フィルタ

プロパティ名または値を入力

?

ユーザー情報

表示する行がありません

22

保存して次へ

キャンセル

【23】 設定内容を確認して、[ダッシュボードに戻る] をクリックします。

⇒ OAuth 同意画面が表示されます。

アプリ登録の編集

✓ OAuth 同意画面

 —

✓ スcope

 —

✓ テストユーザー

 —

4 概要

OAuth 同意画面

編集

ユーザーの種類

外部

アプリ名

サポートメール

アプリのロゴ

指定されていません

[アプリケーションホームページ] リンク

指定されていません

[アプリケーションプライバシー ポリシー] リンク

指定されていません

指定されていません

承認済みドメイン

指定されていません

連絡先メールアドレス

スコープ

編集

API ↑

範囲

ユーザー向けの説明

表示する行がありません

テストユーザー

編集

ユーザー 0 人 (0 人がテストユーザー、残り 0 人) / ユーザーの上限数は 100 人

?

≡ フィルタ

プロパティ名または値を入力

?

ユーザー情報

表示する行がありません

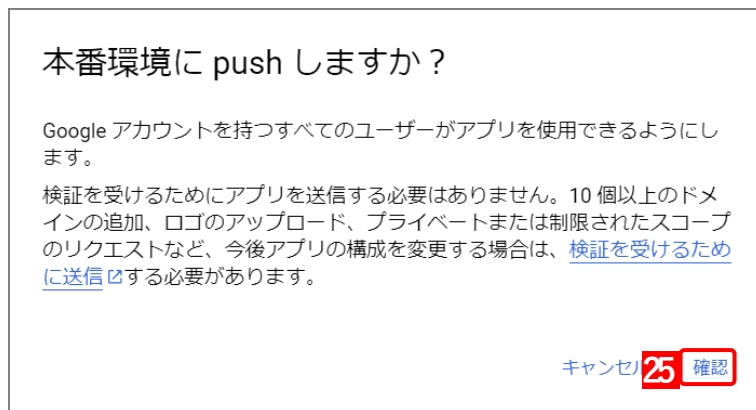
23

ダッシュボードに戻る

【24】 [アプリ公開] をクリックします。



【25】 メッセージを確認して、[確認] をクリックします。



【26】 公開ステータスが「本番環境」になっていることを確認します。

【27】 [認証情報] をクリックします。



【28】 「認証情報を作成」 をクリックします。

【29】 「OAuth クライアント ID」 を選択します。



【30】 「アプリケーションの種類」のプルダウンメニューから「ウェブアプリケーション」を選択します。



【31】 任意で「名前」を入力します。

【32】 「承認済みリダイレクト URI」の「URI を追加」をクリックします。

← OAuth クライアント ID の作成

クライアント ID は、Google の OAuth サーバーで個々のアプリを識別するために使用します。アプリが複数のプラットフォームで実行される場合、それぞれに独自のクライアント ID が必要になります。詳しくは、[OAuth 2.0 の設定](#)をご覧ください。OAuth クライアントの種類の[詳細](#)

アプリケーションの種類 *
ウェブアプリケーション

31 名前 *
ウェブクライアント 1

OAuth 2.0 クライアントの名前。この名前はコンソールでクライアントを識別するためにのみ使用され、エンドユーザーには表示されません。

1 下で追加する URI のドメインは、[OAuth 同意画面に承認済みドメイン](#)として自動で追加されます。

承認済みの JavaScript 生成元 ⓘ
ブラウザからのリクエストに使用します

+ URI を追加

承認済みのリダイレクト URI ⓘ
ウェブサーバーからのリクエストに使用します

32 + URI を追加

注: 設定が有効になるまで 5 分から数時間かかることがあります

作成 キャンセル

【33】 「URI」 に「https://biz3.optim.co.jp/company1/android_emm_zero_touch_auth/callback」と入力します。（※「company1」に当たる部分には、企業コードを入力してください。）

 警告メッセージが表示された場合は、手順【18】で「承認済みドメイン」を正しく入力しているか確認してください。

【34】 「作成」 をクリックします。

[←](#) OAuth クライアント ID の作成

クライアント ID は、Google の OAuth サーバーで個々のアプリを識別するために使用します。アプリが複数のプラットフォームで実行される場合、それぞれに独自のクライアント ID が必要になります。詳しくは、[OAuth 2.0 の設定](#)をご覧ください。OAuth クライアントの種類の[詳細](#)

アプリケーションの種類*
ウェブアプリケーション

名前*
ウェブクライアント 1

OAuth 2.0 クライアントの名前。この名前はコンソールでクライアントを識別するためにのみ使用され、エンドユーザーには表示されません。

 下で追加する URI のドメインは、[OAuth 同意画面に承認済みドメイン](#)として自動で追加されます。

承認済みの JavaScript 生成元 

ブラウザからのリクエストに使用します

[+ URI を追加](#)

承認済みのリダイレクト URI 

ウェブサーバーからのリクエストに使用します

33 URI 1*

[+ URI を追加](#)

注: 設定が有効になるまで 5 分から数時間かかることがあります

34 [作成](#) [キャンセル](#)

【35】 [OK] をクリックします。

OAuth クライアントを作成しました

クライアント ID とシークレットには、常に API とサービスの認証情報からアクセスできます

❶

OAuth 同意画面が確認されるまで、OAuth では[プライベートデータにかかわるスコープのログイン](#)が 100 回までに制限されます。公開には確認プロセスが必要になる場合があり、確認プロセスには数日を要する場合があります。

クライアント ID		🔗
クライアント シークレット		🔗
作成日	2024年9月12日 17:47:38 GMT+9	
ステータス	✔ 有効	

📄 JSON をダウンロード

35

OK

【36】 ダウンロードアイコンをクリックして、JSON ファイルをダウンロードします。

Google Cloud

スラッシュ (/) を使用してリソース、ドキュメント、プロダクトなどを検索

検索

API API とサービス

認証情報

+ 認証情報を作成

🗑 削除

🔄 削除した認証情報を復元

有効な API とサービス

ライブラリ

認証情報

OAuth 同意画面

ページの使用に関する契約

有効な API にアクセスするための認証情報を作成します。 [詳細](#)

API キー

☐

名前

作成日 ↓

制限

操作

表示する API キーがありません

OAuth 2.0 クライアント ID

☐

名前

作成日 ↓

種類

クライアント ID

🔗

📄

🗑

☐ [ウェブクライアント1](#)

2024/09/12

ウェブアプリケーション

サービス アカウント

[サービスアカウントを管理](#)

☐

メール

名前 ↑

操作

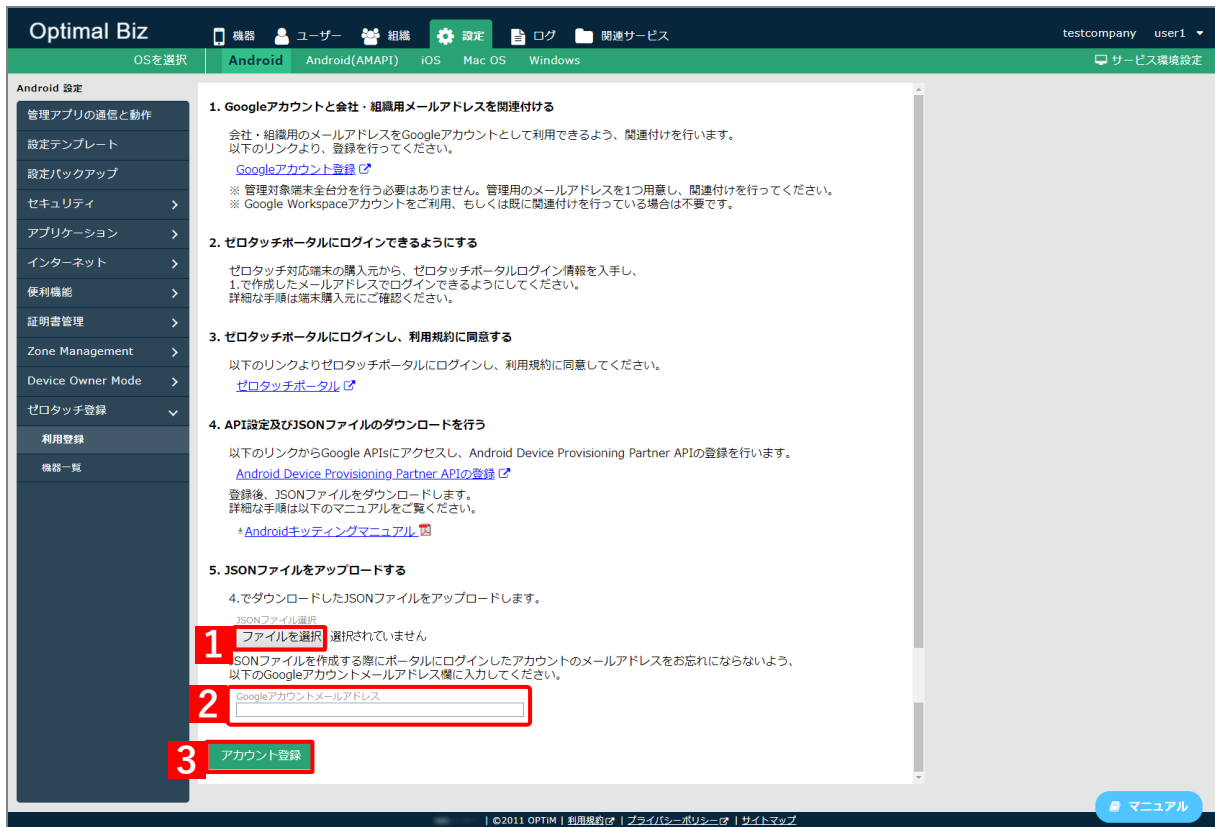
表示するサービス アカウントがありません

6.2.5 JSON ファイルをアップロードする

Google APIs でダウンロードした JSON ファイルを管理サイトにアップロードし、機器情報を登録します。

- 【1】 [ファイル選択] をクリックし、ダウンロードした JSON ファイルを選択します。
- 【2】 「Google アカウントメールアドレス」を入力します。
- 【3】 [アカウント登録] をクリックします。

⇒ Google のログイン画面が表示されます。



- 【4】 「メールアドレスまたは電話番号」に登録した Google アカウントを入力します。
- 【5】 [次へ] をクリックします。



【6】 「パスワード」を入力します。

【7】 「次へ」 をクリックします。

⇒警告画面が表示されます。



Google でログイン

パスワードを入力

☐ パスワードを表示する

パスワードをお忘れの場合 **7** 次へ

【8】 「詳細」 をクリックします。



⚠

このアプリは Google で確認されていません

アプリが、Google アカウントのプライベートな情報へのアクセスを求めています。デベロッパー（ ）と Google によって確認されるまで、このアプリを使用しないでください。

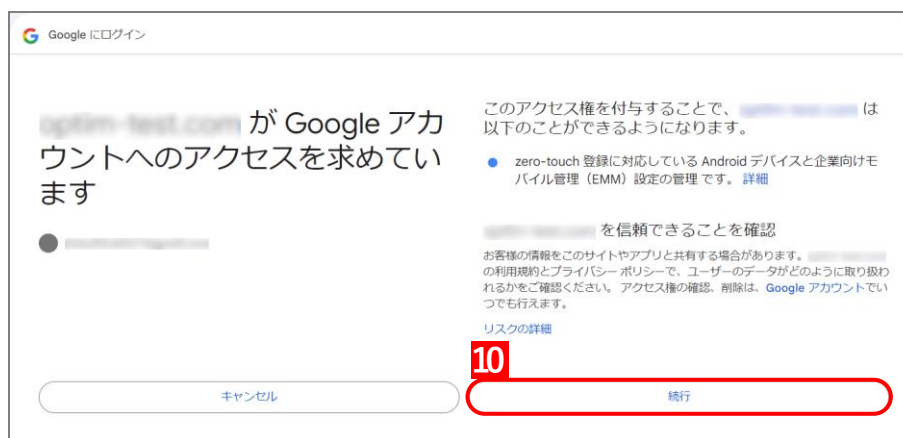
デベロッパーの場合は、この画面が表示されないようにするには審査リクエストを送信してください。 [詳細](#)

8 詳細

安全なページに戻る

【9】 [ドメイン（安全でないページ）に移動] をクリックします。

Google アカウントが「XXXXX@xxxxx.co.jp」の場合は、ドメインに「xxxxx.co.jp」と表示されます。

**【10】 [続行] をクリックします。**

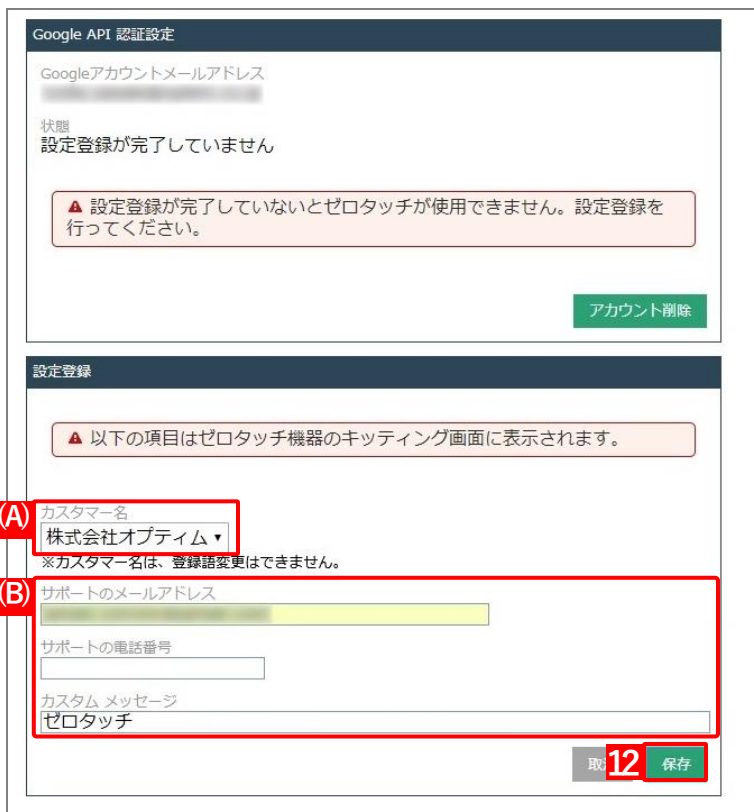
【11】 設定登録を行います。[新規作成] をクリックします。

- ❏ 設定登録を行わないと、ゼロタッチ端末の同期処理ができません。(B)「状態」に「設定登録が完了していません」と表示されます。
- ✎ (A)「Google アカウントメールアドレス」には、手順【4】で選択した Google アカウントが表示されます。



【12】 [保存] をクリックします。

- ✎ (A)「カスタマー名」は変更できません。(B)「サポートのメールアドレス」「サポートの電話番号」「カスタムメッセージ」は設定登録時にゼロタッチポータルで設定した内容が表示されます。変更する場合は、変更内容を入力してください。



⇒ 設定登録を行うと、利用登録画面が以下のように表示されます。

✎ (A) 「状態」に「使用可」と表示されます。

✎ アカウント削除する場合は、(B) [アカウント削除] をクリックします。

✎ 設定登録時にゼロタッチポータルで設定した内容が表示されます。変更する場合は、(C) [編集] をクリックします。ただし、(D) 「カスタマー名」は変更できません。

Google API 認証設定

Google アカウントメールアドレス

(A) 状態
使用可

(B) アカウント削除

設定登録

(D) カスタマー名
Optim

サポートのメールアドレス

サポートの電話番号

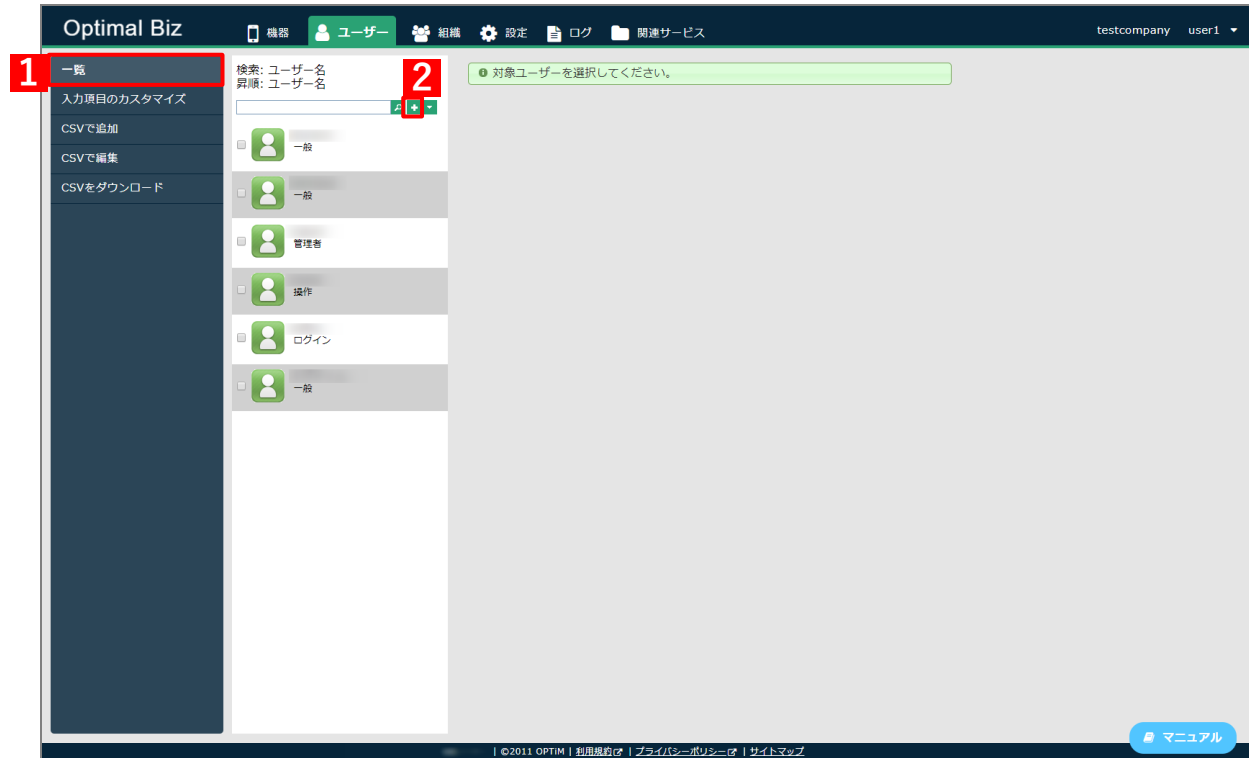
カスタム メッセージ

(C) 編集

6.3 ユーザーを作成する

以下の手順で、ユーザーを作成します。

- 【1】** [ユーザー] → [一覧] をクリックします。
- 【2】**  をクリックします。



【3】「名前」に任意の名前を入力します。

 その他の入力および設定項目の詳細については、以下を参照してください。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「ユーザー」－「一覧」－「ユーザーの作成」

【4】「保存」をクリックします。

⇒ユーザーが作成されます。

 新規作成

管理

管理情報 - 編集

3

名前

フリガナ

姓

名

ユーザーID

メールアドレス

ユーザー種別

☒ 管理者 (全ての操作ができます)

☐ 操作

☐ 閲覧者 (変更操作ができません)

☐ ロック・ワイプ

☐ ログイン (個別に権限を設定)

☒ 一般 (ログインできません)

組織

所属 (部)

(未分類)

役職

(未分類)

機器認証制限

☒ 制限なし

☐ 制限あり 台

☐ 認証禁止

パスワード

パスワード(再入力)

4

保存

6.4 ゼロタッチ登録（Google アカウント利用）でキッティングする

以下の手順で、ゼロタッチ登録による端末のキッティングを行います。

- 管理サイトの「アプリケーション禁止」で「禁止するアプリケーション」、および「アプリケーション非表示」に「Google Play 開発者サービス (com.google.android.gms)」を設定していると、正常にキッティングが完了できない場合があります。以下を参照して、事前に設定を解除してから、キッティングを行ってください。

🔍『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「アプリケーション」 - 「アプリケーション禁止」

🔍『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「アプリケーション非表示」

- ✎手順【9】の画面は、機種や OS によって表示されるタイミングが異なる場合があります。

【1】 [始める] をタップします。

- ✎SIM を挿入している場合、モバイルネットワーク接続が開始されます。



【2】 [スキップ] をタップします。

- ✎モバイルネットワークを利用する場合は、SIM を挿入してください。



【3】 接続したい Wi-Fi の SSID をタップして、Wi-Fi に接続してください。

⇒ ネットワーク接続が開始されます。

- ☑必ずネットワークに接続して、以降の手順を進めてください。
ネットワークに接続していない場合は、ゼロタッチ登録サーバーと同期したとき端末が初期化されます。

🔑 「ゼロタッチ登録サーバーに同期する」 171 ページ

- ☑モバイルネットワークを利用する場合は、(A) [セットアップ時にモバイルネットワークを使用する] をタップします。表示されるポップアップのメッセージを確認してください。



【4】 [次へ] をタップします。

【5】 [同意して続行] をタップします。

【6】 [次へ] をタップします。

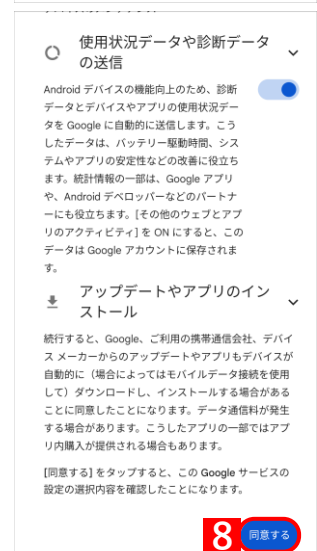


【7】 [もっと見る] をタップします。

✎端末によっては [もっと見る] が数回表示されます。[同意する] が表示されるまで、[もっと見る] をタップします。



【8】 [同意する] をタップします。



【9】 [OK] をタップします。



【10】 [スキップ] をタップします。



【11】 画面下部からスワイプします。
⇒ ホーム画面に移動します。



【12】 [Optimal Biz] をタップします。

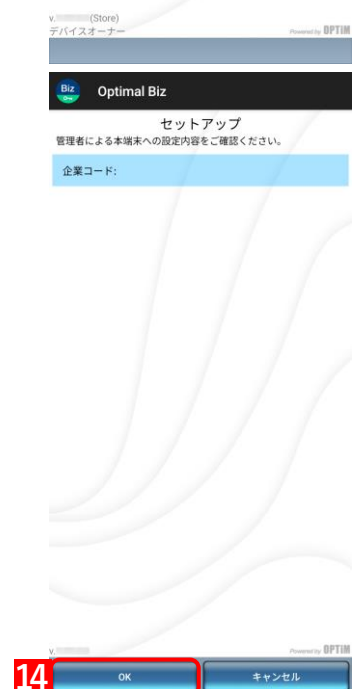
 ホーム画面にアイコンが表示されない場合は、アプリ一覧を確認してください。



【13】 [ライセンス認証] をタップします。



【14】 [OK] をタップします。



【15】 利用規約の [確認・同意] をタップします。



【16】 「利用規約に同意する」にチェックを入れます。

【17】 [OK] をタップします。



【18】 プライバシーポリシーの [確認・同意] をタップします。



- 【19】** ユーザーデータについて確認して、[プライバシーポリシー] をタップします。



- 【20】** 「プライバシーポリシーに同意する」にチェックを入れます。
【21】 [OK] をタップします。

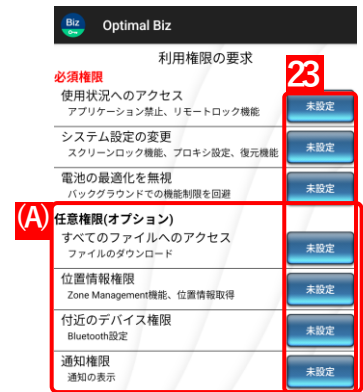


- 【22】** [OK] をタップします。
 ⇒ 権限要求画面が表示されます。

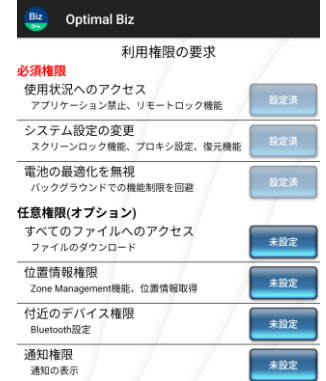


【23】 画面の案内に従って設定を行ってください。

- ✎ Android 11 以上でエージェントバージョン 9.19.0 以上の場合、
(A) 任意権限に「すべてのファイルへのアクセス」が表示されます。条件を満たしていない場合は、「ストレージ権限」が表示されます。
- ✎ Android 12 以上でエージェントバージョン 9.14.0 以上の場合、
(A) 任意権限に「付近のデバイス権限」が表示されます。
- ✎ Android 13 以上でエージェントバージョン 9.16.0 以上の場合、
(A) 任意権限に「通知権限」が表示されます。

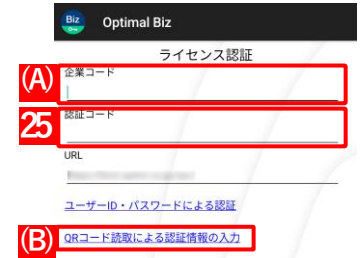


【24】 [OK] をタップします。



【25】 「認証コード」を入力します。

- ✎ 認証コードは管理者にお問い合わせください。
- ✎ (A) 「企業コード」は、自動で入力されています。
- ✎ (B) [QR コード読取による認証情報の入力] をタップして、エージェント認証用 QR コードを読み取ると、「企業コード」、「認証コード」、「URL」が自動で入力されます。QR コードは、管理者にお問い合わせください。



【26】 [送信] をタップします。

⇒ ライセンス認証完了の画面が表示されます。



【27】 [OK] をタップします。

⇒ 初期登録画面が表示されます。

✍️ 手順【28】～【30】の初期登録画面は、管理サイトでポータル表示を「表示」に設定している場合のみ表示されます。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「サービス環境設定」－「ポータル表示」

【28】 必要事項を選択、入力します。**【29】 [次へ] をタップします。**

✍️ あらかじめ、管理サイトの「入力項目のカスタマイズ」で入力項目を追加してください。追加するとき、「機器から入力可」にチェックを入れてください。チェックが入っていない場合は、項目が表示されません。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」－「入力項目のカスタマイズ」

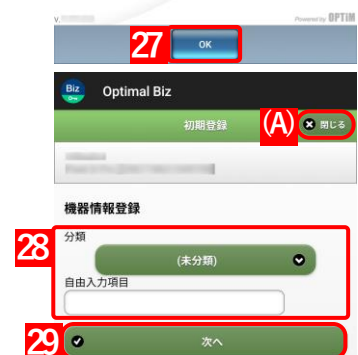
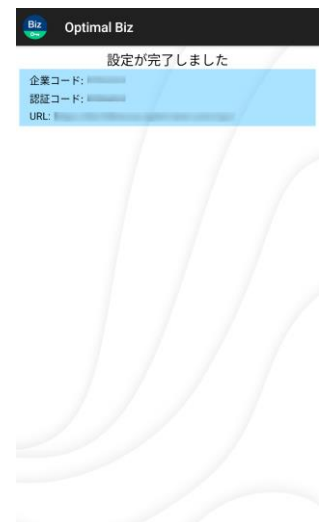
✍️ 管理サイトの「入力項目のカスタマイズ」で設定した内容により、画面に表示される「分類」と「自由入力項目」の内容が異なります。

✍️ 機器情報の登録が不要の場合は、(A) [閉じる] をタップするか、端末の戻るボタンで画面を閉じてください。

【30】 [OK] をタップします。

⇒ キットティングおよびライセンス認証が完了しました。
以下に進んでください。

🔗 「端末にユーザーを割り当てる」169 ページ



6.5 端末にユーザーを割り当てる

以下の手順で、「ユーザーを作成する」で作成したユーザーを対象端末に割り当てます。

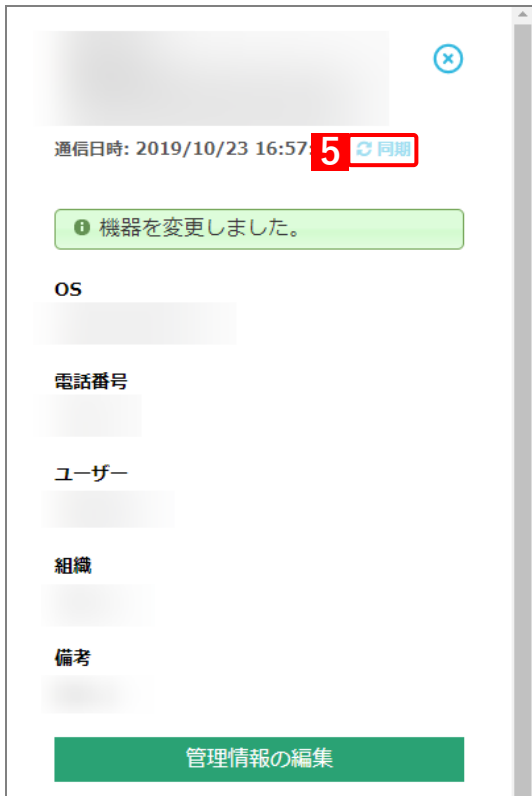
- 【1】 [機器] → [一覧] → 一覧から対象端末をクリックします。
- 【2】 [管理情報の編集] をクリックします。

The screenshot shows the 'Optimal Biz' interface. The left sidebar contains navigation options like '一覧' (List), 'ネットワークマップ' (Network Map), and '認証手順' (Authentication Steps). The main area is titled '機器' (Devices) and displays a table of devices. A red box labeled '1' highlights a specific device row. On the right sidebar, a red box labeled '2' highlights the '管理情報の編集' (Edit Management Information) button.

- 【3】 「所属」の「ユーザー」を選択し、プルダウンメニューから「ユーザーを作成する」で選択したユーザーを指定します。
- 【4】 [保存] をクリックします。

The screenshot shows the '管理情報' (Management Information) form. It includes fields for '機器名' (Device Name), '所属' (Affiliation) with radio buttons for 'ユーザー' (User) and '組織' (Organization), and a '備考' (Remarks) field. A red box labeled '3' highlights the 'ユーザー' radio button and the dropdown menu. Another red box labeled '4' highlights the '保存' (Save) button.

【5】 [同期] をクリックします。



通信日時: 2019/10/23 16:57 **5** **同期**

📘 機器を変更しました。

OS

電話番号

ユーザー

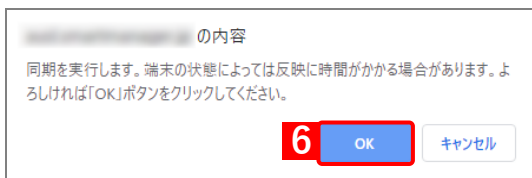
組織

備考

管理情報の編集

【6】 [OK] をクリックします。

⇒ 端末にユーザーが割り当てられます。



の内容

同期を実行します。端末の状態によっては反映に時間がかかる場合があります。よろしければ「OK」ボタンをクリックしてください。

6 **OK** キャンセル

6.6 ゼロタッチ登録サーバーに同期する

以下の手順でゼロタッチ登録サーバーとの同期を行い、管理サイトに端末の情報を表示させます。

- ☑ ネットワークに接続しないでキッティングを行った端末は、ゼロタッチ登録サーバーと同期すると初期化されます。必ずネットワークに接続してキッティングを行った端末で、ゼロタッチ登録サーバーと同期してください。
- ✎ 事前に各機能の設定を登録しておく、キッティングと同時に端末に機能が割り当てられます。機能の設定方法は、以下を参照してください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」

[1] [設定] → [Android] → [ゼロタッチ登録] → [機器一覧] をクリックします。

[2] [ゼロタッチ登録サーバ同期] をクリックします。

- ☑ ゼロタッチ機器一覧で表示されたゼロタッチ端末は、機器画面の機器一覧で、認証待ち機器として表示されます。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」 - 「一覧」 - 「機器一覧」

- ☑ ゼロタッチ機器一覧では、機器の削除はできないので、機器画面の機器一覧から削除してください。機器画面の機器一覧で削除したら、ゼロタッチ機器一覧からも削除されます。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」 - 「一覧」 - 「機器の個別削除」

- ☑ 機器画面からゼロタッチ端末の新規作成は行わないでください。

- ✎ (A) [IMEI/シリアル番号] をクリックすると、機器画面の機器一覧が表示されます。

The screenshot shows the Optimal Biz management interface. The top navigation bar includes 'OSを選択' (Select OS) with options for Android, Android (AMAPI), iOS, Mac OS, and Windows. The left sidebar contains a menu with '機器一覧' (Device List) highlighted by a red box labeled '1'. The main content area shows a table of devices with columns: 'IMEI/シリアル番号' (highlighted by a red box labeled '(A)'), 'ユーザー名' (User Name), 'メーカー' (Manufacturer), 'ゼロタッチ登録設定更新日時' (Zero Touch registration setting update date), and 'ゼロタッチ登録サーバ同期日時' (Zero Touch registration server sync date). A red box labeled '2' highlights the 'ゼロタッチ登録サーバ同期' (Zero Touch registration server sync) button. The footer includes copyright information and a 'マニュアル' (Manual) link.

7 Google Workspace アカウントでゼロタッチ登録 を利用して Android Enterprise 連携を行う

ゼロタッチ登録とは、エージェントのキッティング方法の1つです。この方法ではキッティング手順が省略化され、大規模な端末の導入を簡単かつ迅速に行うことができます。ゼロタッチ登録端末には、エージェントが自動的に Device Owner Mode としてインストールされるため、よりセキュアな端末管理が可能です。

ゼロタッチサーバーとの連携を行うと、自動的に本製品の機器一覧に事前機器として端末が表示されます。これらの端末にあらかじめ設定ポリシーを割り当ててからアクティベーションすると、すぐに設定が適用されます。

注意

- ゼロタッチ登録の詳細については、以下を参照してください。
 https://www.android.com/intl/ja_jp/enterprise/management/zero-touch/
- ゼロタッチ登録専用アカウントについては、端末の購入元にお問い合わせください。
- モバイルネットワークが利用できるゼロタッチ登録に対応した端末を、事前に用意してください。Wi-Fi 専用端末は、本製品に対応していません。
- 以下の項目は、初回のキッティング時のみ必要な操作です。
 「トークンを発行する」173 ページ
 「Google Workspace アカウントを登録する」179 ページ

参考

- あらかじめ管理サイトで Android Enterprise の「アプリケーション配信」機能を設定しておく、キッティングの完了後、ライセンス認証と同時に特定のアプリを端末に配信できます。アプリケーション配信の詳細については、以下を参照してください。
 『Android Enterprise アプリケーション配信 手順書』の「アプリをインストールする」

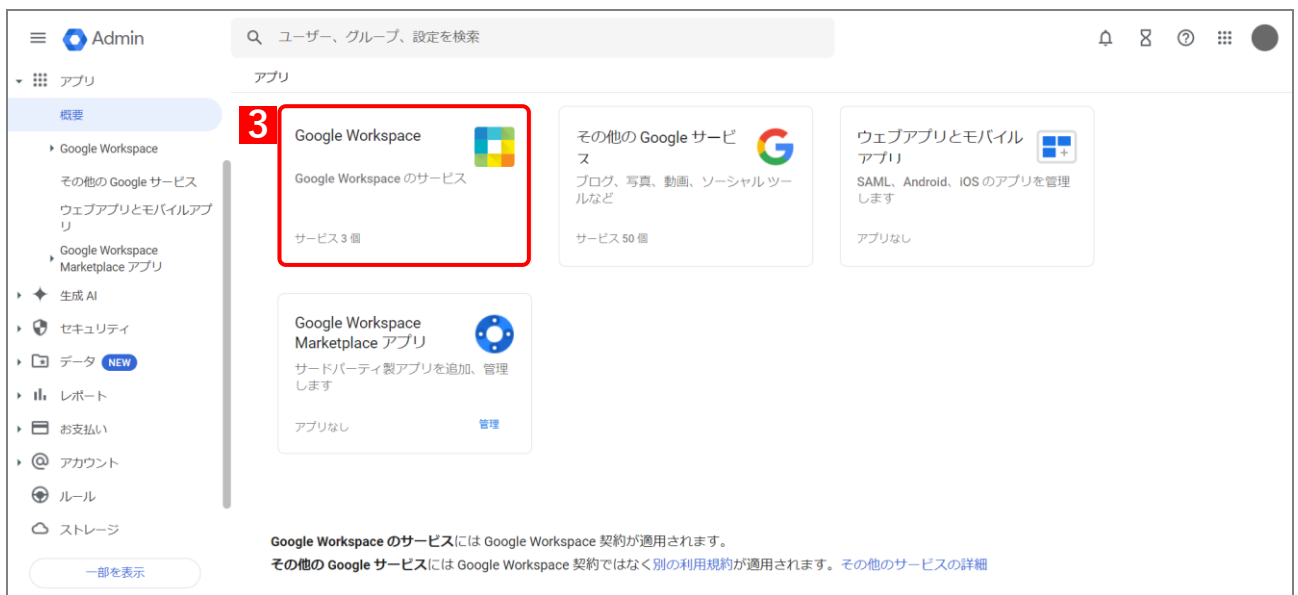
7.1 トークンを発行する

以下の手順で、Google Workspace アカウントを利用して本製品と Google 間の連携設定を行います。

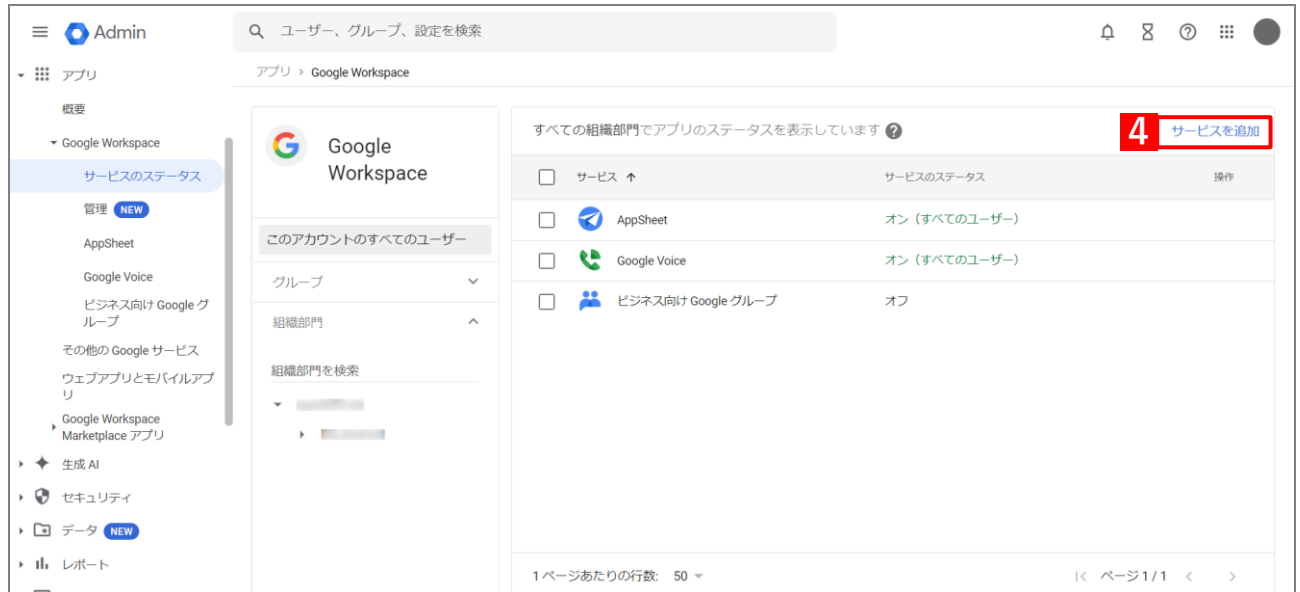
- 【1】 Google 管理コンソール (<https://admin.google.com>) を表示します。**
- 【2】 [アプリ] をクリックします。**



- 【3】 [Google Workspace] をクリックします。**

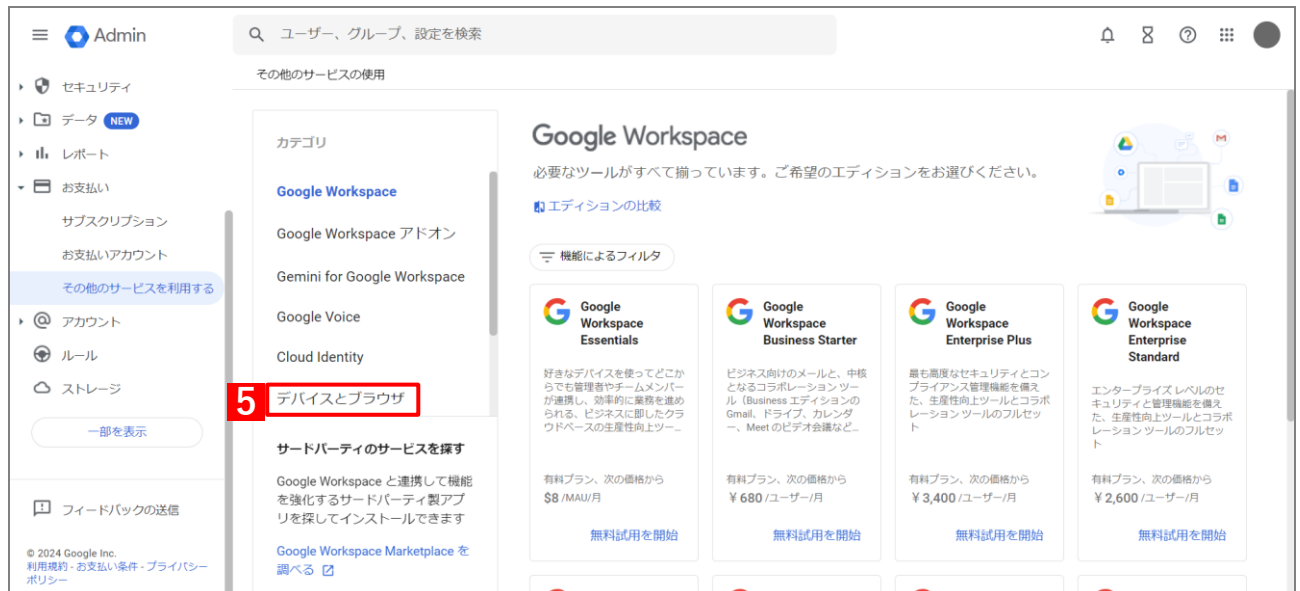


【4】 [サービスを追加] をクリックします。



The screenshot shows the Google Admin console interface. On the left, the 'Admin' menu is visible with 'アプリ' (Apps) selected. The main content area shows the 'Google Workspace' service status. A red box highlights the 'サービスを追加' (Add service) button in the top right corner of the main content area.

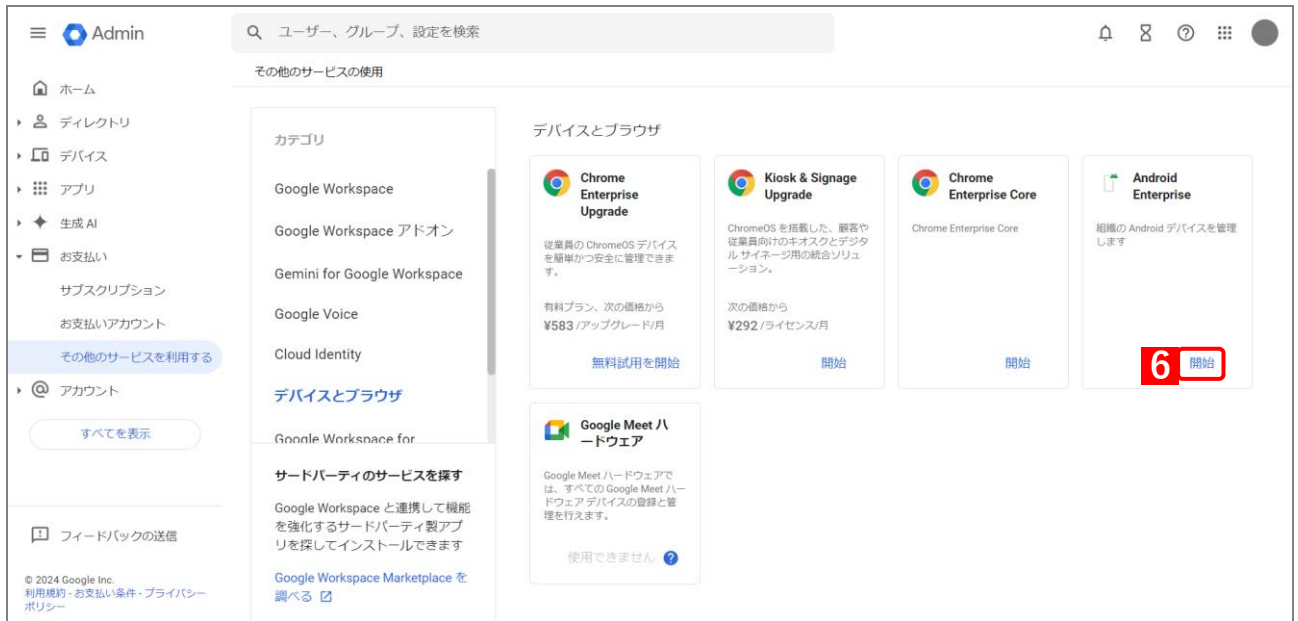
【5】 [デバイスとブラウザ] をクリックします。



The screenshot shows the Google Admin console interface. On the left, the 'Admin' menu is visible with 'その他のサービス' (Other services) selected. The main content area shows the 'Google Workspace' service details. A red box highlights the 'デバイスとブラウザ' (Devices and browsers) link in the left sidebar.

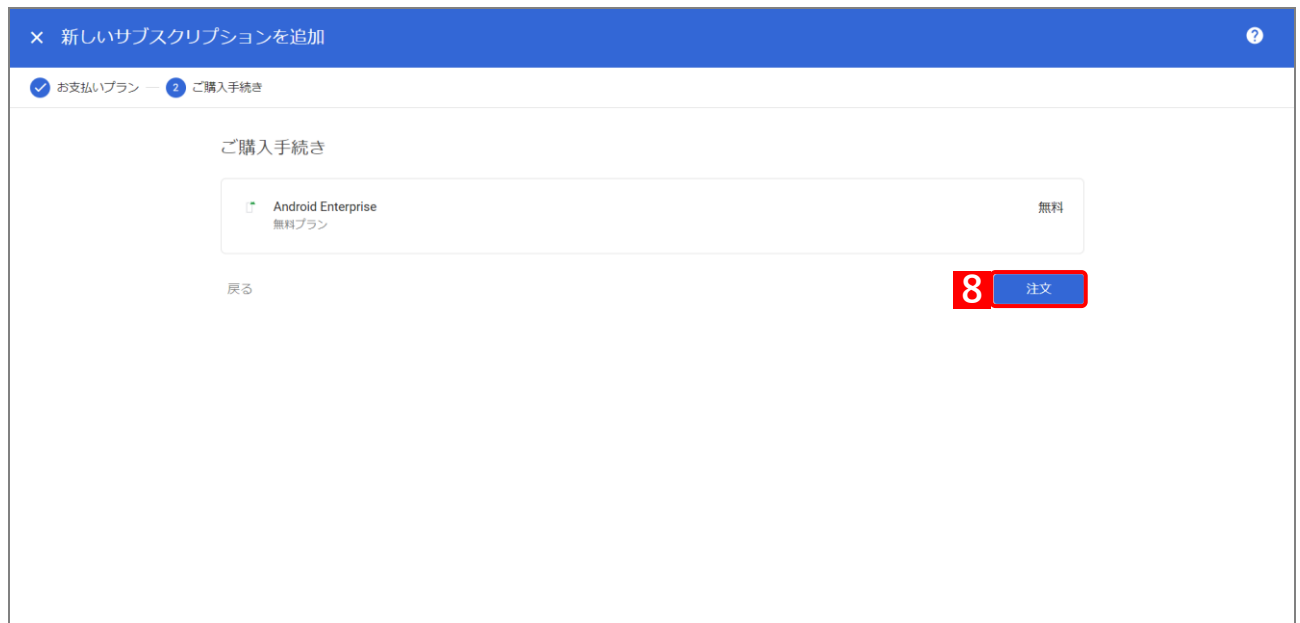
【6】「Android Enterprise」の「開始」をクリックします。

📌 本操作により、料金が発生することはありません。

**【7】「ご購入手続き」をクリックします。**

【8】 [注文] をクリックします。

⇒管理コンソールが表示されます。

**【9】 [×] をクリックします。****9 × ご購入ありがとうございます**

以下のサービスの購入を確認しました。

 Android Enterprise

新しいサブスクリプションがすべてのユーザーに反映されるまでには、最長で 24 時間ほどかかる場合があります。

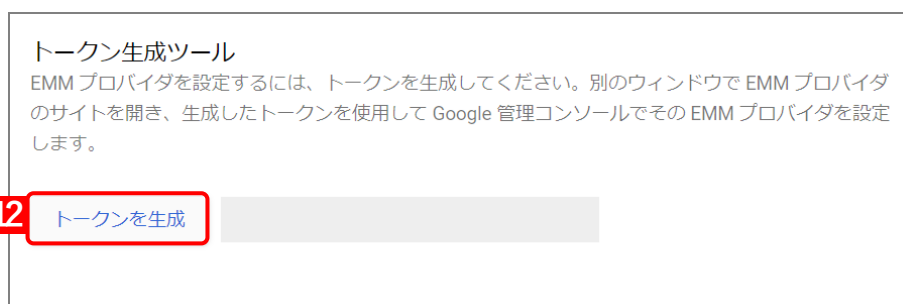
【10】 [デバイス] → [モバイルとエンドポイント] → [設定] → [サードパーティとの連携] をクリックします。



【11】 [Android EMM] の [EMM プロバイダを追加] をクリックします。



【12】 [トークンを生成] をクリックします。



【13】 トークンが表示されます。アカウント登録に必要となりますのでメモしてください。

トークン生成ツール

EMM プロバイダを設定するには、トークンを生成してください。別のウィンドウで EMM プロバイダのサイトを開き、生成したトークンを使用して Google 管理コンソールでその EMM プロバイダを設定します。

トークンを生成 **13** コピー

このトークンは、30 日が経過した時点、またはプロバイダの設定に使用された時点で失効します

【14】 「Android EMM」の「サードパーティの Android モバイル管理を有効にする」にチェックを入れます。**【15】 [保存] をクリックします。**

 [保存] をクリックすると、メッセージ画面が表示される場合があります。[×] でメッセージ画面を閉じてください。

Android EMM
上書きされました

サードパーティの Android モバイル管理

 サードパーティの EMM プロバイダを追加すると、Android アプリを Google エンドポイント管理を使って管理することはできなくなり、EMM プロバイダを介した管理が必要になります。[詳細](#)

14 ☒ サードパーティの Android モバイル管理を有効にする

EMM が追加されていません [EMM プロバイダを追加](#)

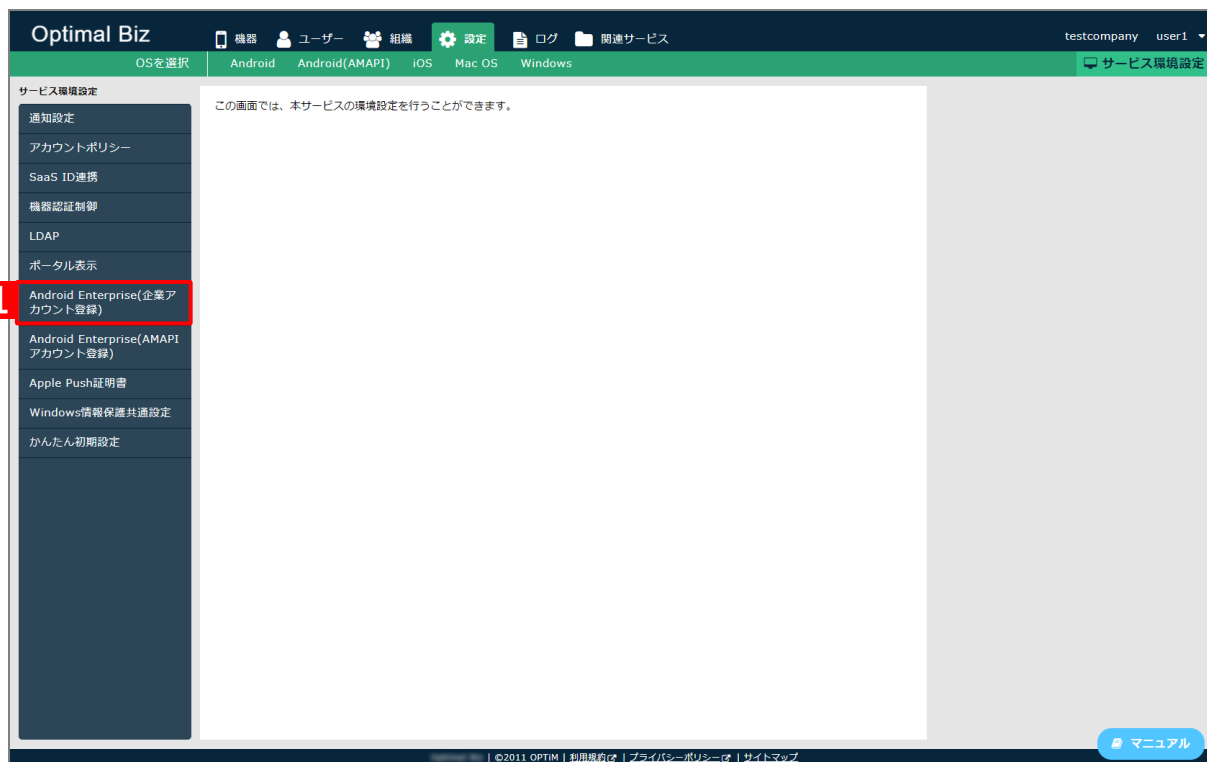
継承 未保存の変更が 1 件あります キャンセル **15** [保存](#)

7.2 Google Workspace アカウントを登録する

以下の手順で、管理サイトに Google Workspace アカウントを登録します。

- ☑ Google Workspace アカウントを登録後は、Google 側の設定変更は行わないでください。
- ☑ Google Workspace 標準の「モバイル管理機能」を使っていた場合はモバイル管理機能の「端末」情報を削除してください。

【1】 [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise(企業アカウント登録)] をクリックします。



【2】 「Google Workspace アカウント」 を選択します。

✎ 「アカウント種別」 の初期値は「Google Workspace アカウント」 が選択されています。

✎ (A) 「状態」 は「未登録」と表示されています。

【3】 <https://play.google.com/work/termservice> にアクセスして、利用規約に同意します。**【4】 「ドメイン」、「EMM トークン」 を入力します。**

✎ 「ドメイン」 には、契約している Google Workspace アカウントのドメインを入力してください。
Google Workspace アカウントが「XXXXX@xxxxx.co.jp」の場合は、ドメインは「xxxxx.co.jp」になります。

【5】 「アカウント登録」 をクリックします。

⇒ アカウント登録済みの画面が表示されます。

The screenshot shows the 'Android Enterprise(企業アカウント登録)' screen. It includes a status indicator (A) '未登録', a warning about security settings, account type selection (Google Workspace Account is selected), a URL for terms of service (3), input fields for domain and EMM token (4), and a final 'アカウント登録' button (5).

Android Enterprise(企業アカウント登録)

(A) 状態
未登録

⚠ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は [セキュリティ設定\(DOM\)](#) を使用してください。

アカウント種別

○ Googleアカウント **2** ● Google Workspaceアカウント

⚠ Google Workspaceアカウント連携をご利用の方は、特権管理者アカウントで Google Workspaceにログイン後、下記URLへアクセスし規約に同意してください。

3 <https://play.google.com/work/termservice>

4 ドメイン
[Input Field]
EMMトークン
[Input Field]

5 アカウント登録

- ✎ (A) 「状態」は「登録済」と表示されています。
- ✎ (B) 手順【4】で入力した「ドメイン」、「EMM トークン」が表示されています。
- ✎ (C) 「組織 ID」に managed Google Play ストアでの組織の一意の識別子が表示されています。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

(A) 状態
登録済

⚠ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は [セキュリティ設定\(DOM\)](#) を使用してください。

アカウント種別
Google Workspaceアカウント

(B) ドメイン

EMMトークン

(C) 組織ID

⚠ Google Workspaceアカウント連携をご利用の方は、特権管理者アカウントで Google Workspaceにログイン後、下記URLへアクセスし規約に同意してください。
<https://play.google.com/work/termsofservice>

⚠ Android Enterprise(企業アカウント登録)の設定、およびGoogleの Android Enterpriseに紐づく企業情報を削除します。削除が実行されると、Android Enterprise機能を使用したアプリ配信はできなくなります。

☐ 同意する

アカウント削除

【6】 Google 管理コンソール (<https://admin.google.com>) を表示します。

【7】 [デバイス] → [モバイルとエンドポイント] → [設定] → [サードパーティとの連携] をクリックします。



【8】 「Android EMM」 の「EMM プロバイダ」 を選択します。

【9】 「保存」 をクリックします。

Android EMM
「 」で適用しました

サードパーティの Android モバイル管理

i サードパーティの EMM プロバイダを追加すると、Android アプリを Google エンドポイント管理を使って管理することはできなくなり、EMM プロバイダを介した管理が必要になります。[詳細](#)

☒ サードパーティの EMM プロバイダを選択 有効にする

8 () EMM プロバイダを管理

キャンセル **9** 保存

7.3 Google API の認証設定を行う

管理サイトから Google Workspace アカウントを会社用メールアドレスに関連付け、JSON ファイルの作成と認証を行います。

- 🔗 ゼロタッチ端末を Google Workspace アカウントで利用する場合は、本製品と Google Workspace アカウントの連携設定が必要です。Google API の認証設定後に Google Workspace アカウントの連携設定はできません。そのため、必ずあらかじめ以下の操作を行ってください。

🔗 「トークンを発行する」173 ページ

🔗 「Google Workspace アカウントを登録する」179 ページ

7.3.1 メールアドレスを Google アカウントとして登録する

会社または組織用のメールアドレスを Google アカウントとして利用できます。

- 🔗 管理対象端末全台分を行う必要はありません。管理用のメールアドレスを 1 つ用意してください。管理者個人のメールアドレスではなく、管理担当部署のメーリングリストなどを推奨します。
- 🔗 利用する Google アカウントがすでにブラウザーに登録されている場合は、本操作は不要です。

[1] [設定] → [Android] → [ゼロタッチ登録] → [利用登録] をクリックします。

[2] [Google アカウント登録] をクリックします。

⇒ Google アカウント作成画面が表示されます。

- 【3】 「姓」「名」を入力します。
- 【4】 [次へ] をクリックします。

- 【5】 「生年月日」「性別」を入力します。
- 【6】 [次へ] をクリックします。

- 【7】 企業ドメインの「メールアドレス」を入力します。
- ✏️ (A) [Gmail アドレスを取得する] は、クリックしないでください。
- 【8】 [次へ] をクリックします。

- 【9】 「パスワード」「確認」を入力します。
- 【10】 [次へ] をクリックします。

【11】 「電話番号」を入力します。

【12】 [次へ] をクリックします。



【13】 [次へ] をクリックします。



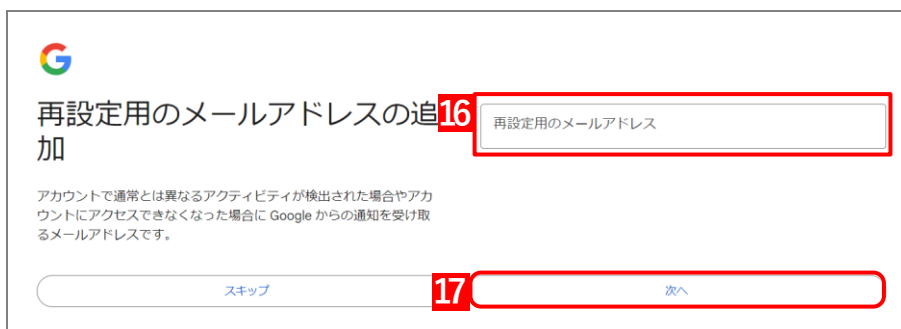
【14】 「コードを入力」に、手順【7】で入力したメールアドレス宛に送られた確認コードを入力します。

【15】 [次へ] をクリックします。



【16】 「再設定用のメールアドレス」を入力します。

【17】 [次へ] をクリックします。



【18】 利用規約を確認して、[同意する] をクリックします。



プライバシーと利用規約

Google アカウントを作成するには、以下の[利用規約](#)への同意が必要です。

また、アカウントを作成する際は、Google の[プライバシー ポリシー](#)と[日本向けのプライバシーに関するお知らせ](#)に記載されている内容に沿って、ユーザーの情報が処理されます。次の重要な点をご確認ください。

お客様が Google を利用した場合に Google が処理するデータ

- Google アカウントを設定する際に、登録した名前、メールアドレス、電話番号などの情報が Google に保存されます。
- Google のサービスを利用して、Gmail でメッセージを作成したり YouTube の動画についてコメントを投稿したりすると、お客様が作成した情報が Google に保存されます。
- たとえば、Google マップでレストランを検索したり、YouTube で動画を再生したりすると、再生された動画、デバイス ID、IP アドレス、Cookie データ、現在地などの情報を始め、そのアクティビティに関する情報が Google で処理されます。
- こうした情報は、Google サービス（広告、アナリティクス、YouTube 動画プレーヤーなど）を使用するアプリやサイトをお客様が使用した場合にも処理されます。

Google がお客様の情報を処理する理由

Google では、[ポリシー](#)に明記されている以下の目的でこのデータを処理します。

- Google サービスにおいて、カスタマイズされたより有用なコンテンツ（たとえばより適切な検索結果）を提供できるようにするため。
- サービスの質を向上させ、新しいサービスを開発するため。
- アカウントの設定内容に応じて、Google のサービスだけでなく、Google のサービスを利用しているサイトやアプリでも、パーソナライズド広告を配信するため。
- 詐欺や不正使用を防いでセキュリティを向上するため。
- 分析や測定を通じてサービスがどのように利用されているかを把握するため。Google には、サービスがどのように利用されているかを測定するパートナーもいます。こうした広告パートナーや測定パートナーについての説明を[ご覧ください](#)。

データを統合する

また Google は、こうした目的を達成するため、Google のサービスやお使いのデバイス全体を通じてデータを統合します。アカウントの設定内容に応じて、たとえば検索や YouTube を利用した際に得られるユーザーの興味や関心の情報に基づいて広告を表示したり、膨大な検索クエリから収集したデータを使用してスベリ訂正モデルを構築し、すべてのサービスで使用したりすることがあります。

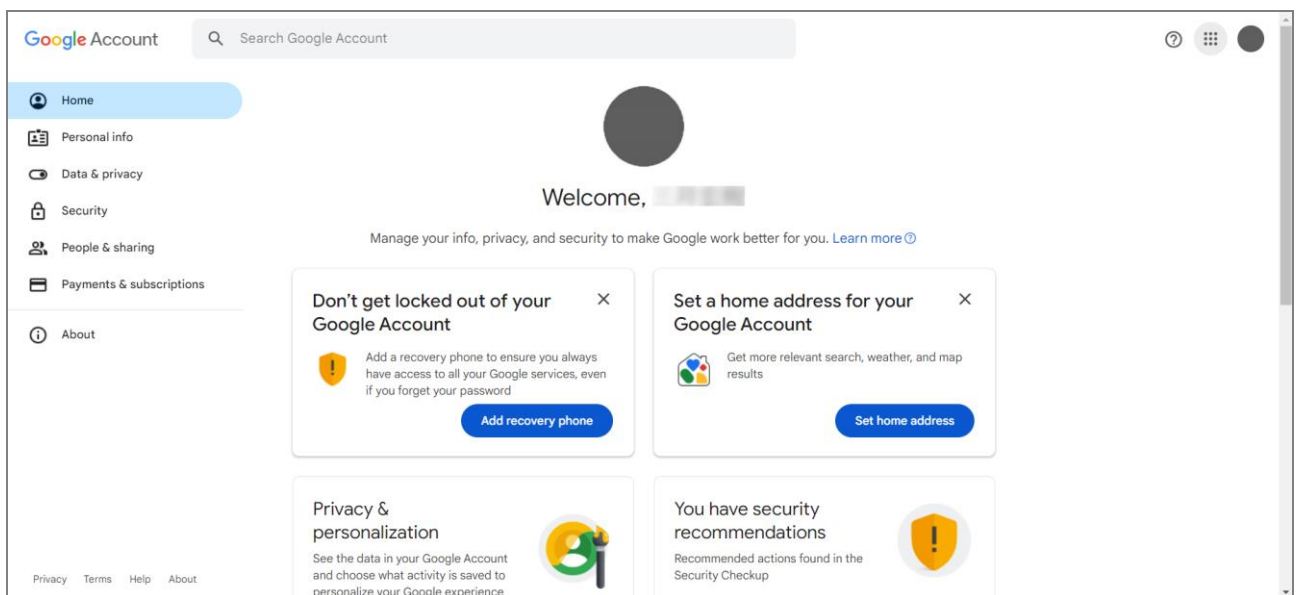
設定は自分で管理できます

アカウントの設定に応じて、このデータの一部はご利用の Google アカウントに関連付けられることがあります。Google はこのデータを個人情報として取り扱い、Google がこのデータを収集して使用する方法は、下の [\[その他の設定\]](#) で管理できます。設定の変更や同意の取り消しは、[アカウント情報](#)（myaccount.google.com）でいつでも行えます。

[その他の設定](#) ▾

キャンセル
18
同意する

⇒ 以下の画面が表示されます。登録が完了しました。



7.3.2 ゼロタッチポータルにログインする

登録した Google アカウントを端末の購入元に連絡し、ゼロタッチポータルにログインできるように依頼します。

🔗 詳細については、端末の購入元にお問い合わせください。

7.3.3 利用規約に同意する

ゼロタッチポータルにログインして、利用規約に同意してください。

【1】 [ゼロタッチポータル] をクリックします。



【2】 登録した Google アカウントを選択します。



【3】 「I accept the Terms of Service.」 にチェックを入れます。

【4】 「同意する」 をクリックします。

Terms of Service

Android Zero Touch End Customer Agreement

1.1 Services Use. Subject to this Agreement, during the Term, you, the Customer may: (a) use the Services, and (b) use any Software provided by Google as part of the Services. Customer may not sublicense or transfer these rights except as permitted under the Assignment section of the Agreement

1.2 Console. Google will provide the Services to Customer. As part of receiving the Services, Customer will have access to the Admin Console, through which Customer may administer the Services.

1.3 Facilities. All facilities used to store and process an Application and Customer Data will adhere to reasonable security standards no less protective than the security standards at facilities where Google processes and stores its own information of a similar type. Google has implemented at least industry standard systems and procedures to (i) ensure the security and confidentiality of an Application and Customer Data, (ii) protect against anticipated threats or hazards to the security or integrity of an Application and Customer Data, and (iii) protect against unauthorized access to or use of an Application and Customer Data.

immediately. If Customer does not agree to the revised Agreement, please stop using the Services. Google will not any modification to this Agreement to the Terms of Use.

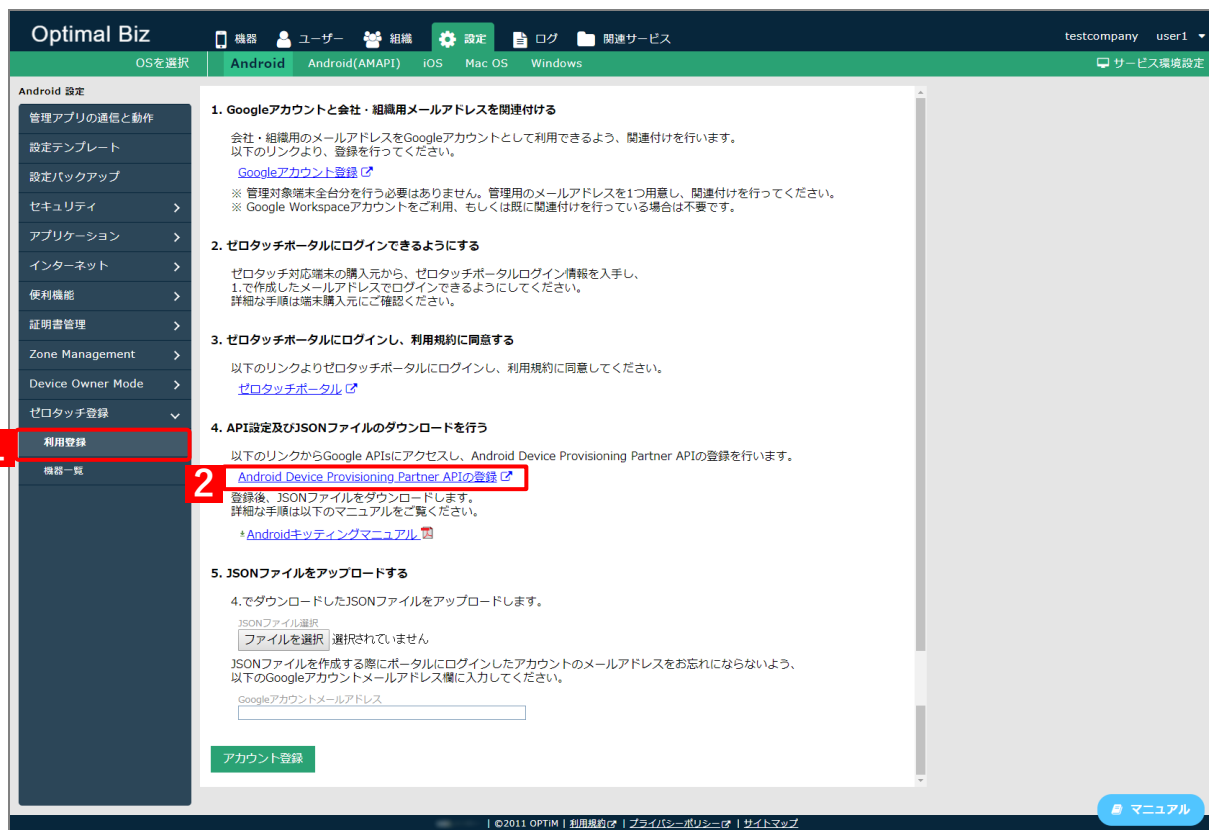
3 ☐ I accept the Terms of Service.

4 同意する 同意しない

7.3.4 API 設定および JSON ファイルのダウンロードを行う

Google Cloud Platform で Android Device Provisioning Partner API の登録を行い、JSON ファイルをダウンロードします。

- 【1】 [設定] → [Android] → [ゼロタッチ登録] → [利用登録] をクリックします。
- 【2】 [Android Device Provisioning Partner API の登録] をクリックします。



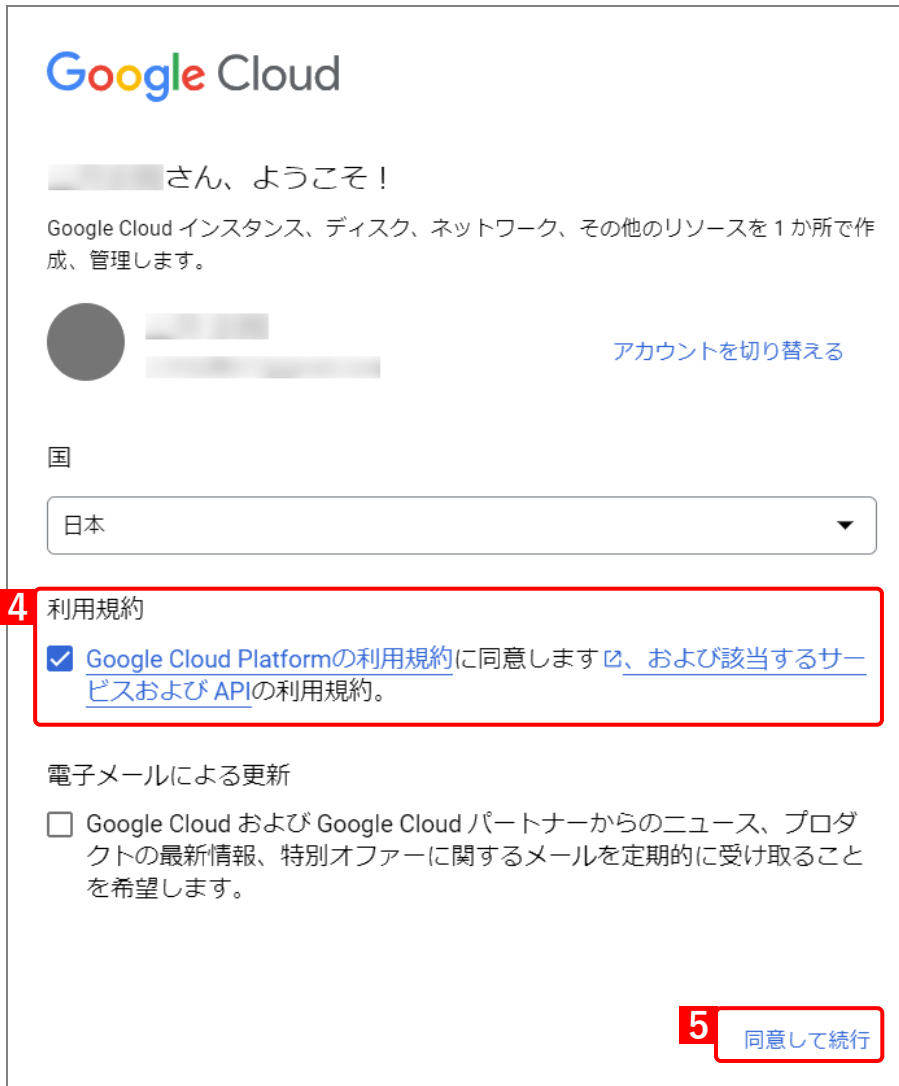
- 【3】 関連付けした「メールアドレス」を選択します。



【4】「利用規約」にチェックを入れます。

【5】「同意して続行」をクリックします。

 本画面は、初回ログイン時のみ表示されます。



Google Cloud

■■■■さん、ようこそ！

Google Cloud インスタンス、ディスク、ネットワーク、その他のリソースを1か所で作成、管理します。

 ■■■■ [アカウントを切り替える](#)

国

日本 ▼

4 利用規約

☒ [Google Cloud Platformの利用規約](#)に同意します [☞](#)、および該当するサービスおよびAPIの利用規約。

電子メールによる更新

☐ Google Cloud および Google Cloud パートナーからのニュース、プロダクトの最新情報、特別オファーに関するメールを定期的に受け取ることを希望します。

5 [同意して続行](#)

【6】「プロジェクトを作成」をクリックします。



Google Cloud

プロジェクトを選択 ▼

リソース、ドキュメント、製品などを検索 (/) [検索](#)

API ウィザードを有効にする

❶ このページを表示するには、プロジェクトを選択してください。

6 [プロジェクトを作成](#)

【7】 任意の「プロジェクト名」を入力します。

【8】 「作成する」をクリックします。

Google Cloud

リソース、ドキュメント、製品などを検索 (/)

新しいプロジェクト

割り当てに残っているプロジェクトは12件です。プロジェクトの増加または削除をリクエストしてください。詳細

クォータの管理

7 プロジェクト名 *

プロジェクトID: , 後で変更することはできません。編集

位置 *

No organization ブラウズ

親組織またはフォルダ

8 作成する キャンセル

【9】 「次」をクリックします。

Google Cloud

プロジェクトを選択

リソース、ドキュメント、製品などを検索 (/)

APIへのアクセスを有効にする

1 プロジェクトの確認

2 APIを有効にする

プロジェクト「」に変更を加えます。これが使用する予定のプロジェクトでない場合は、上記のプロジェクトセレクターを使用して別のプロジェクトを選択または作成できます。

9 次

【10】 [有効にする] をクリックします。

⇒ Android Device Provisioning Partner API が有効になります。

**【11】 [Google Cloud] をクリックします。**

【12】 [API とサービス] → [有効な API とサービス] をクリックします。



【13】 [認証情報] をクリックします。



【14】 [同意画面を構成] をクリックします。



【15】 「作成」 をクリックします。

- ✎ (A) 「User Type」 を選択する必要はありません。「User Type」の詳細については、Google にお問い合わせください。

OAuth 同意画面

アプリをどのように構成および登録するか（ターゲット ユーザーを含む）を選択します。プロジェクトに関連付けることができるアプリは 1 つだけです。

(A)

User Type

☐ 内部 ⓘ

組織内のユーザーのみが使用できます。確認を受けるためにアプリを送信する必要はありません。[ユーザーの種類の詳細](#)

☐ 外部 ⓘ

Google アカウントを持つすべてのテストユーザーが使用できます。アプリはテストモードで起動し、アプリを使用できるのは、テストユーザーのリストに追加されたユーザーに限られます。アプリを本番環境に移す準備ができれば、アプリの確認が必要となる場合があります。[ユーザーの種類の詳細](#)

15

作成

Google の OAuth に関する[ご意見やご要望をお聞かせください](#)。

- 【16】 「アプリ名」に「Optimal Biz」と入力します。
- 【17】 「ユーザー サポートメール」をクリックして、メールアドレスを選択します。
- 【18】 「承認済みドメイン」に「optim.co.jp」と入力して、キーボードの〈Enter〉キーを押します。
- ✎ 〈Enter〉キーを押したあと、自動的にドメイン名が変更される場合があります。
- 【19】 「デベロッパーの連絡先情報」にメールアドレスを入力します。
- 【20】 「保存して次へ」をクリックします。

アプリ登録の編集

1 OAuth 同意画面 — 2 スコープ — 3 テストユーザー — 4 概要

アプリ情報

この情報は同意画面に表示されるため、デベロッパーのユーザー情報とデベロッパーへの問い合わせ方法をエンドユーザーが把握できます。

16 アプリ名 *

同意を求めるアプリの名前

17 ユーザー サポートメール *

同意に関して問い合わせる際に使用します。 [詳細](#)

アプリのロゴ

これがお客様のロゴです。このロゴは、ユーザーがアプリを認識できるよう、OAuth 同意画面に表示されます。

ロゴをアップロードした後に、アプリを送信して確認を受ける必要があります。ただし、アプリが内部でのみ使用するように構成されている場合や、アプリの公開ステータスが「テスト中」の場合は、送信は不要です。 [詳細](#)

アップロードするロゴ ファイル [参照](#)

ユーザーがアプリを認識できるように、同意画面に 1 MB 以下の画像をアップロードします。使用できる画像形式は、JPG、PNG、BMP です。最適な結果を得るには、ロゴを 120 x 120 ピクセルの正方形にすることをおすすめします。

アプリのドメイン

デベロッパーとユーザーを保護するために、Google では、OAuth を使用するアプリのみに認可ドメインの使用を許可しています。同意画面では、次の情報がユーザーに表示されます。

アプリケーションのホームページ

ホームページへのリンクをユーザーに提供します

[アプリケーション プライバシー ポリシー] リンク

一般公開のプライバシー ポリシーへのリンクをユーザーに提供します

[アプリケーション利用規約] リンク

一般公開の利用規約へのリンクをユーザーに提供します

18 承認済みドメイン ?

同意画面または OAuth クライアントの構成でドメインが使用されている場合は、ここで事前登録する必要があります。アプリの検証が必要な場合は、[Google Search Console](#) にアクセスして、ドメインが承認済みであるかどうかを確認してください。承認済みドメインの上限の [詳細](#) をご覧ください。

+ ドメインの追加

デベロッパーの連絡先情報

19 メールアドレス *

これらのメールアドレスは、プロジェクトの変更について Google からお知らせするために使用します。

20 保存して次へ キャンセル

【21】 [保存して次へ] をクリックします。

 スコープの追加は、不要です。

アプリ登録の編集

OAuth 同意画面

 —

2 スコープ

 —

3 テストユーザー

 —

4 概要

スコープとは、アプリのユーザーに許可を求める権限を表します。スコープを定めることで、プロジェクトからユーザーの Google アカウントにある特定の種類のプライベートなユーザーデータへのアクセスが可能になります。[詳細](#)

スコープを追加または削除

非機密のスコープ

API ↑	範囲	ユーザー向けの説明
表示する行がありません		

🔒 機密性の高いスコープ

機密性の高いスコープとは、プライベート ユーザーデータへのアクセスをリクエストするスコープです。

API ↑	範囲	ユーザー向けの説明
表示する行がありません		

🔒 制限付きのスコープ

制限付きのスコープとは、機密性の高いユーザーデータへのアクセスをリクエストするスコープです。

API ↑	範囲	ユーザー向けの説明
表示する行がありません		

21 保存して次へ

キャンセル

【22】 [保存して次へ] をクリックします。

 テストユーザーの追加は、不要です。

アプリ登録の編集

OAuth 同意画面

 —

スコープ

 —

3 テストユーザー

 —

4 概要

テストユーザー

公開ステータスが「テスト中」に設定されている間は、テストユーザーのみがアプリにアクセスできます。アプリの確認前の許可済みユーザー数の上限は 100 で、この上限はアプリの全期間でカウントされます。[詳細](#)

+ ADD USERS

≡ フィルタ

 プロパティ名または値を入力

?

ユーザー情報

表示する行がありません

22 保存して次へ

キャンセル

【23】 設定内容を確認して、[ダッシュボードに戻る] をクリックします。

⇒ OAuth 同意画面が表示されます。

アプリ登録の編集

✓ OAuth 同意画面

 —

✓ スcope

 —

✓ テストユーザー

 —

4 概要

OAuth 同意画面

編集

ユーザーの種類

外部

アプリ名

サポートメール

アプリのロゴ

指定されていません

[アプリケーションホームページ] リンク

指定されていません

[アプリケーションプライバシー ポリシー] リンク

指定されていません

指定されていません

承認済みドメイン

指定されていません

連絡先メールアドレス

スコープ

編集

API ↑

範囲

ユーザー向けの説明

表示する行がありません

テストユーザー

編集

ユーザー 0 人 (0 人がテストユーザー、残り 0 人) / ユーザーの上限数は 100 人

?

≡ フィルタ

プロパティ名または値を入力

?

ユーザー情報

表示する行がありません

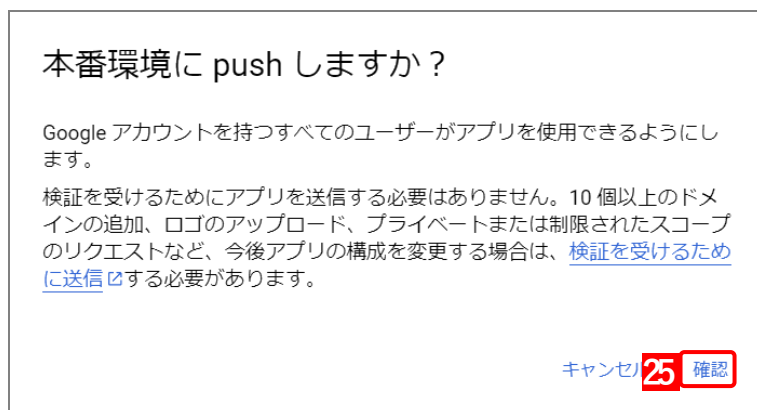
23

ダッシュボードに戻る

【24】 [アプリ公開] をクリックします。



【25】 メッセージを確認して、[確認] をクリックします。



【26】 公開ステータスが「本番環境」になっていることを確認します。

【27】 [認証情報] をクリックします。



【28】 「認証情報を作成」 をクリックします。

【29】 「OAuth クライアント ID」 を選択します。



【30】 「アプリケーションの種類」のプルダウンメニューから「ウェブアプリケーション」を選択します。



【31】 任意で「名前」を入力します。

【32】 「承認済みリダイレクト URI」の「URI を追加」をクリックします。

← OAuth クライアント ID の作成

クライアント ID は、Google の OAuth サーバーで個々のアプリを識別するために使用します。アプリが複数のプラットフォームで実行される場合、それぞれに独自のクライアント ID が必要になります。詳しくは、[OAuth 2.0 の設定](#)をご覧ください。OAuth クライアントの種類の[詳細](#)

アプリケーションの種類 *
ウェブアプリケーション

31 名前 *
ウェブクライアント 1

OAuth 2.0 クライアントの名前。この名前はコンソールでクライアントを識別するためにのみ使用され、エンドユーザーには表示されません。

1 下で追加する URI のドメインは、[OAuth 同意画面に承認済みドメイン](#)として自動で追加されます。

承認済みの JavaScript 生成元 ⓘ
ブラウザからのリクエストに使用します

+ URI を追加

承認済みのリダイレクト URI ⓘ
ウェブサーバーからのリクエストに使用します

32 + URI を追加

注: 設定が有効になるまで 5 分から数時間かかることがあります

作成 キャンセル

【33】 「URI」 に「https://biz3.optim.co.jp/company1/android_emm_zero_touch_auth/callback」と入力します。（※「company1」に当たる部分には、企業コードを入力してください。）

警告メッセージが表示された場合は、手順【18】で「承認済みドメイン」を正しく入力しているか確認してください。

【34】 「作成」 をクリックします。

[←](#) OAuth クライアント ID の作成

クライアント ID は、Google の OAuth サーバーで個々のアプリを識別するために使用します。アプリが複数のプラットフォームで実行される場合、それぞれに独自のクライアント ID が必要になります。詳しくは、[OAuth 2.0 の設定](#)をご覧ください。OAuth クライアントの種類の[詳細](#)

アプリケーションの種類*
ウェブアプリケーション

名前*
ウェブクライアント 1

OAuth 2.0 クライアントの名前。この名前はコンソールでクライアントを識別するためにのみ使用され、エンドユーザーには表示されません。

下で追加する URI のドメインは、[OAuth 同意画面に承認済みドメイン](#)として自動で追加されます。

承認済みの JavaScript 生成元 ⓘ
ブラウザからのリクエストに使用します

+ URI を追加

承認済みのリダイレクト URI ⓘ
ウェブサーバーからのリクエストに使用します

URI 1*

+ URI を追加

注: 設定が有効になるまで 5 分から数時間かかることがあります

34 作成

キャンセル

【35】 [OK] をクリックします。

OAuth クライアントを作成しました

クライアント ID とシークレットには、常に API とサービスの認証情報からアクセスできます

1 [OAuth 同意画面](#)が確認されるまで、OAuth では[プライベートデータにかかわるスコープのログイン](#)が 100 回までに制限されます。公開には確認プロセスが必要になる場合があり、確認プロセスには数日を要する場合があります。

クライアント ID			
クライアント シークレット			
作成日	2024年9月12日 17:47:38 GMT+9		
ステータス	✔ 有効		

📄 JSON をダウンロード

35 **OK**

【36】 ダウンロードアイコンをクリックして、JSON ファイルをダウンロードします。

Google Cloud

スラッシュ (/) を使用してリソース、ドキュメント、プロダクトなどを検索

検索

API API とサービス

認証情報

有効な API とサービス

ライブラリ

認証情報

OAuth 同意画面

ページの使用に関する契約

認証情報を作成

削除

削除した認証情報を復元

有効な API にアクセスするための認証情報を作成します。 [詳細](#)

API キー

名前

作成日 ↓

制限

操作

表示する API キーがありません

OAuth 2.0 クライアント ID

名前

作成日 ↓

種類

クライアント ID

ウェブクライアント1

2024/09/12

ウェブアプリケーション

サービス アカウント

メール

名前 ↑

操作

表示するサービス アカウントがありません

[サービスアカウントを管理](#)

36

7.3.5 JSON ファイルをアップロードする

Google APIs でダウンロードした JSON ファイルを管理サイトにアップロードし、機器情報を登録します。

- 【1】 [設定] → [Android] → [ゼロタッチ登録] → [利用登録] をクリックします。
- 【2】 [ファイル選択] をクリックし、ダウンロードした JSON ファイルを選択します。
- 【3】 「Google アカウントメールアドレス」を入力します。
- 【4】 [アカウント登録] をクリックします。

⇒ Google のログイン画面が表示されます。



- 【5】 「メールアドレスまたは電話番号」に登録した Google アカウントを入力します。
- 【6】 [次へ] をクリックします。



【7】 「パスワード」を入力します。

【8】 「次へ」 をクリックします。

⇒警告画面が表示されます。



【9】 「詳細」 をクリックします。



【10】 [ドメイン（安全でないページ）に移動] をクリックします。

Google アカウントが「XXXXX@xxxxx.co.jp」の場合は、ドメインに「xxxxx.co.jp」と表示されます。



A warning screen from the Google Play Store. At the top left is a red triangle with a white exclamation mark. The main heading is 'このアプリは Google で確認されていません' (This app is not verified by Google). Below it, text explains that the app is requesting access to private Google account information and that the user should not use it until verified. A link for developers to request review is provided. At the bottom, there is a red box around the text '(安全ではないページ) に移動' (Move to (not a safe page)), which is the target for step 10.

このアプリは Google で確認されていません

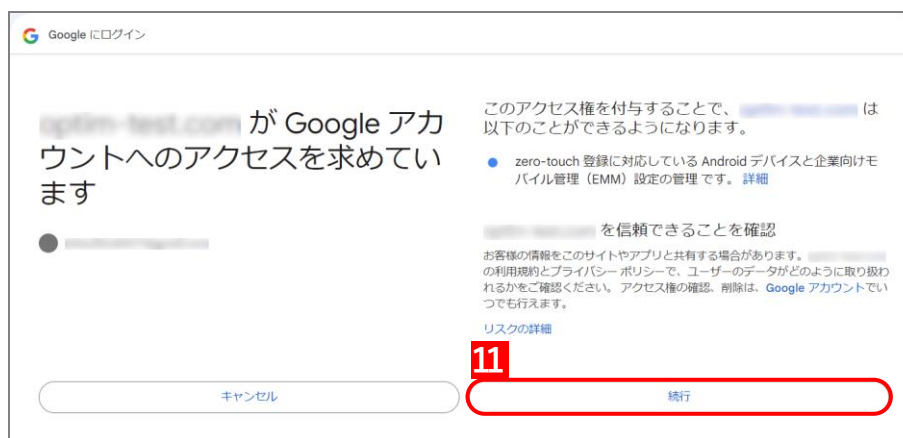
アプリが、Google アカウントのプライベートな情報へのアクセスを求めています。デベロッパー（ ）と Google によって確認されるまで、このアプリを使用しないでください。

デベロッパーの場合は、この画面が表示されないようにするには審査リクエストを送信してください。 [詳細](#)

詳細を非表示 [安全なページに戻る](#)

リスクを理解し、デベロッパー（ ）を信頼できる場合のみ、続行してください。

10 (安全ではないページ) に移動

【11】 [続行] をクリックします。

A Google login screen titled 'Google にログイン' (Sign in to Google). It asks for access to the Google account. On the right, it lists permissions: zero-touch enrollment for Android devices and EMM settings management. A red box around the '続行' (Continue) button is the target for step 11.

Google にログイン

が Google アカウントへのアクセスを求めています

このアクセス権を付与することで、 は以下のことができるようになります。

- zero-touch 登録に対応している Android デバイスと企業向けモバイル管理 (EMM) 設定の管理 です。 [詳細](#)

を信頼できることを確認

お客様の情報をこのサイトやアプリと共有する場合があります。 の利用規約とプライバシー ポリシーで、ユーザーのデータがどのように取り扱われるかをご確認ください。 アクセス権の確認、削除は、 Google アカウントでいつでも行えます。

[リスクの詳細](#)

[キャンセル](#) **11** [続行](#)

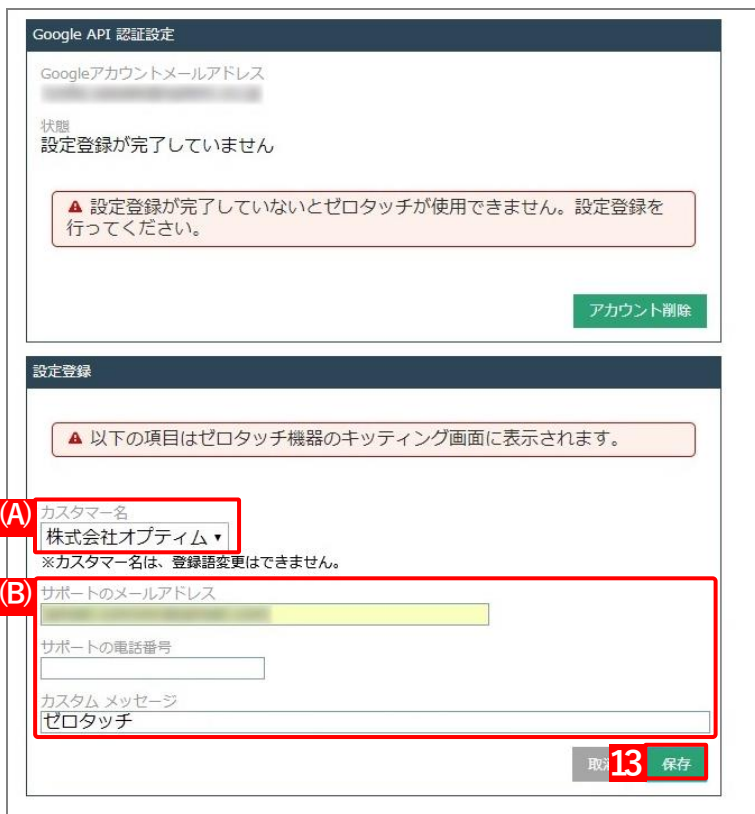
【12】設定登録を行います。「新規作成」をクリックします。

- ❏ 設定登録を行わないと、ゼロタッチ端末の同期処理ができません。(B)「状態」に「設定登録が完了していません」と表示されます。
- ❏ (A)「Google アカウントメールアドレス」には、手順【4】で選択した Google アカウントが表示されます。



【13】「保存」をクリックします。

- ❏ (A)「カスタマー名」は変更できません。(B)「サポートのメールアドレス」「サポートの電話番号」「カスタムメッセージ」は設定登録時にゼロタッチポータルで設定した内容が表示されます。変更する場合は、変更内容を入力してください。



⇒ 設定登録を行うと、利用登録画面が以下のように表示されます。

✎ (A) 「状態」に「使用可」と表示されます。

✎ アカウント削除する場合は、(B) [アカウント削除] をクリックします。

✎ 設定登録時にゼロタッチポータルで設定した内容が表示されます。変更する場合は、(C) [編集] をクリックします。ただし、(D) 「カスタマー名」は変更できません。

Google API 認証設定

Google アカウントメールアドレス

(A) 状態
使用可

(B) アカウント削除

設定登録

(D) カスタマー名
Optim

サポートのメールアドレス

サポートの電話番号

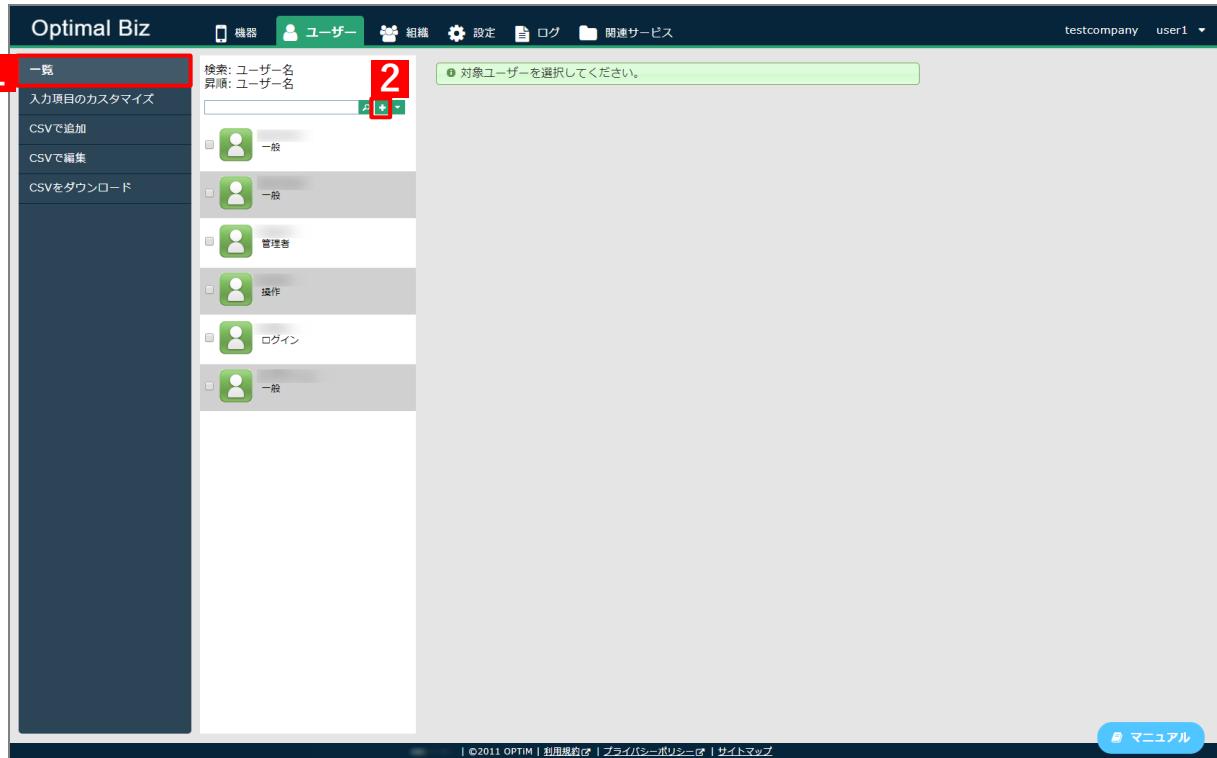
カスタム メッセージ

(C) 編集

7.4 ユーザーを作成する

以下の手順で、ユーザーを作成します。

- 【1】** [ユーザー] → [一覧] をクリックします。
- 【2】**  をクリックします。



【3】「名前」に任意の名前を入力します。

 その他の入力および設定項目の詳細については、以下を参照してください。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「ユーザー」－「一覧」－「ユーザーの作成」

【4】「保存」をクリックします。

⇒ユーザーが作成されます。

 新規作成

管理

管理情報 - 編集

3

名前

フリガナ

姓

名

ユーザーID

メールアドレス

ユーザー種別

☒ 管理者 (全ての操作ができます)

☐ 操作

☐ 閲覧者 (変更操作ができません)

☐ ロック・ワイプ

☐ ログイン (個別に権限を設定)

☒ 一般 (ログインできません)

組織

所属 (部)

(未分類)

役職

(未分類)

機器認証制限

☒ 制限なし

☐ 制限あり 台

☐ 認証禁止

パスワード

パスワード(再入力)

4

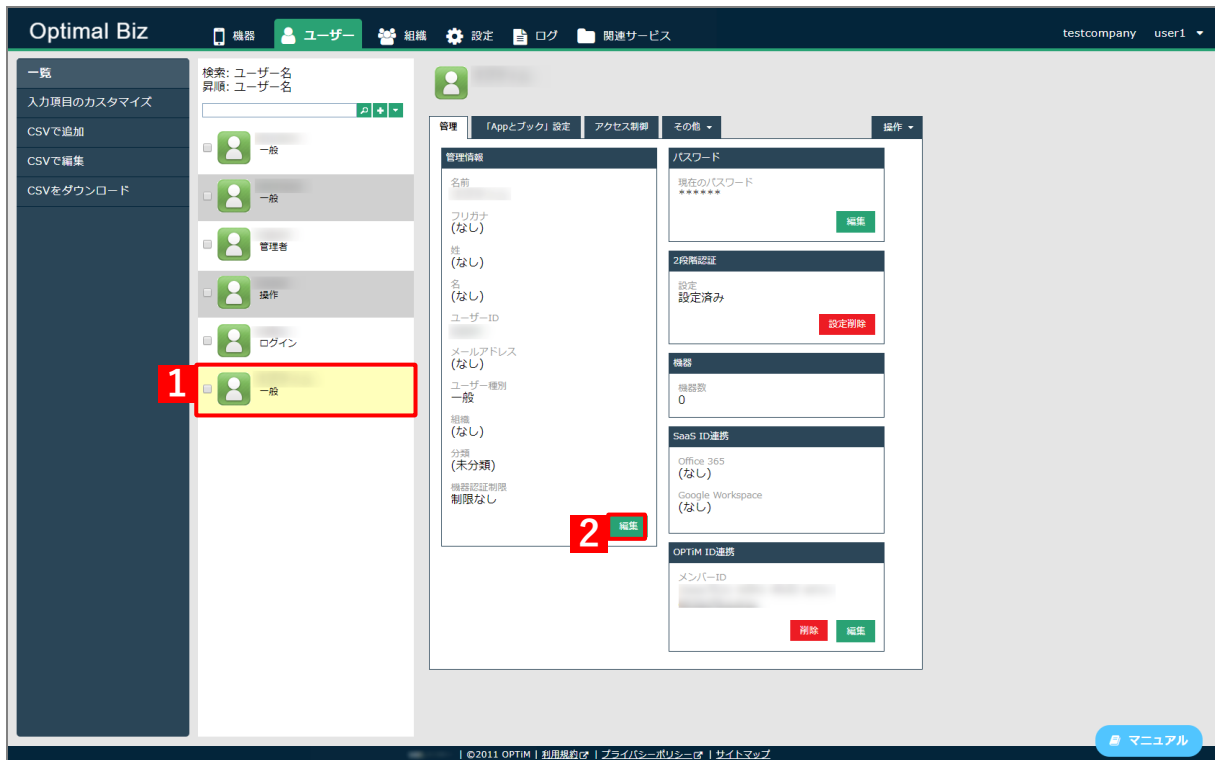
保存

7.4.1 既存のユーザーに Google Workspace アカウントを登録する

既存のユーザーに対して Google Workspace アカウントを登録するには、以下の操作を行います。

🔗 Google Workspace アカウントが登録されていない場合は、キッティング時のライセンス認証に失敗します。

- 【1】** [ユーザー] → [一覧] → 一覧から対象ユーザーを選択します。
- 【2】** [編集] をクリックします。



【3】 「メールアドレス」 に Google Workspace アカウントを入力します。

【4】 「保存」 をクリックします。

⇒ ユーザーにメールアドレスが登録されます。

The screenshot shows the '管理' (Management) section with the '「Appとブック」設定' (App and Book Settings) tab selected. The '管理情報 - 編集' (Management Information - Edit) form is displayed. The 'メールアドレス' (Email Address) field is highlighted with a red box and labeled '3'. The '保存' (Save) button is highlighted with a red box and labeled '4'. The form includes fields for Name, Surname, Last Name, User ID, Password, 2-step verification, Device, SaaS ID linkage, and OPTIM ID linkage. The 'ユーザー種別' (User Type) section shows options for Administrator, Operator, Viewer, Lock/Unlock, Login, and General. The '機器認証制限' (Device Authentication Limit) section shows options for No Limit, Limit, and Prohibit Authentication.

7.5 ゼロタッチ登録（Google Workspace アカウント利用）でキッティングする

以下の手順で、ゼロタッチ登録による端末のキッティングを行います。

- 管理サイトの「アプリケーション禁止」で「禁止するアプリケーション」、および「アプリケーション非表示」に「Google Play 開発者サービス (com.google.android.gms)」を設定していると、正常にキッティングが完了できない場合があります。以下を参照して、事前に設定を解除してから、キッティングを行ってください。

🔍『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「アプリケーション」 - 「アプリケーション禁止」

🔍『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「アプリケーション非表示」

- ✎手順【9】の画面は、機種や OS によって表示されるタイミングが異なる場合があります。

【1】 [始める] をタップします。

- ✎SIM を挿入している場合、モバイルネットワーク接続が開始されます。



【2】 [スキップ] をタップします。

- ✎モバイルネットワークを利用する場合は、SIM を挿入してください。



【3】 接続したい Wi-Fi の SSID をタップして、Wi-Fi に接続してください。

⇒ ネットワーク接続が開始されます。

- ☑必ずネットワークに接続して、以降の手順を進めてください。
ネットワークに接続していない場合は、ゼロタッチ登録サーバーと同期したとき端末が初期化されます。

🔑 「ゼロタッチ登録サーバーに同期する」 224 ページ

- ☑モバイルネットワークを利用する場合は、(A) [セットアップ時にモバイルネットワークを使用する] をタップします。表示されるポップアップのメッセージを確認してください。



【4】 [次へ] をタップします。



【5】 [同意して続行] をタップします。



【6】 [次へ] をタップします。

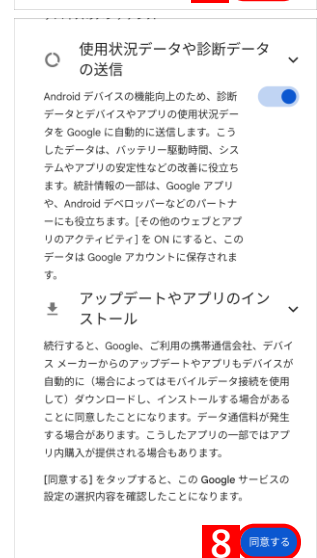


【7】 [もっと見る] をタップします。

✎端末によっては [もっと見る] が数回表示されます。[同意する] が表示されるまで、[もっと見る] をタップします。



【8】 [同意する] をタップします。



【9】 [OK] をタップします。**【10】 [スキップ] をタップします。****【11】 画面下部からスワイプします。**
⇒ ホーム画面に移動します。

【12】 [Optimal Biz] をタップします。

 ホーム画面にアイコンが表示されない場合は、アプリ一覧を確認してください。



【13】 [ライセンス認証] をタップします。



【14】 [OK] をタップします。



【15】 [OK] をタップします。

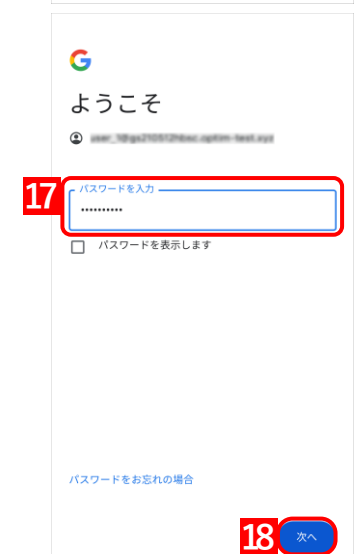


【16】 [次へ] をタップします。



【17】 パスワードを入力します。

【18】 [次へ] をタップします。



【19】 [同意する] をタップします。

✎ Android 12 の場合は、すでにセットアップされている旨のメッセージが表示されるので、確認してください。

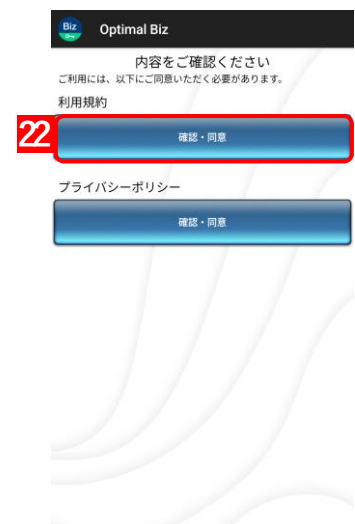


【20】 [ライセンス認証] をタップします。



【21】 [OK] をタップします。

【22】 利用規約の [確認・同意] をタップします。

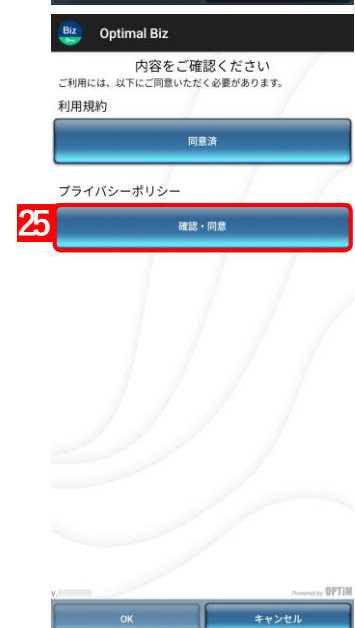


【23】 「利用規約に同意する」にチェックを入れます。

【24】 [OK] をタップします。



【25】 プライバシーポリシーの [確認・同意] をタップします。



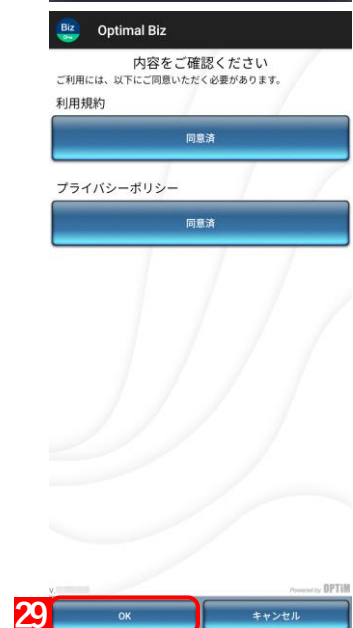
- 【26】** ユーザーデータについて確認して、[プライバシーポリシー] をタップします。



- 【27】** 「プライバシーポリシーに同意する」にチェックを入れます。
【28】 [OK] をタップします。

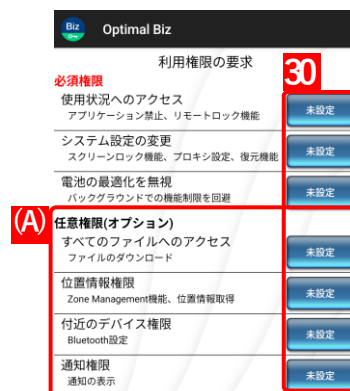
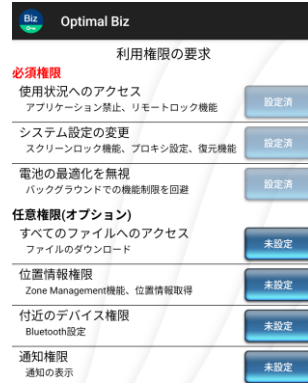
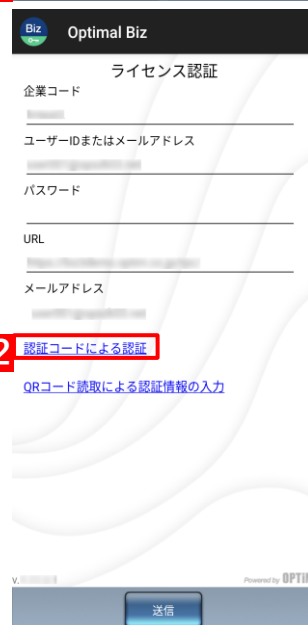


- 【29】** [OK] をタップします。
 ⇒ 権限要求画面が表示されます。



【30】画面の案内に従って設定を行ってください。

- ✎ Android 11 以上でエージェントバージョン 9.19.0 以上の場合、
(A) 任意権限に「すべてのファイルへのアクセス」が表示されます。条件を満たしていない場合は、「ストレージ権限」が表示されます。
- ✎ Android 12 以上でエージェントバージョン 9.14.0 以上の場合、
(A) 任意権限に「付近のデバイス権限」が表示されます。
- ✎ Android 13 以上でエージェントバージョン 9.16.0 以上の場合、
(A) 任意権限に「通知権限」が表示されます。

**【31】 [OK] をタップします。****【32】 [認証コードによる認証] をタップします。**

【33】 「認証コード」を入力します。

- ☑ 認証コードは管理者にお問い合わせください。
- ✎ (A) 「企業コード」は、自動で入力されています。
- ✎ (B) [QR コード読取による認証情報の入力] をタップして、エージェント認証用 QR コードを読み取ると、「企業コード」、「認証コード」、「URL」が自動で入力されます。QR コードは、管理者にお問い合わせください。

【34】 [送信] をタップします。

⇒ ライセンス認証完了の画面が表示されます。

【35】 [OK] をタップします。

⇒ 初期登録画面が表示されます。

- ✎ 手順【36】～【38】の初期登録画面は、管理サイトでポータル表示を「表示」に設定している場合のみ表示されます。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「サービス環境設定」－「ポータル表示」

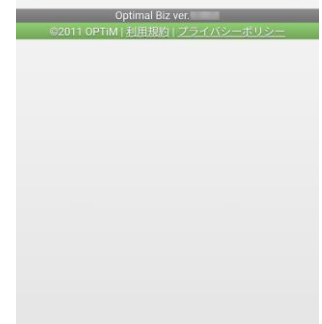
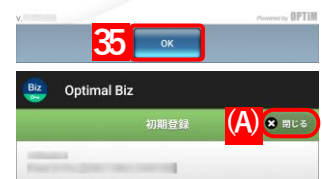
【36】 必要事項を選択、入力します。

【37】 [次へ] をタップします。

- ☑ あらかじめ、管理サイトの [入力項目のカスタマイズ] で入力項目を追加してください。追加するとき、「機器から入力可」にチェックを入れてください。チェックが入っていない場合は、項目が表示されません。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」－「入力項目のカスタマイズ」

- ☑ 管理サイトの [入力項目のカスタマイズ] で設定した内容により、画面に表示される「分類」と「自由入力項目」の内容が異なります。
- ✎ 機器情報の登録が不要の場合は、(A) [閉じる] をタップするか、端末の戻るボタンで画面を閉じてください。



【38】 [OK] をタップします。

⇒ キットニングおよびライセンス認証が完了しました。
以下に進んでください。

🔗 「ゼロタッチ登録サーバーに同期する」 224 ページ



7.6 ゼロタッチ登録サーバーに同期する

以下の手順でゼロタッチ登録サーバーとの同期を行い、管理サイトに端末の情報を表示させます。

- ✍ ネットワークに接続しないでキッティングを行った端末は、ゼロタッチ登録サーバーと同期すると初期化されます。必ずネットワークに接続してキッティングを行った端末で、ゼロタッチ登録サーバーと同期してください。
- ✍ 事前に各機能の設定を登録しておく、キッティングと同時に端末に機能が割り当てられます。機能の設定方法は、以下を参照してください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」

[1] [設定] → [Android] → [ゼロタッチ登録] → [機器一覧] をクリックします。

[2] [ゼロタッチ登録サーバ同期] をクリックします。

- ✍ ゼロタッチ機器一覧で表示されたゼロタッチ端末は、機器画面の機器一覧で、認証待ち機器として表示されます。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」 - 「一覧」 - 「機器一覧」

- ✍ ゼロタッチ機器一覧では、機器の削除はできないので、機器画面の機器一覧から削除してください。機器画面の機器一覧で削除したら、ゼロタッチ機器一覧からも削除されます。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」 - 「一覧」 - 「機器の個別削除」

- ✍ 機器画面からゼロタッチ端末の新規作成は行わないでください。

- ✍ (A) [IMEI/シリアル番号] をクリックすると、機器画面の機器一覧が表示されます。

Optimal Biz

OSを選択 Android Android(AMAPI) iOS Mac OS Windows

testcompany user1

サービス環境設定

Android 設定

管理アプリの通信と動作

設定テンプレート

設定バックアップ

セキュリティ

アプリケーション

インターネット

便利機能

証明書管理

Zone Management

Device Owner Mode

ゼロタッチ登録

利用登録

機器一覧

最終同期日時: 2018/10/18 11:31

ゼロタッチ登録サーバ同期

IMEI / シリアル番号	ユーザー名	メーカー	ゼロタッチ登録設定更新日時	ゼロタッチ登録サーバ同期日時
			2018/10/18 11:32	2018/10/18 11:32
			2018/10/18 11:32	2018/10/18 11:32
			2018/10/18 11:32	2018/10/18 11:32
			2018/10/18 11:32	2018/10/18 11:32
			2018/10/18 11:31	2018/10/18 11:31
			2018/10/18 11:31	2018/10/18 11:31
			2018/10/18 11:31	2018/10/18 11:31

© 2011 OPTIM | 利用規約 | プライバシーポリシー | サイトマップ

マニュアル

8 その他のキッティング方法

QR コードで端末のキッティングを行います。

注意

- キッティングを行うには、端末を工場出荷状態（初期設定画面）にする必要があります。
- Android Enterprise を利用している場合は、あらかじめ管理サイトに Google アカウントの登録が必要です。詳細については、以下を参照してください。
 「Google アカウントで Android Enterprise 連携を行う」 12 ページ
- Android 6.0 以上の端末で利用できます。ただし、端末によっては対応していない場合があります。詳細については、以下を参照してください。
 『Android エージェント対応端末表』
-  動作保証の対象は、Android 11 以上です。
- 従来版エージェントから切り替える場合は、端末を初期化してからキッティングを行ってください。

参考

- あらかじめ管理サイトで Android Enterprise の「アプリケーション配信」機能を設定しておく、キッティングの完了後、ライセンス認証と同時に特定のアプリを端末に配信できます。アプリケーション配信の詳細については、以下を参照してください。
 『Android Enterprise アプリケーション配信 手順書』の「アプリをインストールする」

8.1 QR コードでキッティングする

QR コードを読み込んで、キッティングができます。

8.1.1 QR コードを表示する

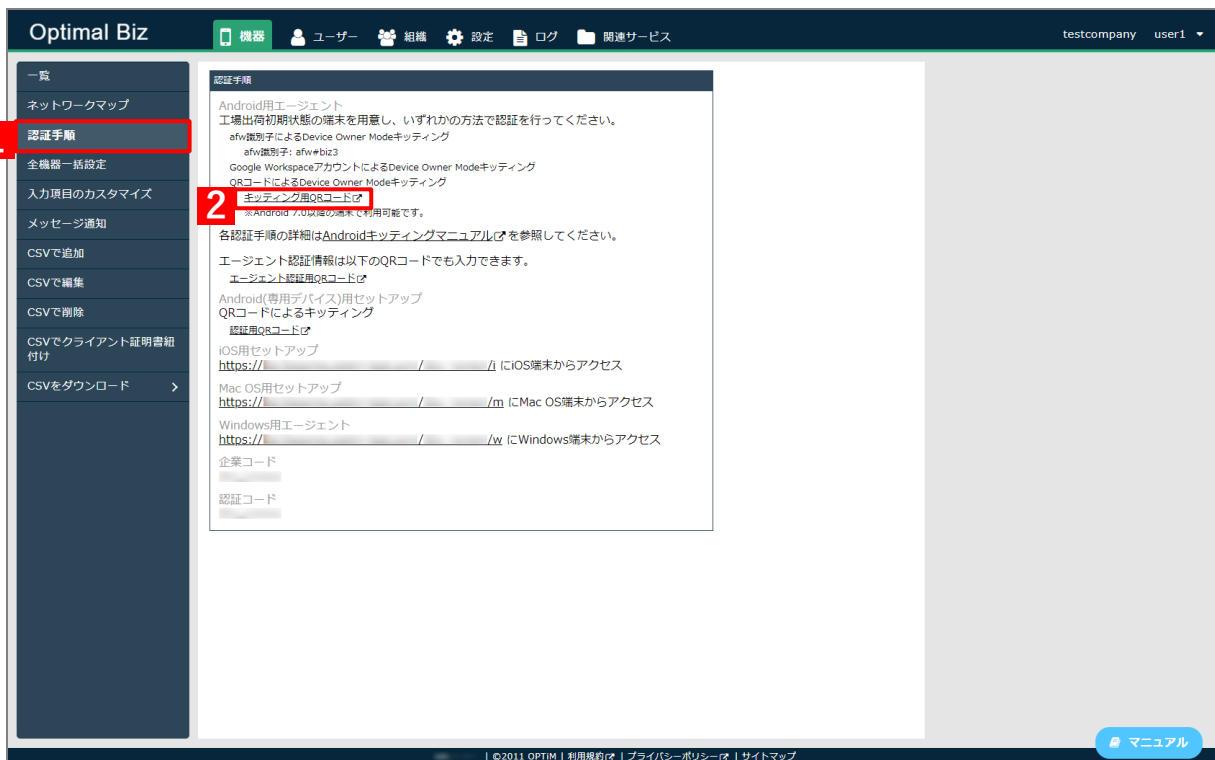
【1】 [機器] → [認証手順] をクリックします。

【2】 [キッティング用 QR コード] をクリックします。

⇒ Device Owner Mode キッティング用 QR コードが表示されます。

表示された QR コードは「QR コードを端末に読み込む」手順【2】で端末に読み込みます。

❑ エージェントのバージョンが上がると、QR コードも変更になります。最新の QR コードは管理サイトを確認してください。



8.1.2 QR コードを端末に読み込む

工場出荷状態（初期設定画面）から設定を行います。

🔧 管理サイトの「アプリケーション禁止」で「禁止するアプリケーション」、および「アプリケーション非表示」に「Google Play 開発者サービス (com.google.android.gms)」を設定していると、正常にキッティングが完了できない場合があります。以下を参照して、事前に設定を解除してから、キッティングを行ってください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「アプリケーション」 - 「アプリケーション禁止」

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「アプリケーション非表示」

📝 手順【8】の画面は、機種や OS によって表示されるタイミングが異なる場合があります。

【1】初期設定画面を 6 回タップします。

⇒ カメラが起動します。

🔧 [始める] や [緊急連絡]などを避けて、タップしてください。

🔧 SIM を挿入している場合、モバイルネットワーク接続が開始されます。

【2】以下を参照して、管理サイトで表示されている Device Owner Mode キッティング用 QR コードを読み込みます。

🔍 「QR コードを表示」 226 ページ



【3】 [スキップ] をタップします。

-  モバイルネットワークを利用する場合は、SIM を挿入してください。

【4】 接続したい Wi-Fi の SSID をタップして、Wi-Fi に接続してください。

⇒ ネットワーク接続が開始されます。

-  必ずネットワークに接続して、以降の手順を進めてください。
-  Android 13 以上、かつ有線 LAN を接続している場合でも Wi-Fi 接続が必要です。有線 LAN 接続を解除して Wi-Fi 接続を行ったあと、有線 LAN に接続し直してください。
-  モバイルネットワークを利用する場合は、(A) [セットアップ時にモバイルネットワークを使用する] をタップします。表示されるポップアップのメッセージを確認してください。

【5】 [次へ] をタップします。

【6】 [同意して続行] をタップします。



【7】 [次へ] をタップします。



【8】 [OK] をタップします。

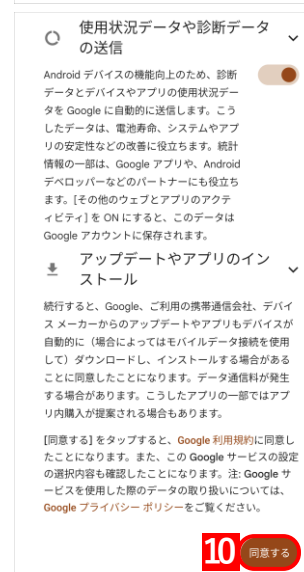
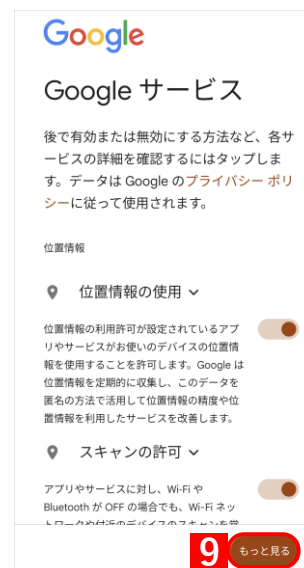


【9】 [もっと見る] をタップします。

✎端末によっては [もっと見る] が数回表示されます。[同意する] が表示されるまで、[もっと見る] をタップします。

【10】 [同意する] をタップします。

【11】 [スキップ] をタップします。



【12】 画面下部からスワイプします。

⇒ ホーム画面に移動します。

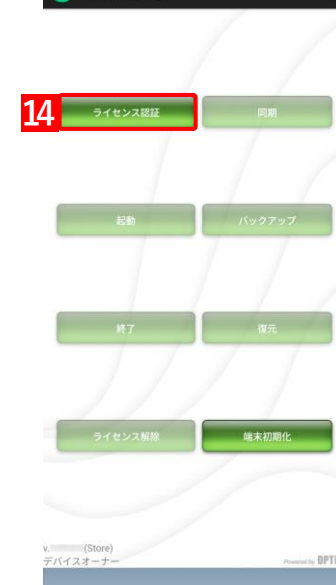


【13】 [Optimal Biz] をタップします。

📌ホーム画面にアイコンが表示されない場合は、アプリ一覧を確認してください。



【14】 [ライセンス認証] をタップします。



【15】「利用規約に同意する」にチェックを入れます。

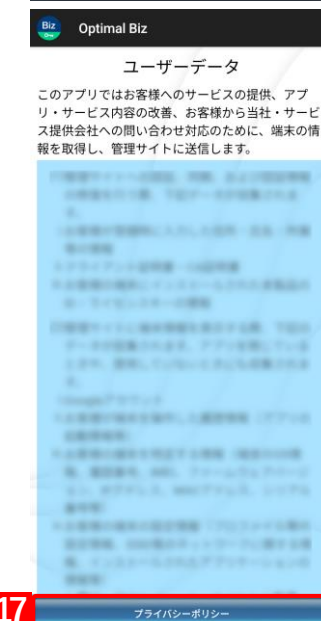
【16】[OK] をタップします。

【17】ユーザーデータについて確認して、[プライバシーポリシー] をタップします。

【18】「プライバシーポリシーに同意する」にチェックを入れます。

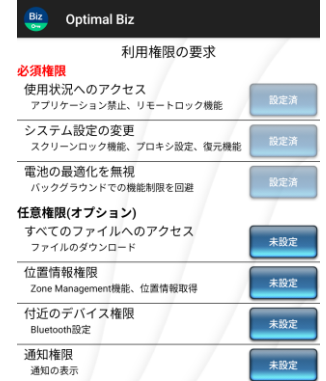
【19】[OK] をタップします。

⇒ 権限要求画面が表示されます。



【20】画面の案内に従って設定を行ってください。

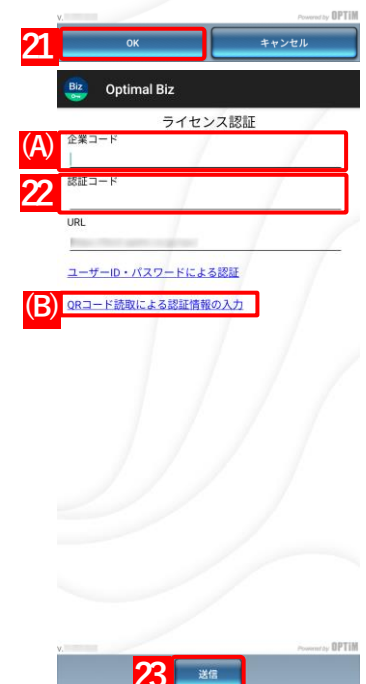
- ✎ Android 11 以上でエージェントバージョン 9.19.0 以上の場合、
(A) 任意権限に「すべてのファイルへのアクセス」が表示されます。条件を満たしていない場合は、「ストレージ権限」が表示されます。
- ✎ Android 12 以上でエージェントバージョン 9.14.0 以上の場合、
(A) 任意権限に「付近のデバイス権限」が表示されます。
- ✎ Android 13 以上でエージェントバージョン 9.16.0 以上の場合、
(A) 任意権限に「通知権限」が表示されます。

**【21】 [OK] をタップします。****【22】 「認証コード」を入力します。**

- ✎ 認証コードは管理者にお問い合わせください。
- ✎ (A) 「企業コード」は、自動で入力されています。
- ✎ (B) [QR コード読取による認証情報の入力] をタップして、エージェント認証用 QR コードを読み取ると、「企業コード」、「認証コード」、「URL」が自動で入力されます。QR コードは、管理者にお問い合わせください。

【23】 [送信] をタップします。

⇒ ライセンス認証完了の画面が表示されます。



【24】 [OK] をタップします。

⇒初期登録画面が表示されます。

- ☑手順【25】～【27】の初期登録画面は、管理サイトでポータル表示を「表示」に設定している場合のみ表示されます。

🔍『管理サイト リファレンスマニュアル』の「サービス環境設定」－「ポータル表示」

【25】 必要事項を選択、入力します。**【26】 [次へ] をタップします。**

- ☑あらかじめ、管理サイトの「入力項目のカスタマイズ」で入力項目を追加してください。追加するとき、「機器から入力可」にチェックを入れてください。チェックが入っていない場合は、項目が表示されません。

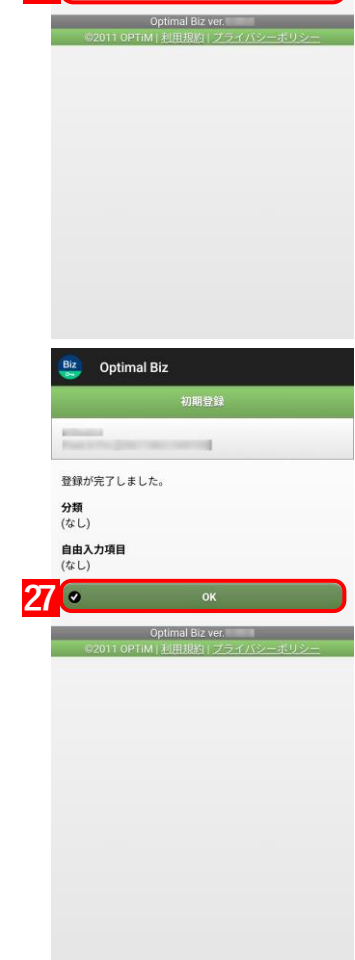
🔍『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」－「入力項目のカスタマイズ」

- ☑管理サイトの「入力項目のカスタマイズ」で設定した内容により、画面に表示される「分類」と「自由入力項目」の内容が異なります。

- ☑機器情報の登録が不要の場合は、(A) [閉じる] をタップするか、端末の戻るボタンで画面を閉じてください。

【27】 [OK] をタップします。

⇒キッティングおよびライセンス認証が完了しました。



9 Optimal Biz－Google 間の連携設定を変更する

「Google アカウントで Android Enterprise 連携を行う」で登録した Google Workspace アカウントまたは、Google Workspace アカウントの削除や再登録ができます。

9.1 Google アカウントを削除する

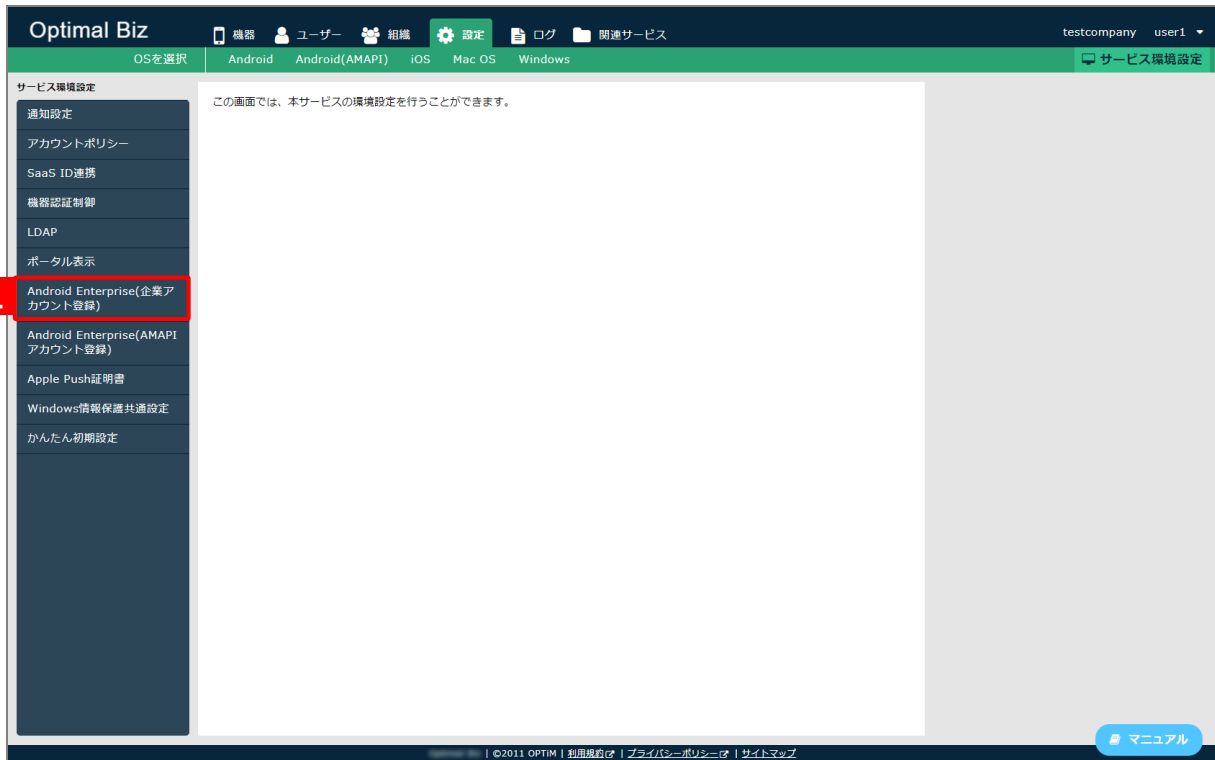
登録している Google アカウントが利用できなくなった場合などは、以下の手順で削除してください。

🔧 Google アカウントを削除したあと、別の Google アカウントを再登録した場合は、端末を再度キッティングする必要があります。

🔧 Google アカウントを削除すると、Android Enterprise の設定もすべて削除されます。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 – Android」 – 「アプリケーション」 – 「Android Enterprise」

【1】 [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise(企業アカウント登録)] をクリックします。



- 【2】 「同意する」 にチェックを入れます。
- 【3】 「アカウント削除」 をクリックします。

⇒ アカウント未登録の画面が表示されます。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

状態

登録済

▲ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は [セキュリティ設定\(DOM\)](#) を使用してください。

アカウント種別

Googleアカウント

アカウントメールアドレス

組織ID

▲ Android Enterprise(企業アカウント登録)の設定、およびGoogleのAndroid Enterpriseに紐づく企業情報を削除します。削除が実行されると、Android Enterprise機能を使用したアプリ配信はできなくなります。削除を実行してから30日以内に再登録した場合はデータが復元されます。よろしければ「同意する」にチェックを入れて「アカウント削除」ボタンをクリックしてください。

2

☒ 同意する

3

アカウント削除

- ✎ (A) 「状態」に「未登録(復元データあり)」とデータ保持期限が表示されます。
- ✎ 同じアカウントを再登録する場合は、(C) [アカウント再登録] をクリックします。詳細については、以下を参照してください。
 - 🔖 「Google アカウントを再登録する」 239 ページ
- ✎ 別のアカウントを登録する場合は、(B) [アカウント新規登録] をクリックします。詳細については、以下を参照してください。
 - 🔖 「Google アカウントを登録する」 13 ページ

Android Enterprise(企業アカウント登録)

(A)

状態
未登録(復元データあり)
データ保持期限: 2018/05/17

⚠ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は セキュリティ設定(DOM) を使用してください。

アカウント種別
Googleアカウント

アカウントメールアドレス
[Redacted]

組織ID
[Redacted]

⚠ データ保持期限内にアカウントを再登録した場合、以前のアカウントデータが引き継がれます。
データ保持期限が過ぎた後は引き継ぎデータは削除されます。

(B)

アカウント新規登録

(C)

アカウント再登録

9.2 Google アカウントを再登録する

削除した Google アカウントを、再登録します。

Google アカウントに応じて、いずれかの方法で再登録してください。

- 企業ドメインのメールアドレスで再登録する場合

- Gmail のメールアドレスで再登録する場合

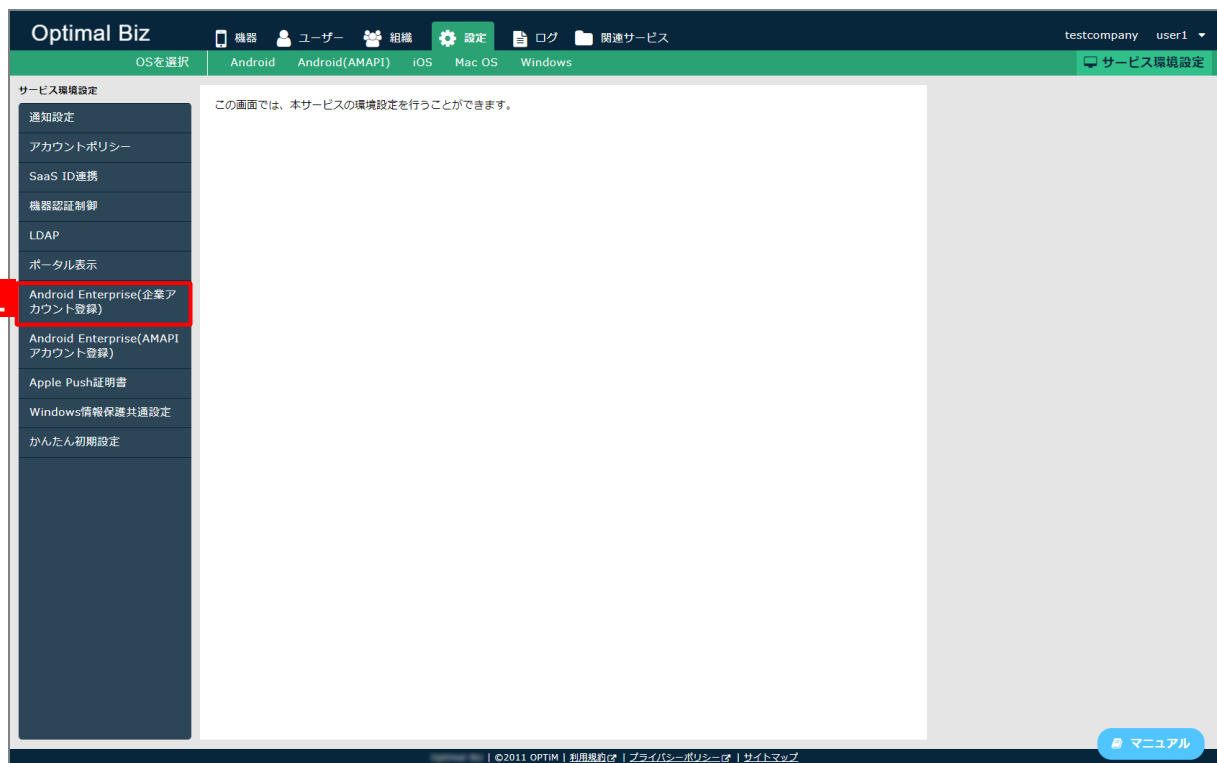
- ✂ 再登録できるのは、直近に削除した Google アカウントのみです。

- ✂ Google アカウントを再登録しても、Android Enterprise の設定はすべて再登録されません。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 – Android」 – 「アプリケーション」 – 「Android Enterprise」

9.2.1 企業ドメインのメールアドレスで再登録する場合

【1】 [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise(企業アカウント登録)] をクリックします。



【2】 [アカウント再登録] をクリックします。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

状態
未登録(復元データあり)
データ保持期限: 2018/05/17

⚠ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は セキュリティ設定(DOM) を使用してください。

アカウント種別
Googleアカウント

アカウントメールアドレス
[masked]

組織ID
[masked]

⚠ データ保持期限内にアカウントを再登録した場合、以前のアカウントデータが引き継がれます。
データ保持期限が過ぎた後は引継ぎデータは削除されます。

2

アカウント新規登録 **アカウント再登録**

【3】 企業ドメインのメールアドレスを入力します。**【4】** [次へ] をクリックします。

Android 

.....

管理者アカウントを作成する

3

— 仕事用メールアドレスを入力してください —
[masked]
例: {名前}@{会社名}.com

4 次へ



Android はあらゆるビジネスで利用できるパワフルなプラットフォームです

- ✓ モバイルデバイスを管理して企業アプリをインストール
- ✓ エンタープライズクラスのセキュリティを活用してデータを保護
- ✓ 仕事用プロフィールを使ってデバイスを仕事とプライベートの両用に

【5】 再登録したい削除済みアカウントの組織 ID を選択します。

【6】 **「確認」** をクリックします。

⇒ アカウント登録済みの管理サイトの画面が表示されます。

Android

.....

バインディング オプションを選択

U

最近 EMM バインディングが削除されたようです。以前のバインディングを再度有効にするか、新しいバインディングを作成できます。

確認をクリックすると、管理対象の Google アカウントが にバインドされ、 コンソールを使用して Android Enterprise デバイスを管理できるようになります。

5

- ☒ (2024年3月13日 に無効になりました)
- ☐ (2024年4月4日 に無効になりました)
- ☐ (2024年3月28日 に無効になりました)
- ☐ (2024年4月5日 に無効になりました)
- ☐ を使用して新しいバインディングを作成する

6 確認

Google プライバシー ポリシー 利用規約 Cookies Management Controls

✎ (A) 「状態」は「登録済」と表示されています。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

(A) 状態
登録済

⚠ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は セキュリティ設定(DOM) を使用してください。

アカウント種別
Googleアカウント

アカウントメールアドレス
[Redacted]

組織ID
[Redacted]

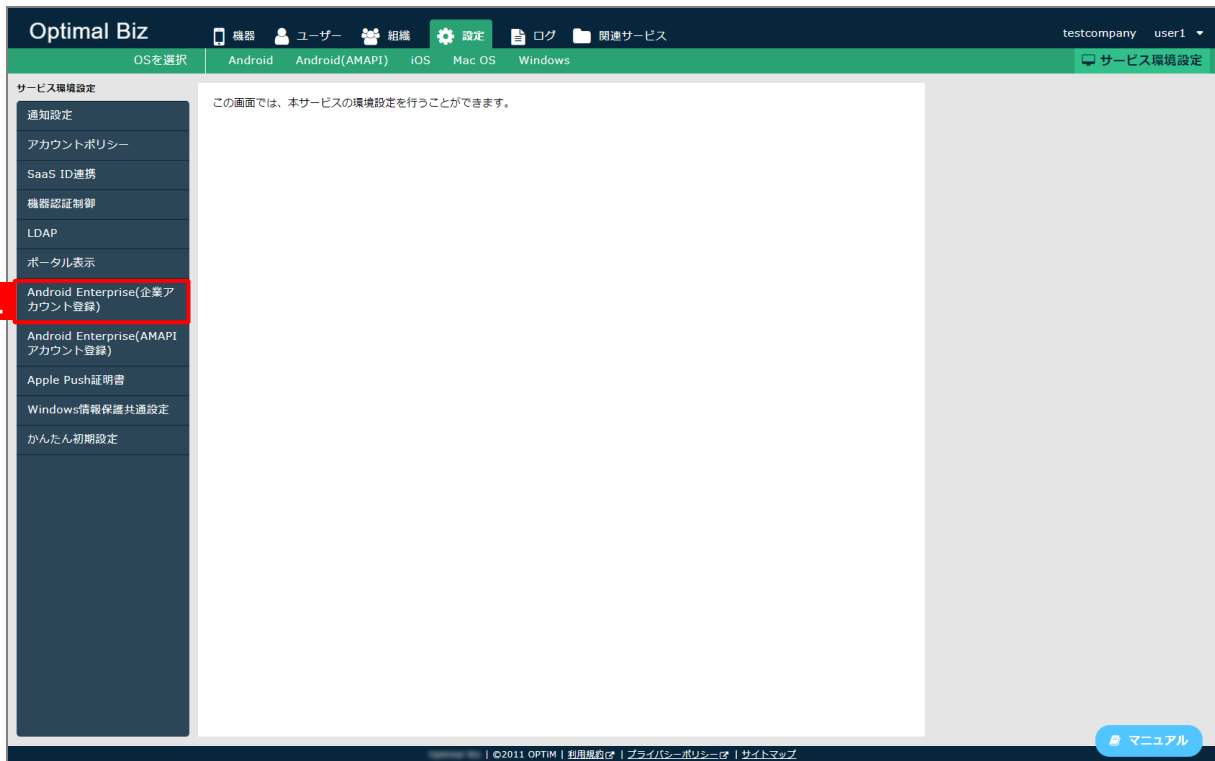
⚠ Android Enterprise(企業アカウント登録)の設定、およびGoogleのAndroid Enterpriseに紐づく企業情報を削除します。削除が実行されると、Android Enterprise機能を使用したアプリ配信はできなくなります。削除を実行してから30日以内に再登録した場合はデータが復元されます。よろしければ「同意する」にチェックを入れて「アカウント削除」ボタンをクリックしてください。

☐ 同意する

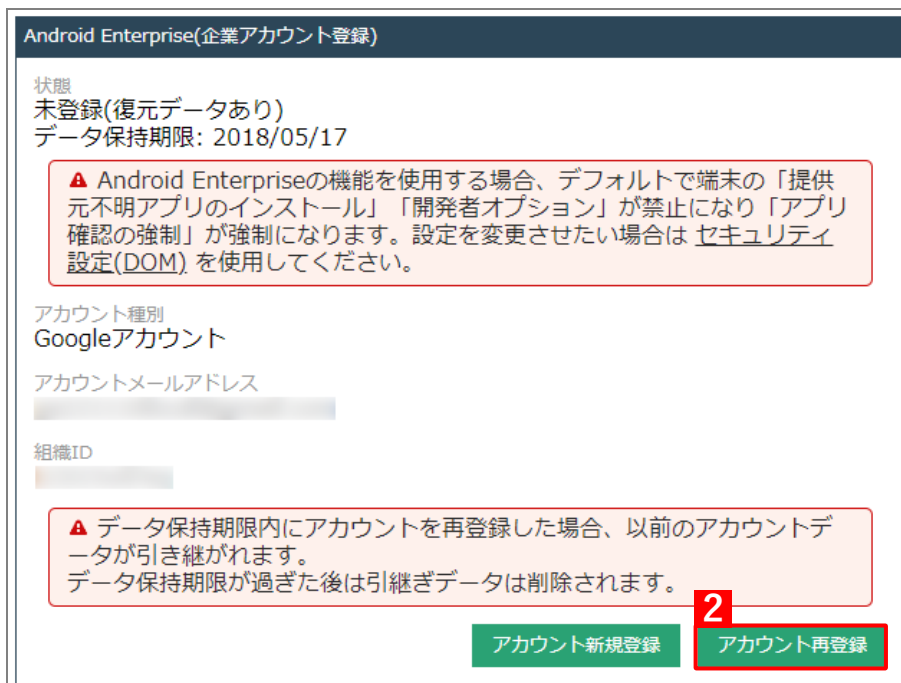
アカウント削除

9.2.2 Gmail のメールアドレスで再登録する場合

- 【1】 [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise(企業アカウント登録)] をクリックします。



- 【2】 [アカウント再登録] をクリックします。



【3】 Gmail のメールアドレスを入力します。

【4】 [次へ] をクリックします。

Android 

.....

管理者アカウントを作成する

3 仕事用メールアドレスを入力してください*

例: [名前]@[会社名].com

4 次へ

Android はあらゆるビジネスで利用できるパワフルなプラットフォームです

- ✓ モバイル デバイスを管理して企業アプリをインストール
- ✓ エンタープライズクラスのセキュリティを活用してデータを保護
- ✓ 仕事用プロフィールを使ってデバイスを仕事とプライベートの両用に

【5】 「Android のみ登録」の「登録」をクリックします。

⇒ Google Play ストアが表示されます。

☑ 利用しているブラウザにより、Google Play ストアが正常に動作しないことがあります。

Android 

.....@gmail.com
は個人のメールアドレス
のようです

次のいずれかを選ぶことができます



仕事用メールアドレスで登録

お申し込みには、
name@company.com のような仕事
用メールアドレスが必要です

仕事用メールアドレスで再試行



会社のドメインを購入

company.com などのドメインや対
応する name@company.com のメ
ールアドレスがない場合は、新しい
ドメインを購入してから登録を再試
行できます。

新規ドメインを購入する



Android のみ登録

Android デバイスのみをデプロイす
る場合は、managed Google Play
アカウント エンタープライズを作
成できます。

このアカウントを使用して、
Chromebook や Chrome ブラウザ
などの他の Google サービスを管理
することはできません。詳細

5 登録

【6】 [再登録] をクリックします。

⇒ アカウント登録済みの管理サイトの画面が表示されます。



✎ (A) 「状態」は「登録済」と表示されています。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

(A) 状態
登録済

⚠ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は [セキュリティ設定\(DOM\)](#) を使用してください。

アカウント種別
Googleアカウント

アカウントメールアドレス
[Redacted]

組織ID
[Redacted]

⚠ Android Enterprise(企業アカウント登録)の設定、およびGoogleのAndroid Enterpriseに紐づく企業情報を削除します。削除が実行されると、Android Enterprise機能を使用したアプリ配信はできなくなります。削除を実行してから30日以内に再登録した場合はデータが復元されます。よろしければ「同意する」にチェックを入れて「アカウント削除」ボタンをクリックしてください。

☐ 同意する

アカウント削除

9.3 Google Workspace アカウントを削除する

登録している Google Workspace アカウントが利用できなくなった場合などは、以下の手順で削除してください。

- 【1】 Google 管理コンソール (<https://admin.google.com>) を表示し、[デバイス] をクリックします。**



- 【2】 [デバイス] → [モバイルとエンドポイント] → [設定] → [サードパーティとの連携] をクリックします。**



- 【3】 「Android EMM」の「サードパーティの Android モバイル管理を有効にする」のチェックを外します。
- 【4】 「保存」をクリックします。

Android EMM
上書きされました

サードパーティの Android モバイル管理

サードパーティの EMM プロバイダを追加すると、Android アプリを Google エンドポイント管理を使って管理することはできなくなり、EMM プロバイダを介した管理が必要になります。詳細

3
☐ サードパーティの Android モバイル管理を有効にする

EMM が追加されていません
[EMM プロバイダを追加](#)

継承

キャンセル

4 保存

 以下の操作は、管理サイトで行います。

【5】 [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise(企業アカウント登録)] をクリックします。

246

【6】 「同意する」 にチェックを入れます。

【7】 「アカウント削除」 をクリックします。

⇒ アカウント未登録の画面が表示されます。

🔗 再びアカウントを登録する場合は、以下を参照してください。

🔗 「Google Workspace アカウントを登録する」 95 ページ

Android Enterprise(企業アカウント登録)

状態

登録済

⚠️ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は [セキュリティ設定\(DOM\)](#) を使用してください。

アカウント種別

Google Workspaceアカウント

ドメイン

EMMトークン

組織ID

⚠️ Google Workspaceアカウント連携をご利用の方は、特権管理者アカウントでGoogle Workspaceにログイン後、下記URLへアクセスし規約に同意してください。
<https://play.google.com/work/termsofservice>

⚠️ Android Enterprise(企業アカウント登録)の設定、およびGoogleのAndroid Enterpriseに紐づく企業情報を削除します。削除が実行されると、Android Enterprise機能を使用したアプリ配信はできなくなります。

6 ☒ 同意する

7 アカウント削除